

令和5年度Sport in Life 推進プロジェクト スポーツ実施率の向上に向けた総合研究事業

（スポーツによる社会課題解決推進のための政策に資する研究）

研究課題Ⅲ：地域における健康づくりに資する安全かつ効果的な
運動・スポーツを推進するための事業の在り方に関する研究

報告書（参考資料）

みずほリサーチ&テクノロジーズ

社会政策コンサルティング部

2024.03.29

本報告書は、スポーツ庁の委託事業として、みずほリサーチ&テクノロジーズ株式会社が実施した令和5年度Sport in Life推進プロジェクト「スポーツ実施率の向上に向けた総合研究事業(スポーツによる社会課題解決推進のための政策に資する研究)」の成果を取りまとめたものです。

従って、本報告書の複製、転載、引用等にはスポーツ庁の承認手続きが必要です。

目次

第1章 事業概要

第2章 過去 of 取組事例集の整理

第3章 アンケート調査

1) 全国調査

①方法

②結果

2) フォローアップ調査

①方法

②結果(概要版)

第4章 ヒアリング調査

1) 実施概要

2) ヒアリング結果詳細

3) 分析結果

第5章 調査結果のまとめ(提言)

第6章 参考資料 ※本資料

参考資料1 フォローアップ調査結果(詳細版) 3

参考資料2 アンケート調査 調査票(3種) 95

第6章 参考資料

参考資料1 フォローアップ調査結果（詳細版）

目次

1. フォローアップ調査概要
2. アンケート実施結果 ～ Ⅰ:事業評価・継続状況について ～
3. アンケート実施結果 ～ Ⅱ:事業を開始するまで ～
4. アンケート実施結果 ～ Ⅲ:事業実施について ～
5. アンケート実施結果 ～ Ⅳ:事業を効果的に薦める工夫について ～
6. アンケート実施結果 ～ Ⅴ:事業継続・自走化に向けた取組について ～
7. アンケート実施結果 ～ Ⅵ:医療機関との連携等について ～

フォローアップ調査概要

1. 事業の目的

- 過去の運動・スポーツ習慣化促進事業(平成 27年度～令和3年度)参加自治体に向けて、運動・スポーツ施策の継続状況、事業実施中の取組内容、予算面等を把握するとともに、ヒアリング候補先を抽出すること

2. 実施内容

- 対象:運動・スポーツ習慣化促進事業実施自治体
 - 対象期間:無関心層・未実施層向け事業(平成 27年度～令和3年度)参加自治体(n=65 | 5都道府県、60市町村)
医療との連携事業(令和元年度～令和3年度)参加自治体(n=19 | 1都道府県、18市町村)
 - 調査方法:自治体担当者に対する回答票(Excelファイル)を添付した電子メールの発出
(事業内容によって調査票を2種類用意)
 - 調査期間:2023年5月15日～2023年6月2日
 - 回答数:70自治体(4都道府県、66市町村)※
※1つの自治体から2種類の調査票の回答があった場合は1自治体としてカウント
※どちらの事業にも参加している自治体が複数あることに留意
 - 無関心層・未実施層向け事業調査票 59自治体(4都道府県、55市町村) ※回収率90.7%
 - 医療との連携事業調査票 19自治体(1都道府県、18市町村) ※回収率100%
 - 調査項目
 - 事業の共通目標とその評価、継続状況、予算状況について
 - 事業を開始するまでの経緯、主導者(部署)、自治体課題・地域資源の把握、目標設定での参考資料
 - 事業実施について(主導部署・外部連携先、成功に向けての取組内容、インセンティブ 等)
 - 事業を効果的に進めるための工夫について(時間や場所、内容、安全確保、連携先、データ共有 等)
 - 事業継続・自走化に向けた取組について(うまくいった秘訣、うまくいかなかった原因、体制の変化、連携先の変化、自治体で解決が求められる課題 等)
 - 医療機関との連携等について * (連携先、きっかけ、情報共有、医療機関へのフィードバック、個人情報の取扱、質の担保、成果、行政としての役割 等)
- * 医療との連携事業調査票のみの設問

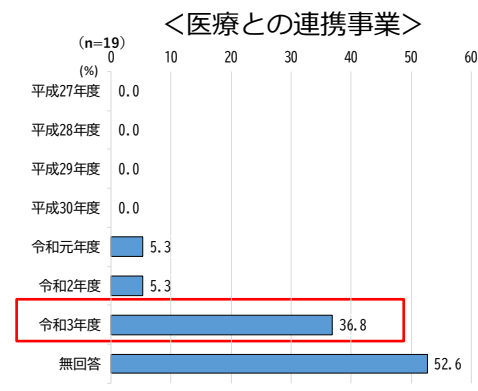
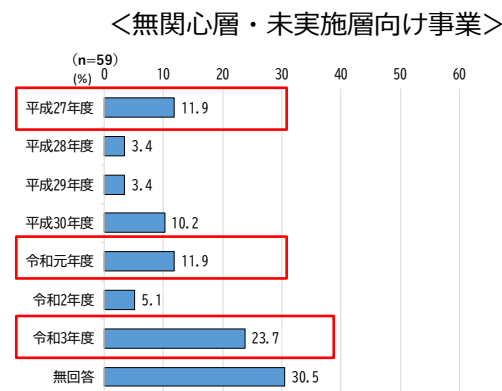
アンケート実施結果 ～ 0：事業評価・継続状況について ～

(2) 事業の共通目標とその評価＜単純集計＞※SA

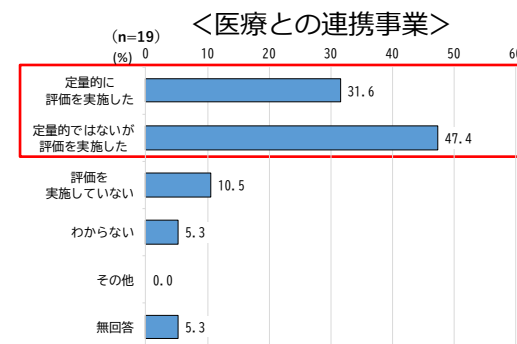
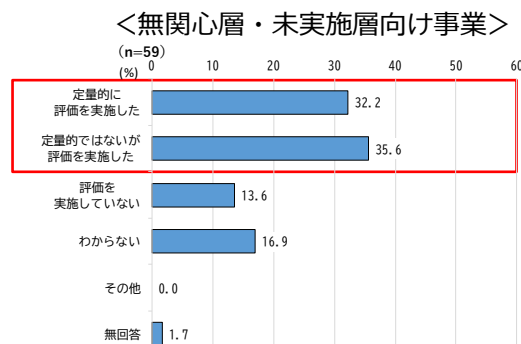
- ＜無関心層・未実施層向け事業＞では、「令和3年度」が最も多く、次いで「令和元年度」および「平成27年度」が多くなっていた。＜医療との連携事業＞では、「令和3年度」が最も多くなっていた
- 評価の実施については、どちらの事業においても、定量的もしくは定量的ではないが「評価を実施した」ところが多かった

(0) 最終参加年度の翌年度以降に事業継続している場合は「事業継続に最も役立った年度」

最終参加年度の翌年度以降に事業継続していない場合は「参加年度のうち、最も住民のスポーツ実施率向上に寄与したと考えている取組の年度」



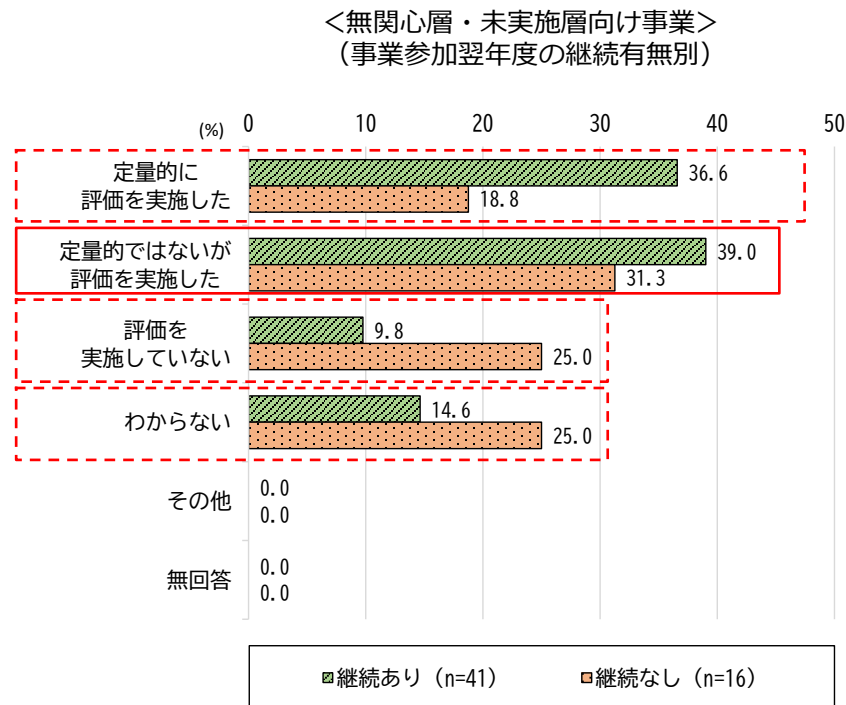
(2) ①事業参加年度の、事業の継続判断における評価の実施



(2) 事業の共通目標とその評価<クロス集計>※SA

- <無関心層・未実施層向け事業>について、事業参加翌年度の継続有無別にみると、「定量的ではないが評価を実施した」割合が、継続あり群では39.0%、継続なし群では31.3%と最も多くなっていた
- また、「定量的に評価を実施した」と「評価を実施していない」と「わからない」割合は、継続あり群と継続なし群で、それぞれ10ポイント以上の差がみられた

(2) ①事業参加年度の、事業の継続判断における評価の実施



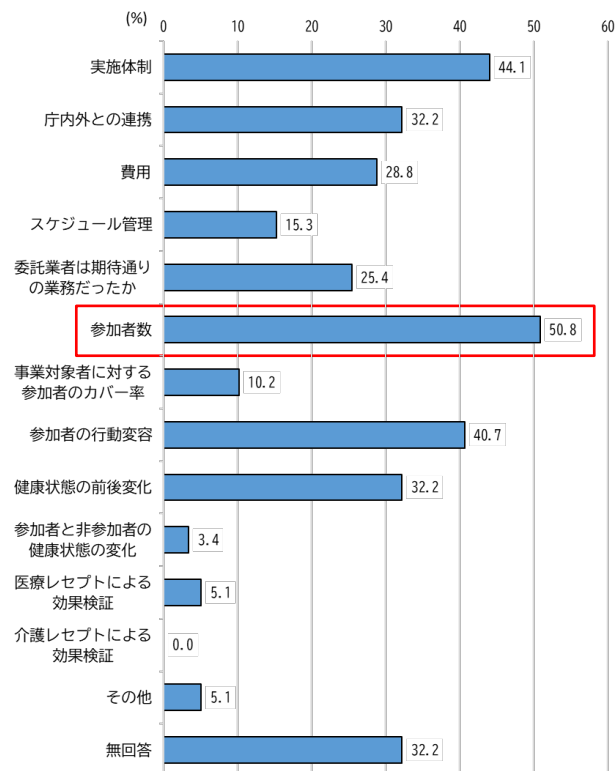
実線:継続あり群、継続なし群それぞれ最も回答の多かった選択肢
点線:継続なし群に対して継続あり群の回答が10ポイント以上多かった選択肢

(2) 事業の共通目標とその評価＜単純集計＞※MA

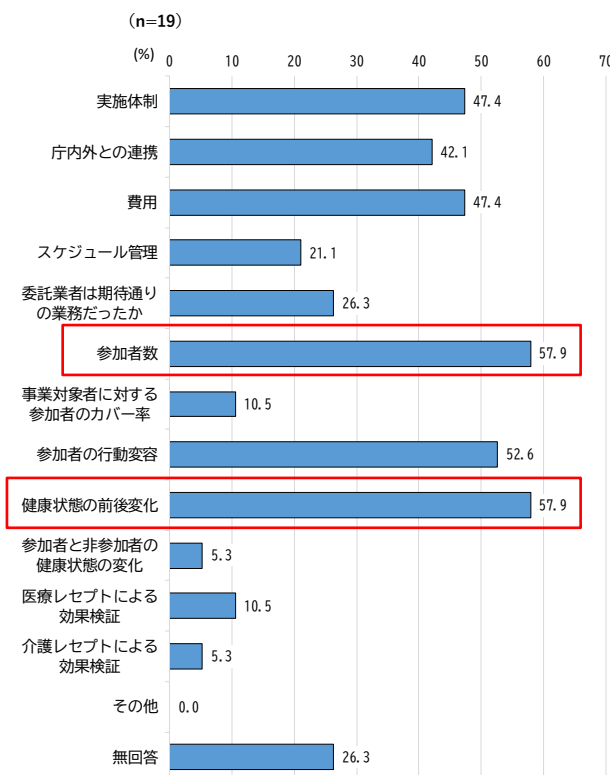
- 評価項目については、＜無関心層・未実施層向け事業＞は「参加者数」が最も多くなっていた。＜医療との連携事業＞は「参加者数」と「健康状態の前後変化」が最も多くなっていた

②実施した評価項目[複数回答]

＜無関心層・未実施層向け事業＞



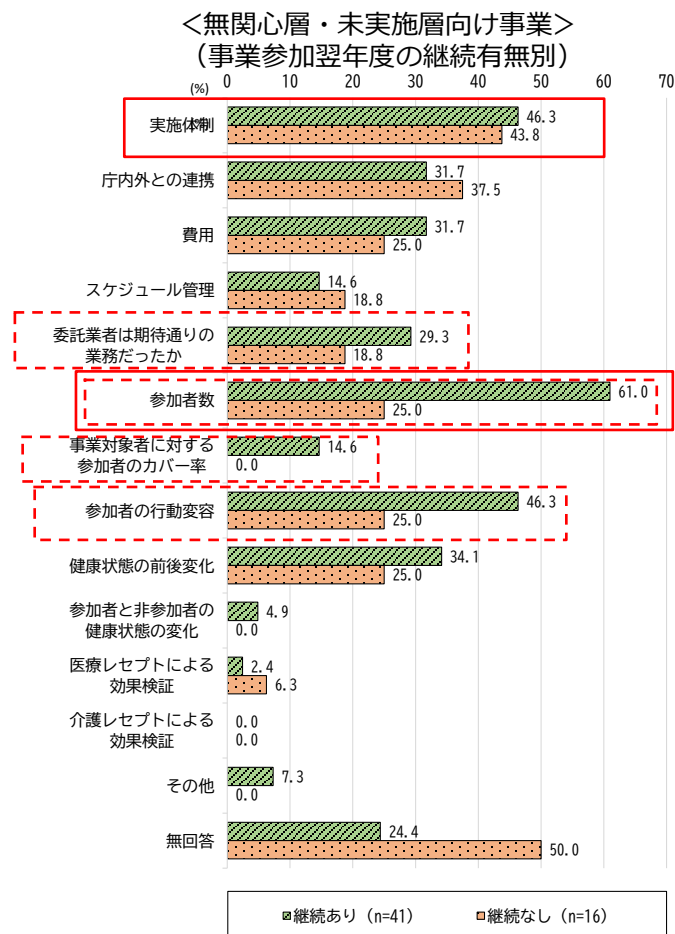
＜医療との連携事業＞



(2) 事業の共通目標とその評価<クロス集計> ※MA

- <無関心層・未実施層向け事業>について、事業参加翌年度の継続有無別にみると、継続あり群のほうは、実施した評価項目は「参加者数」が最も多く61.0%であったが、継続なし群では25.0%と36ポイントの差がみられた。継続なし群のほうは、「実施体制」が最も多く43.8%であった
- また、「参加者数」以外に 10ポイント以上の差がみられた項目としては、「委託業者は期待通りの業務だったか」と「事業対象者に対する参加者のカバー率」と「参加者の行動変容」であった

②実施した評価項目[複数回答]



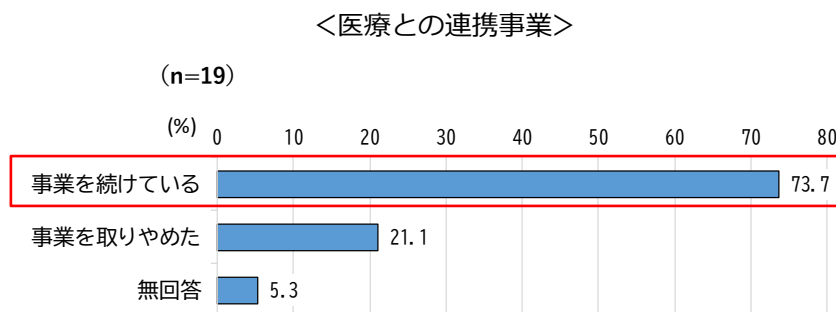
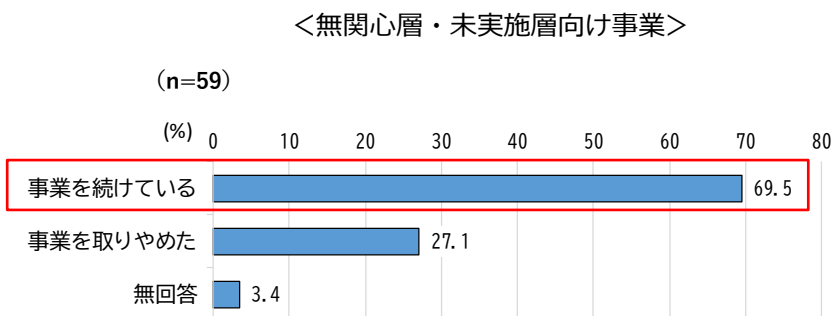
実線:継続あり群、継続なし群それぞれで最も回答の多かった選択肢
点線:継続なし群に対して継続あり群の回答が10ポイント以上多かった選択肢

(2)事業の継続状況＜単純集計＞※SA

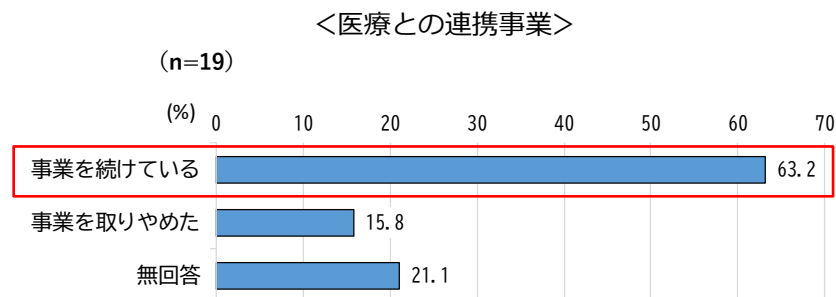
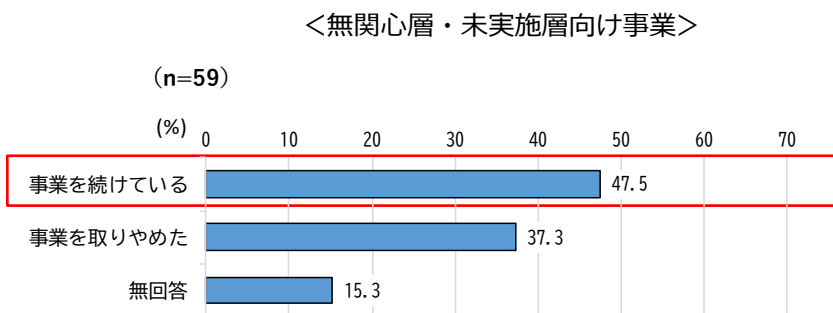
- 事業参加最終年度の翌年度の継続状況については、どちらの事業においても「事業を続けている」割合が約7割となっていた
- 令和4年度の継続状況については、＜無関心層・未実施層向け事業＞は「事業を続けている」が5割弱と減少し、「事業を取りやめた」割合が若干増加していたが、＜医療との連携事業＞は「事業を続けている」が6割と高い傾向にあった

(2) ③事業参加最終年度の翌年度、並びに令和4年度の継続状況

③事業参加最終年度の翌年度の継続状況



③令和4年度の継続状況



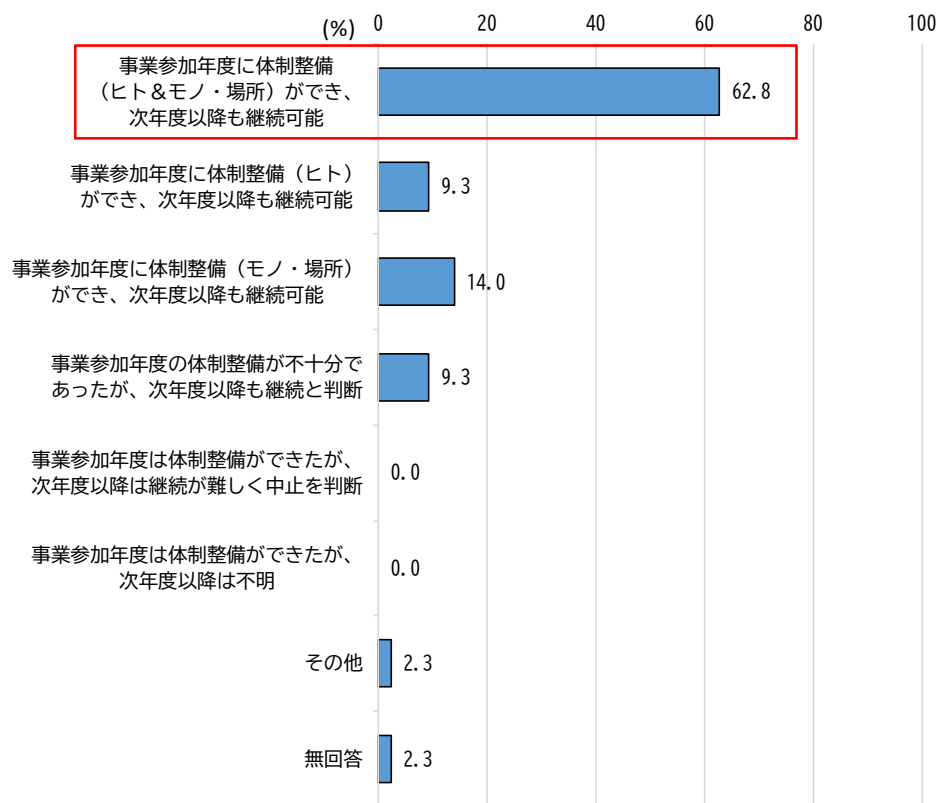
(2)事業の体制整備について＜単純集計＞※SA

- 持続的な地域の体制整備については、どちらの事業も「事業参加年度に体制整備（ヒト＆モノ・場所）ができ、次年度以降も持続可能」が6割以上と、最も多くなっていた

(2) ⑥ 誰もが身近な地域で安全かつ効果的な運動・スポーツを日常的に実施するための、持続的な地域の体制整備（ヒト＆モノ・場所）

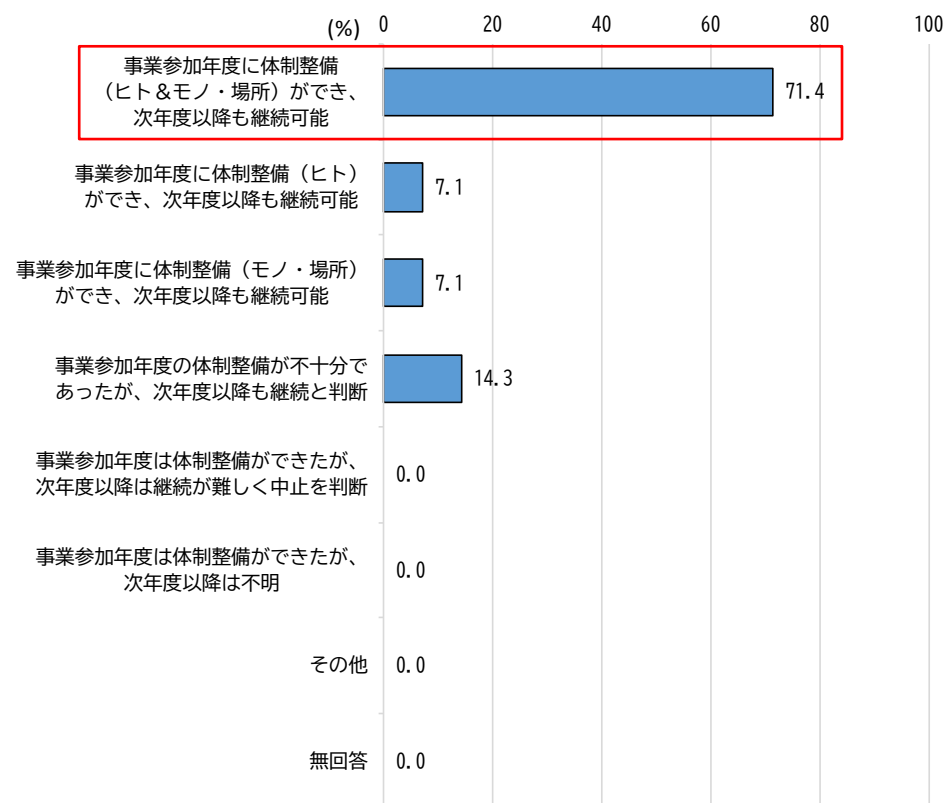
＜無関心層・未実施層向け事業＞

(n=43)



＜医療との連携事業＞

(n=14)



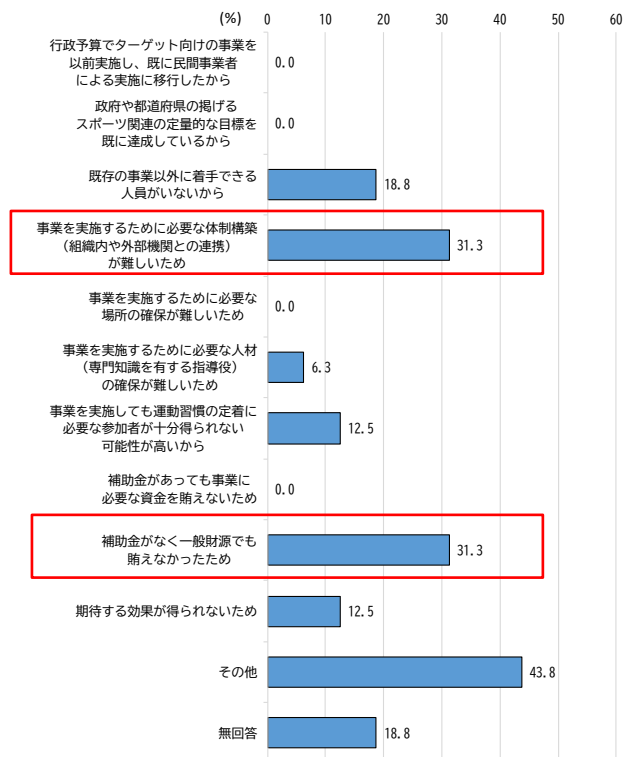
(3) 事業を実施していない理由について(翌年度)＜単純集計＞※MA

- 事業参加翌年度に事業を実施していない理由としては、＜無関心層・未実施層向け事業＞は「事業を実施するために必要な体制構築(組織内や外部機関との連携)が難しいため」と「補助金がなく一般財源でも賄えなかったため」がどちらも31.3%と最も多く、＜医療との連携事業＞は「補助金がなく一般財源でも賄えなかったため」が50.0%と最も多くなっていた
- また、「その他」の回答も、＜無関心層・未実施層向け事業＞では43.8%、＜医療との連携事業＞では50.0%あった

(3) 事業参加翌年度に事業を実施していない理由[複数回答]

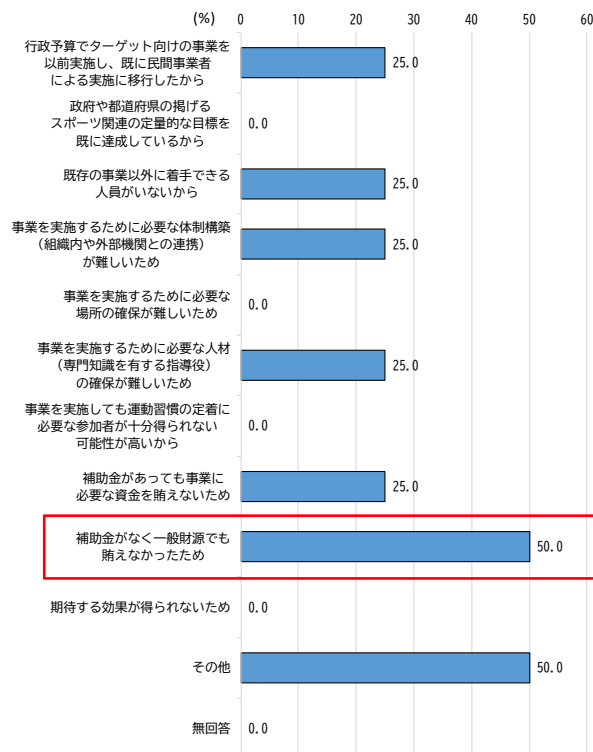
＜無関心層・未実施層向け事業＞

(n=16)



＜医療との連携事業＞

(n=4)

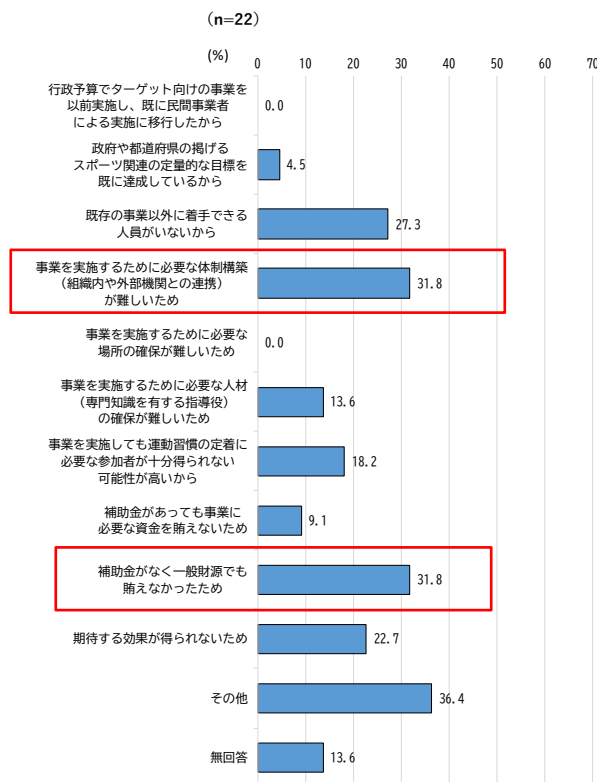


(3) 事業を実施していない理由について(令和4年度)＜単純集計＞※MA

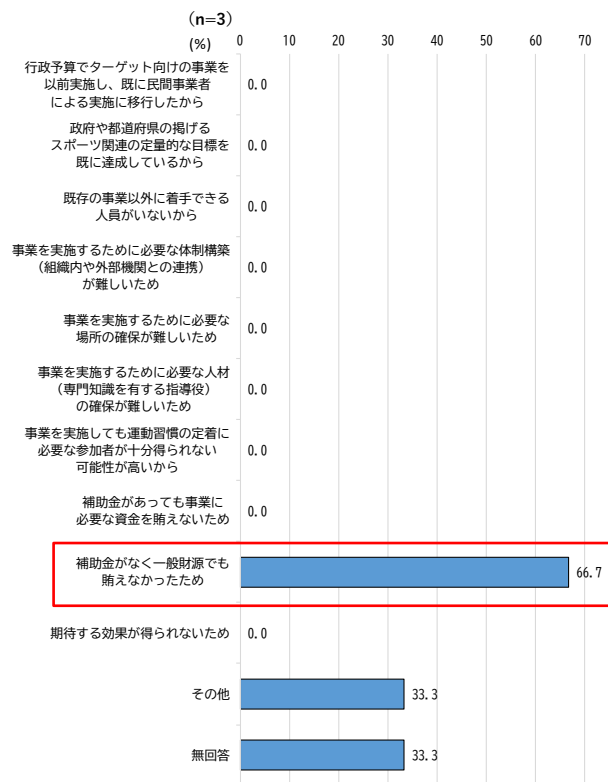
- 令和4年度に事業を実施していない理由としては、＜無関心層・未実施層向け事業＞は「事業を実施するために必要な体制構築(組織内や外部機関との連携)が難しいため」と「補助金がなく一般財源でも賄えなかったため」がどちらも31.8%と最も多く、＜医療との連携事業＞は「補助金がなく一般財源でも賄えなかったため」が66.7%と最も多くなっていた
- また、「その他」の回答も、＜無関心層・未実施層向け事業＞では36.4%、＜医療との連携事業＞では33.3%あった

(3) 令和4年度に事業を実施していない理由[複数回答]

＜無関心層・未実施層向け事業＞



＜医療との連携事業＞

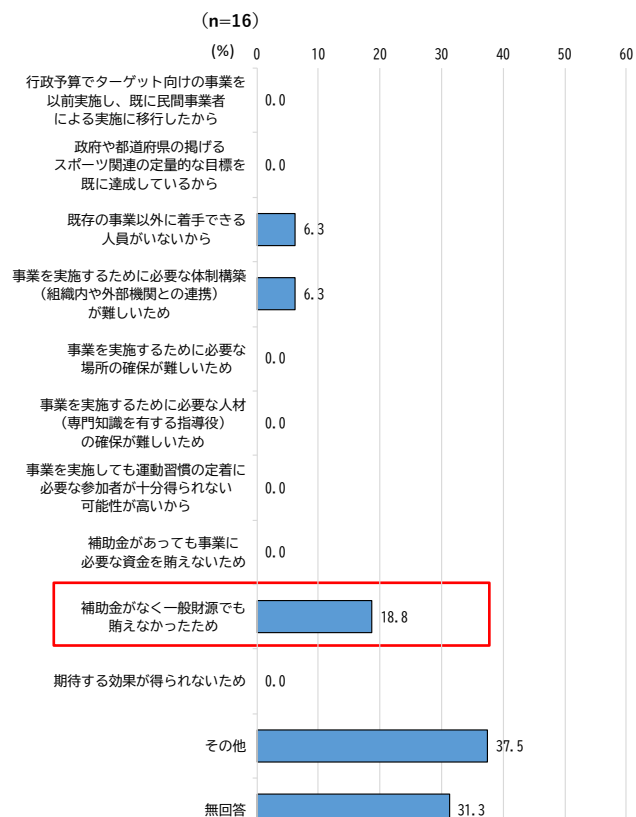


(3) 事業を実施していない理由について(翌年度)＜単純集計＞※SA

- 事業参加翌年度に事業を実施していない理由で、最も当てはまるものとしては、＜無関心層・未実施層向け事業＞は「補助金がなく一般財源でも賄えなかったため」が18.8%と最も多く、＜医療との連携事業＞は「補助金があっても事業に必要な資金を賄えないため」が25.0%と最も多くなっていた
- また、「その他」の回答も、＜無関心層・未実施層向け事業＞では37.5%、＜医療との連携事業＞では25.0%あった

(3) 事業参加翌年度に事業を実施していない理由[最も当てはまる選択肢]

＜無関心層・未実施層向け事業＞



＜医療との連携事業＞



(3)事業を実施していない理由について(令和4年度)＜単純集計＞※SA

- 令和4年度に事業を実施していない理由で、最も当てはまるものとしては、＜無関心層・未実施層向け事業＞は「補助金がなく一般財源でも賄えなかったため」が27.3%と最も多くなっていた。また、「その他」の回答も、22.7%であった
- ＜医療との連携事業＞は無回答であった

(3) 令和4年度に事業を実施していない理由[最も当てはまる選択肢]

＜無関心層・未実施層向け事業＞



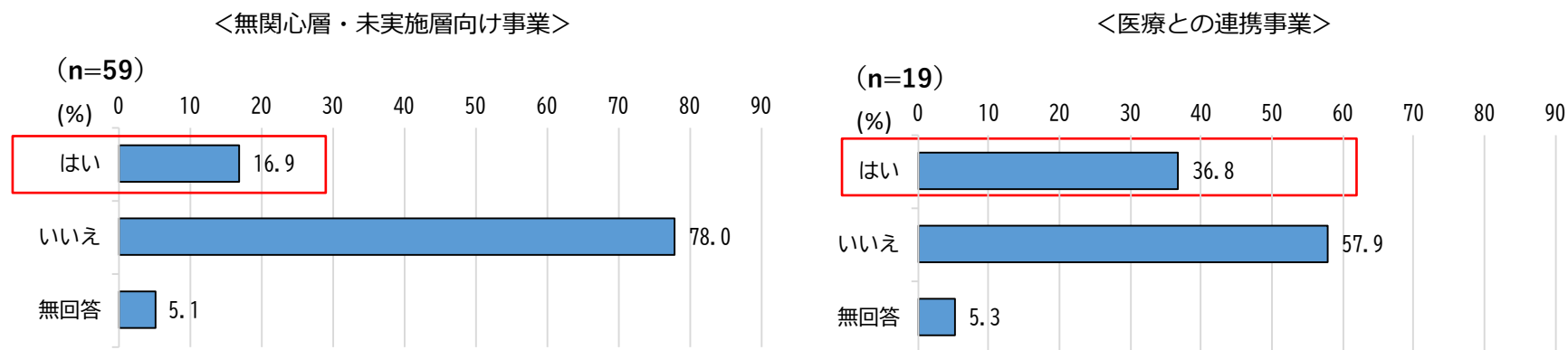
＜医療との連携事業＞



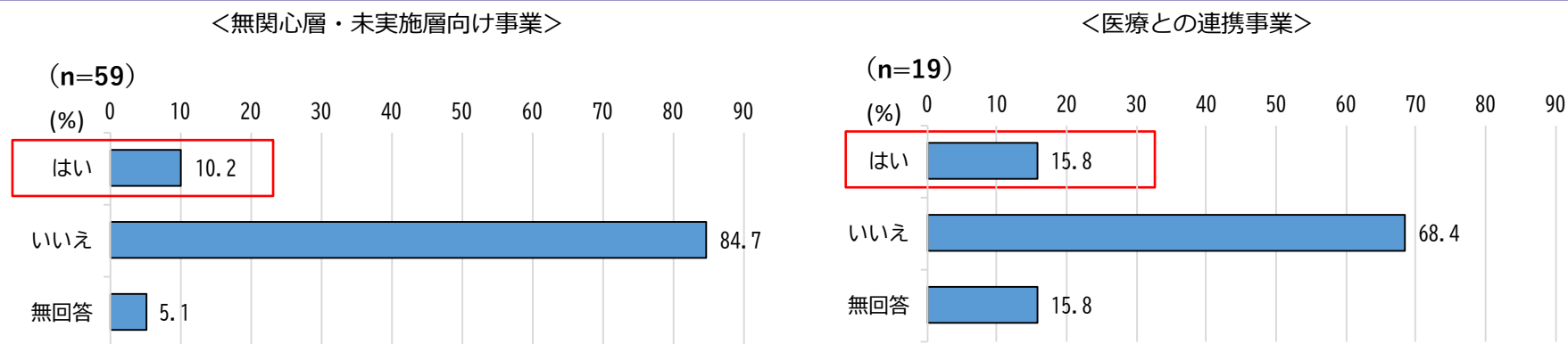
(4) 社会保障費の効果検証について＜単純集計＞※SA

- “スポーツ・健康づくり施策”の社会保障費の効果検証については、医療レセプトによる効果検証をしているのは、＜無関心層・未実施層向け事業＞は16.9%で、＜医療との連携事業＞は36.8%であった
- 介護レセプトによる効果検証をしているのは、＜無関心層・未実施層向け事業＞は10.2%で、＜医療との連携事業＞は15.8%であった

(4) 医療レセプトによる効果検証の有無



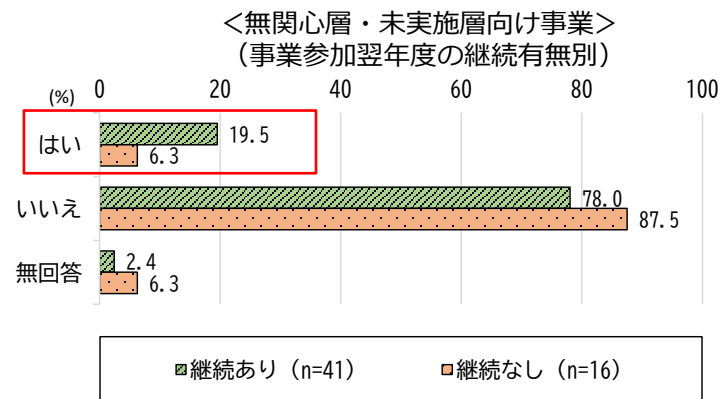
(4) 介護レセプトによる効果検証の有無



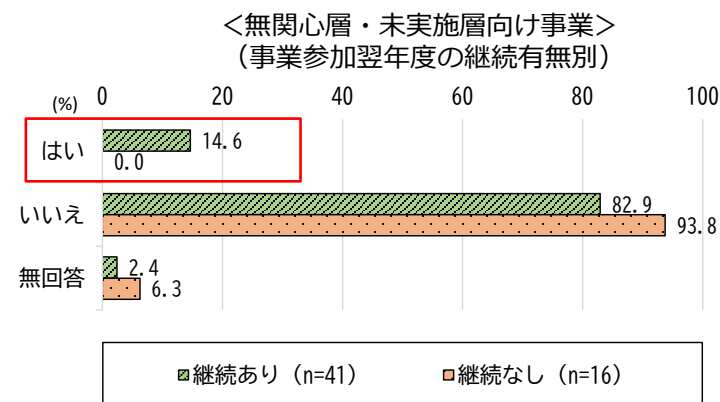
(4) 社会保障費の効果検証について<クロス集計>※SA

- <無関心層・未実施層向け事業>について、事業参加翌年度の継続有無別にみると、医療レセプトによる効果検証をしているのは、継続あり群は19.5%で、継続なし群は6.3%であった
- <無関心層・未実施層向け事業>について、事業参加翌年度の継続有無別にみると、介護レセプトによる効果検証をしているのは、継続あり群は14.6%で、継続なし群は0.0%であった

(4) 医療レセプトによる効果検証の有無



(4) 介護レセプトによる効果検証の有無



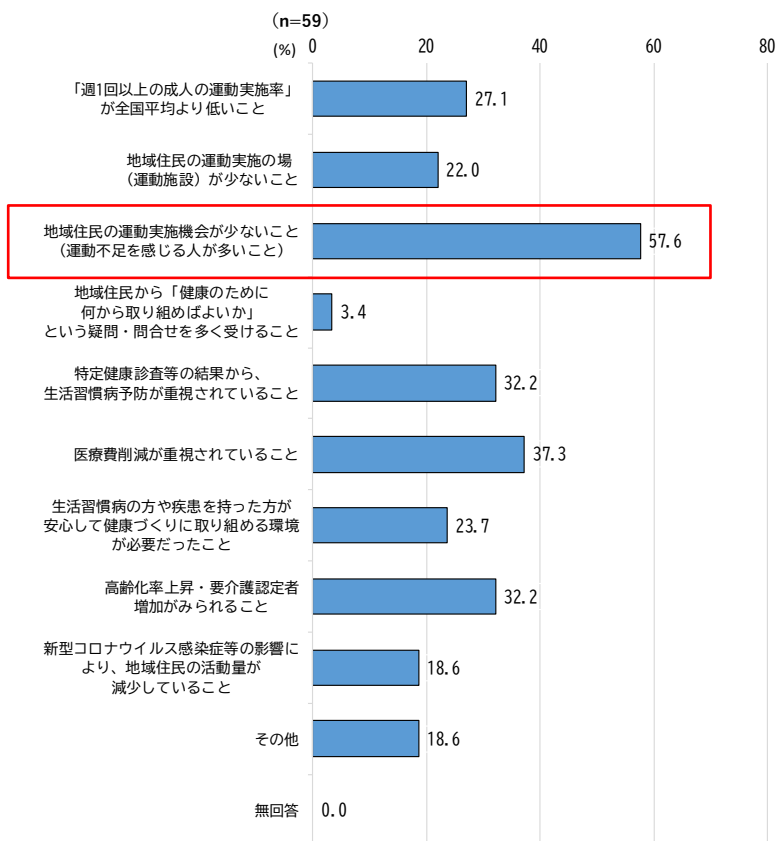
アンケート実施結果 ～ I : 事業を開始するまで ～

(5) 事業実施の経緯について＜単純集計＞※MA

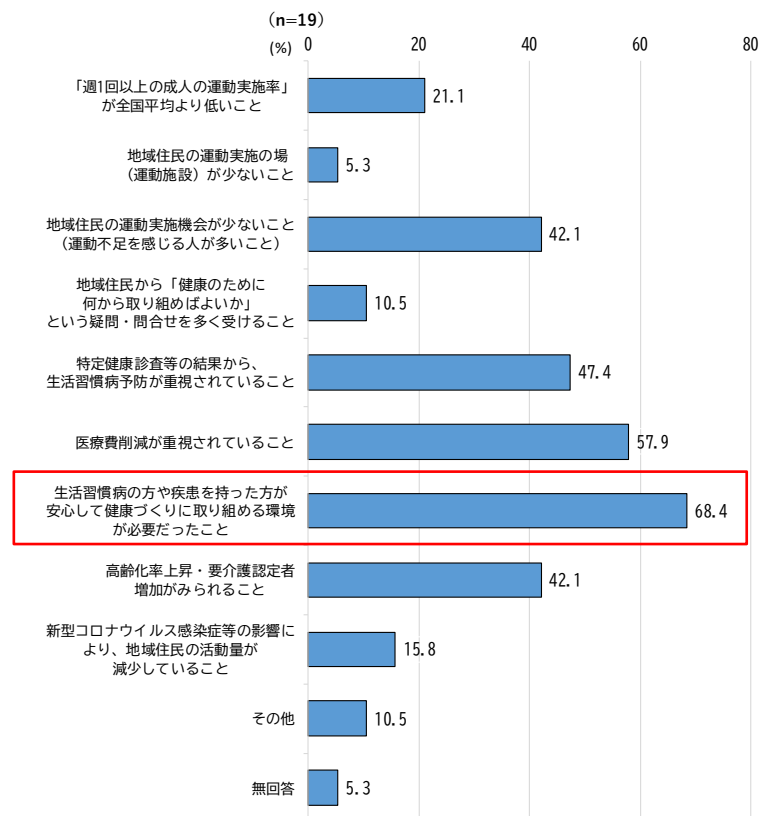
- 事業を実施する経緯としては、＜無関心層・未実施層向け事業＞では、「地域住民の運動実施機会が少ないこと（運動不足を感じる人が多いこと）」が57.6%と最も多くなっていた。＜医療との連携事業＞では、「生活習慣病の方や疾患を持った方が安心して健康づくりに取り組める環境が必要だったこと」が68.4%と最も多くなっていた

(5) 事業を実施する経緯[複数回答]

＜無関心層・未実施層向け事業＞



＜医療との連携事業＞

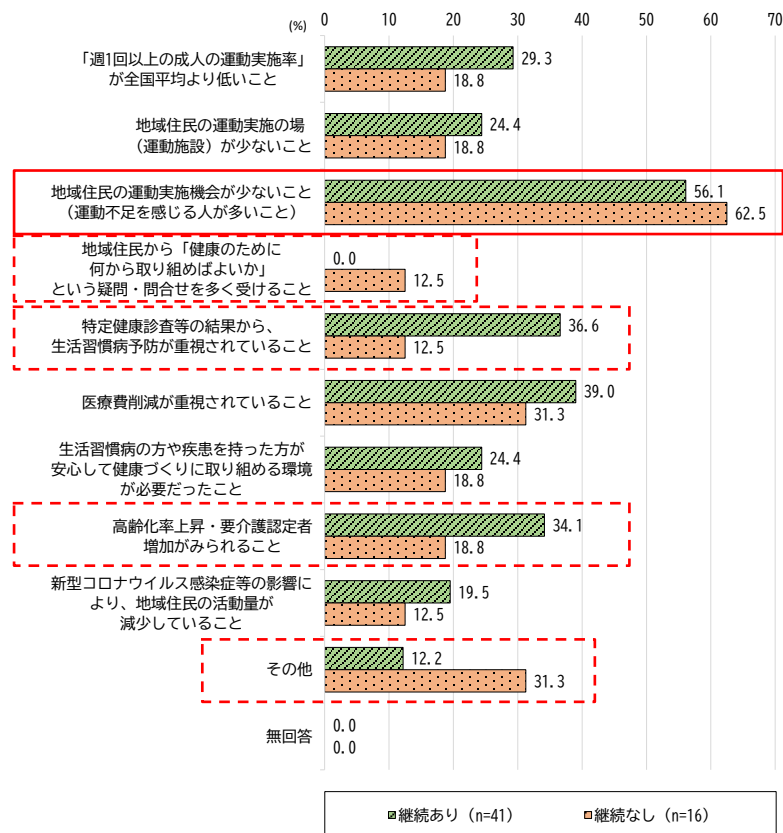


(5) 事業実施の経緯について<クロス集計>※MA

- <無関心層・未実施層向け事業>について、事業参加翌年度の継続有無別にみると、実施経緯は「地域住民の運動実施機会が少ないこと」の割合が、継続あり群では56.1%、継続なし群では62.5%と最も多くなっていた
- 「特定健康診査等の結果から、生活習慣病予防が重視されていること」の割合は、継続あり群では36.6%、継続なし群では12.5%と、24ポイントの差がみられた

(5) 事業を実施する経緯[複数回答]

<無関心層・未実施層向け事業>
(事業参加翌年度の継続有無別)



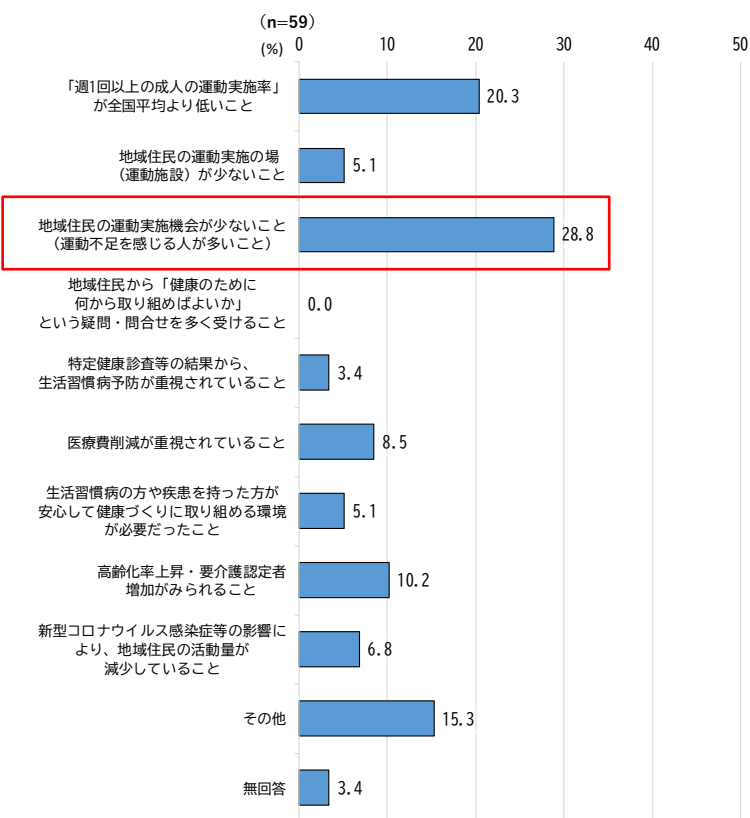
実線:継続あり群、継続なし群それぞれで最も回答の多かった選択肢
点線:継続なし群に対して継続あり群の回答が10ポイント以上多かった選択肢

(5) 事業実施の経緯について＜単純集計＞※SA

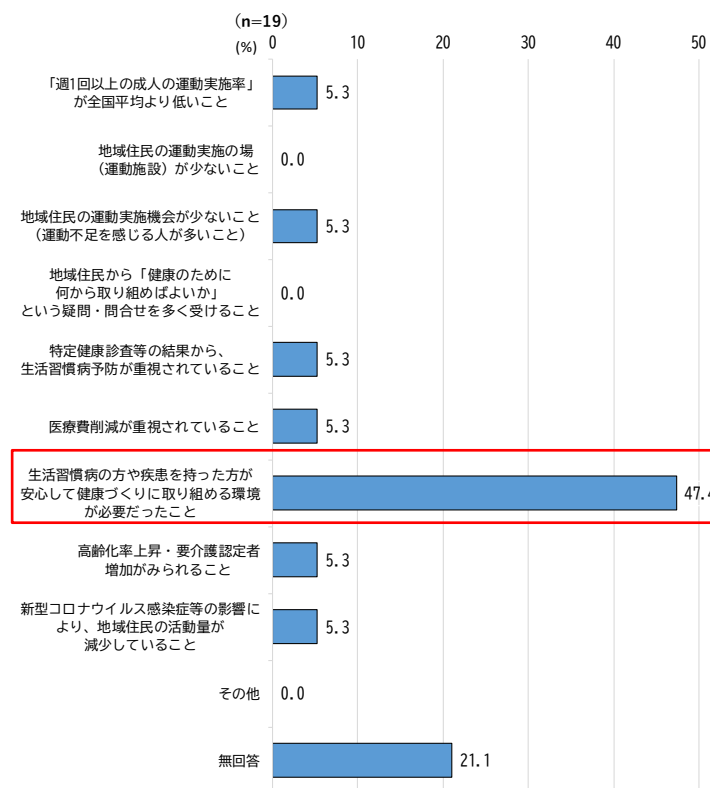
- 事業を実施する経緯として最も当てはまることも、先ほどと同様の傾向だった。＜無関心層・未実施層向け事業＞では、「地域住民の運動実施機会が少ないこと(運動不足を感じる人が多いこと)」が28.8%と最も多くなっていた。＜医療との連携事業＞では、「生活習慣病の方や疾患を持った方が安心して健康づくりに取り組める環境が必要だったこと」が47.4%と最も多くなっていた

(5) 事業を実施する経緯[最も当てはまる選択肢]

＜無関心層・未実施層向け事業＞



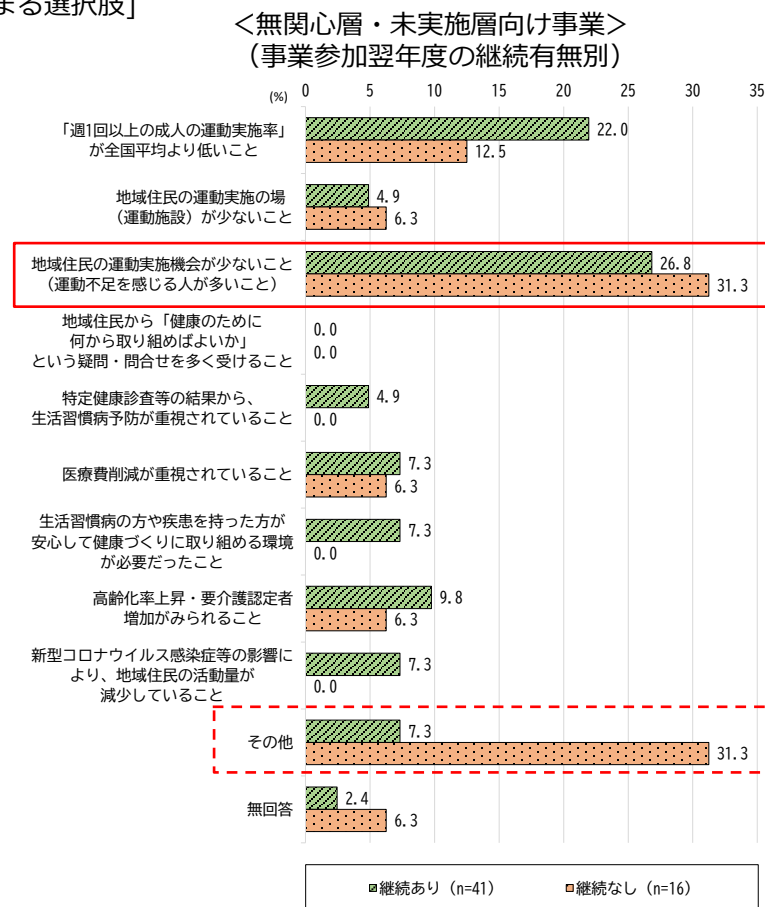
＜医療との連携事業＞



(5) 事業実施の経緯について<クロス集計>※SA

- <無関心層・未実施層向け事業>について、事業参加翌年度の継続有無別にみると、最も当てはまる経緯は「地域住民の運動実施機会が少ないこと(運動不足を感じる人が多いこと)」の割合が、継続あり群では26.8%、継続なし群では31.3%と最も多くなっていた
- また、継続なし群では「その他」の割合も同様に31.3%と多くなっていた

(5) 事業を実施する経緯[最も当てはまる選択肢]



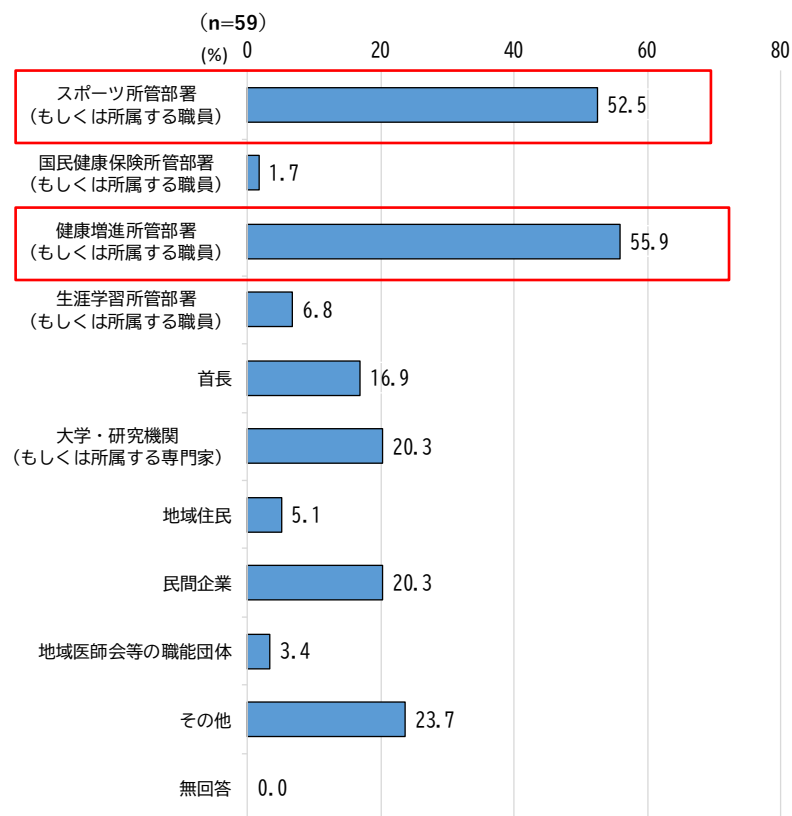
実線:継続あり群、継続なし群それぞれで最も回答の多かった選択肢
点線:継続なし群に対して継続あり群の回答が10ポイント以上多かった選択肢

(6) 事業を主導した人物／部署について＜単純集計＞※MA

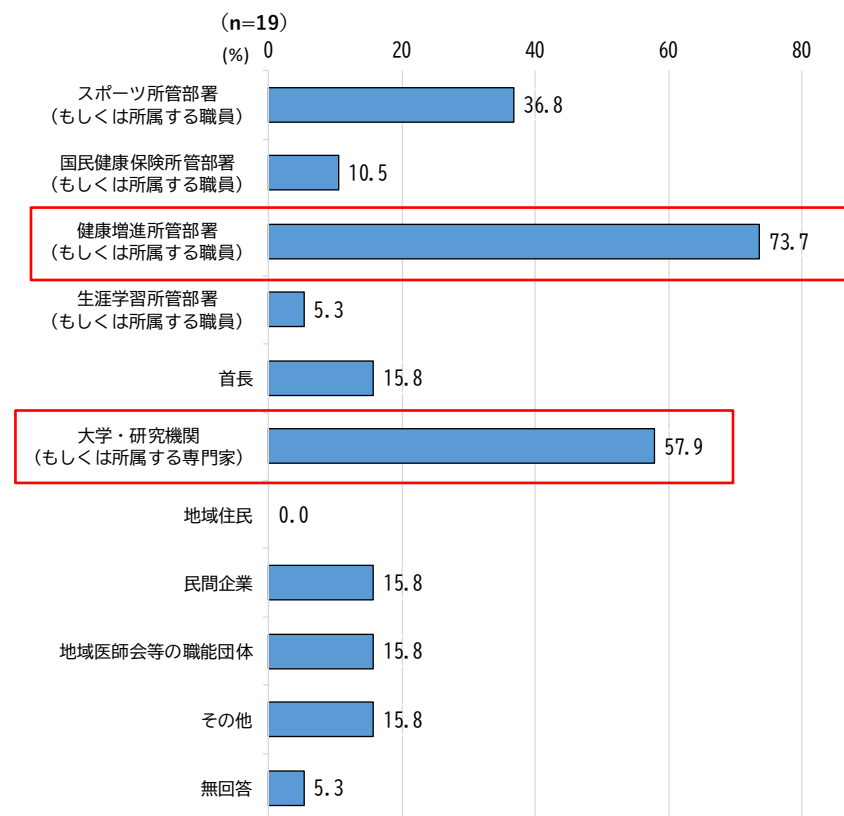
- 事業を主導した人物および部署については、＜無関心層・未実施層向け事業＞ ＜医療との連携事業＞ともに「健康増進所管部署（もしくは所属する職員）」が最も多く、それぞれ55.9%、73.7%であった
- 次いで多かったのは、＜無関心層・未実施層向け事業＞ では「スポーツ所管部署（もしくは所属する職員）」が52.5%であったが、＜医療との連携事業＞では「大学・研究機関（もしくは所属する専門家）」が57.9%であった

(6) スポーツ庁の運動・スポーツ習慣化事業へ申請する際、主導した（申請の一番のきっかけになった）人物／部署[複数回答]

＜無関心層・未実施層向け事業＞



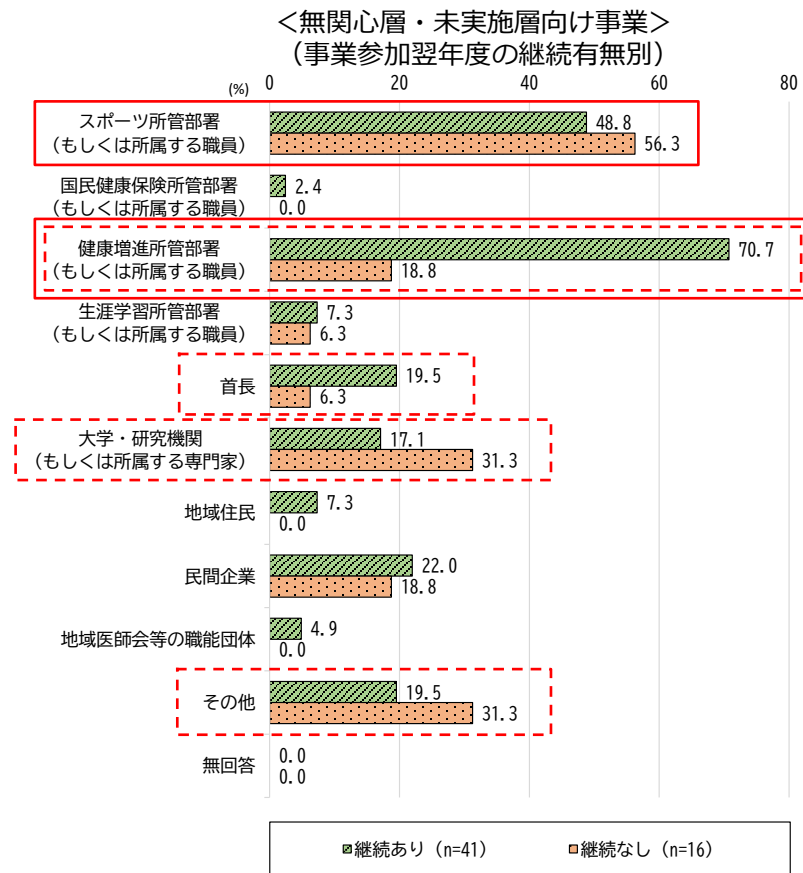
＜医療との連携事業＞



(6) 事業を主導した人物／部署について<クロス集計>※MA

- <無関心層・未実施層向け事業>について、事業参加翌年度の継続有無別にみると、継続あり群では、主導したのは「健康増進所管部署」の割合が70.7%と最も多くなっていたが、継続なし群では18.8%と50ポイント以上の差がみられた。継続なし群では、「スポーツ所管部署」の割合が56.3%と最も多くなっていた
- また、「健康増進所管部署」以外に 10ポイント以上の差がみられた項目としては、「首長」と「大学・研究機関」と「その他」であった

(6) スポーツ庁の運動・スポーツ習慣化事業へ申請する際、主導した（申請の一番のきっかけになった）人物／部署[複数回答]

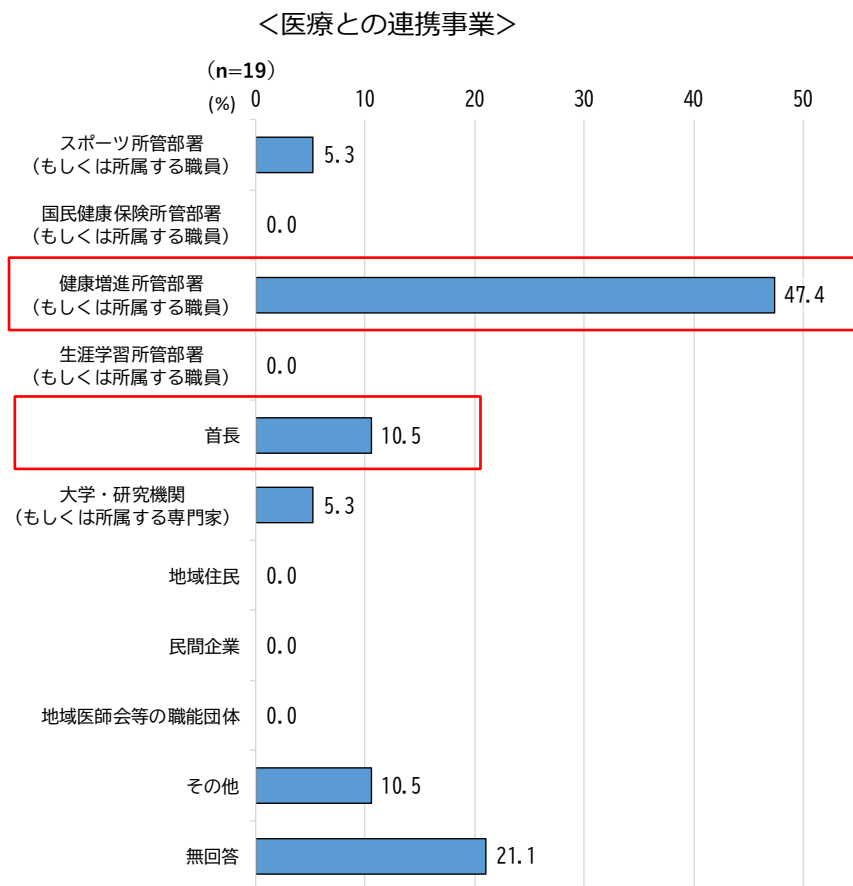
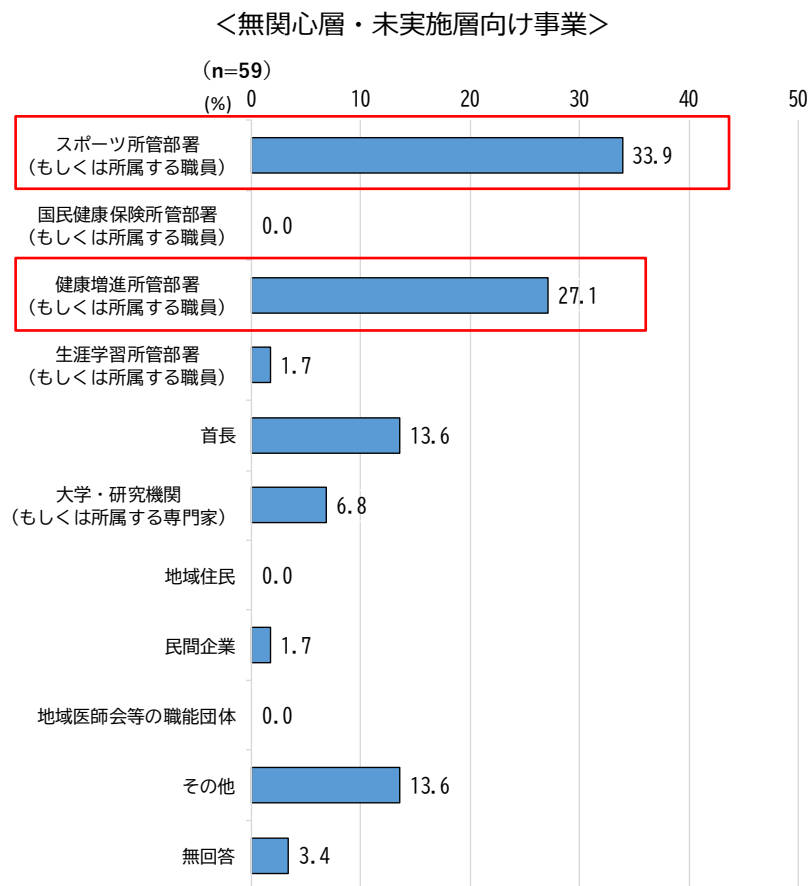


実線:継続あり群、継続なし群それぞれで最も回答の多かった選択肢
点線:継続なし群に対して継続あり群の回答が10ポイント以上多かった選択肢

(6) 事業を主導した人物／部署について＜単純集計＞※SA

- 事業を主導した人物および部署について、最も当てはまるものは、＜無関心層・未実施層向け事業＞では「スポーツ所管部署（もしくは所属する職員）」が最も多く、33.9%であった。＜医療との連携事業＞では、「健康増進所管部署（もしくは所属する職員）」が最も多く、47.4%であった
- 次いで多かったのは、＜無関心層・未実施層向け事業＞では「健康増進所管部署（もしくは所属する職員）」が27.1%であったが、＜医療との連携事業＞では「首長」が10.5%であった

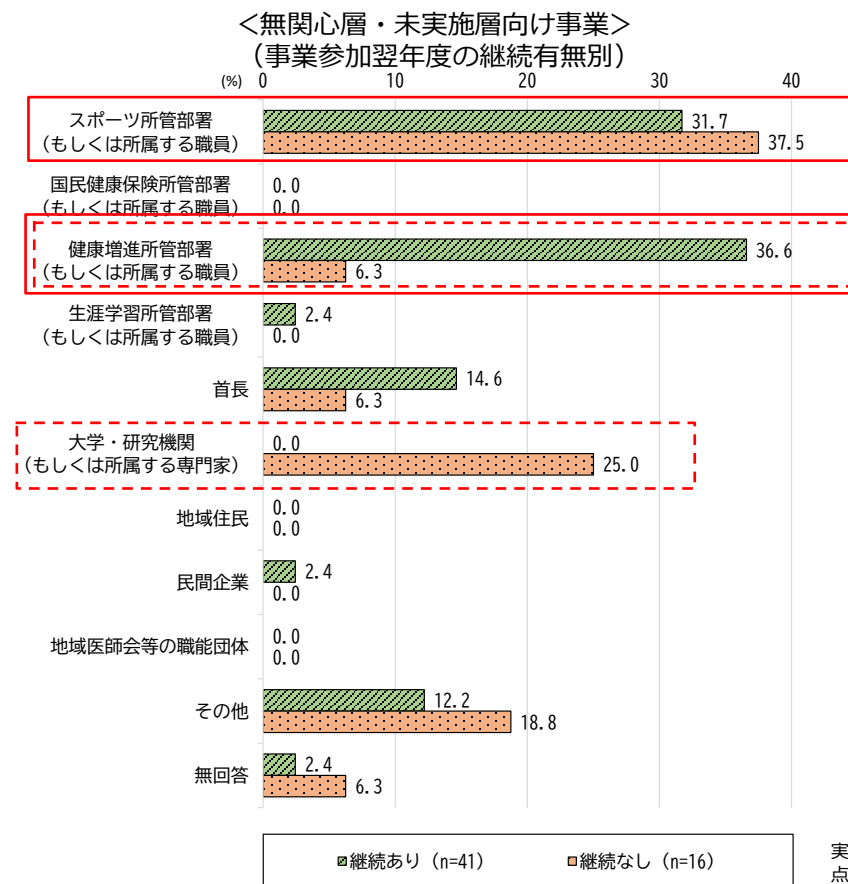
(6) スポーツ庁の運動・スポーツ習慣化事業へ申請する際、主導した（申請の一番のきっかけになった）人物／部署[最も当てはまる選択肢]



(6) 事業を主導した人物／部署について<クロス集計>※SA

- <無関心層・未実施層向け事業>について、事業参加翌年度の継続有無別にみると、継続あり群では、一番のきっかけとなったのは「健康増進所管部署」の割合が36.6%と最も多くなっていたが、継続なし群では6.3%と30ポイント以上の差がみられた。継続なし群では、「スポーツ所管部署」の割合が37.5%と最も多くなっていた
- また、「健康増進所管部署」以外に 10ポイント以上の差がみられた項目としては、「大学・研究機関」が継続あり群では0.0%であったのに対し、継続なし群では25.0%であった

(6) スポーツ庁の運動・スポーツ習慣化事業へ申請する際、主導した（申請の一番のきっかけになった）人物／部署[最も当てはまる選択肢]



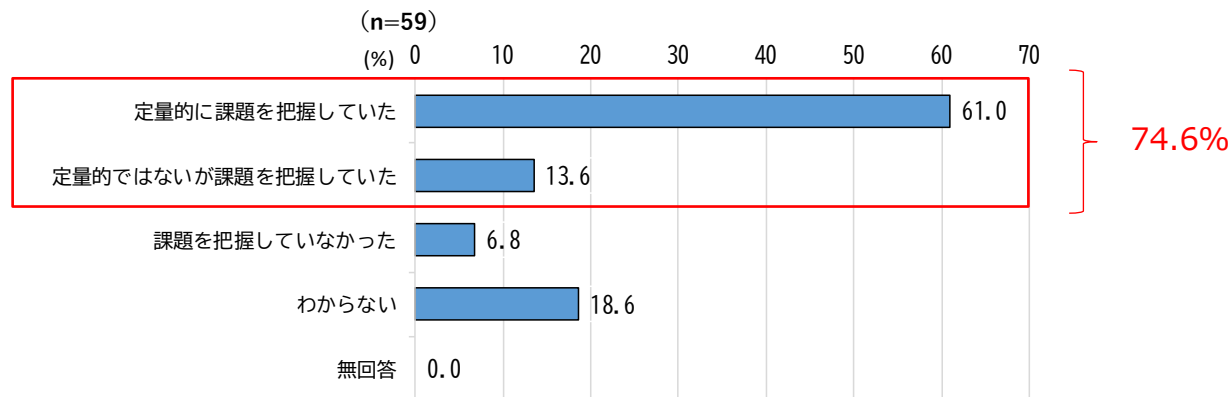
実線:継続あり群、継続なし群それぞれで最も回答の多かった選択肢
点線:継続なし群に対して継続あり群の回答が10ポイント以上多かった選択肢

(7) 自治体としての課題の把握状況について＜単純集計＞※SA

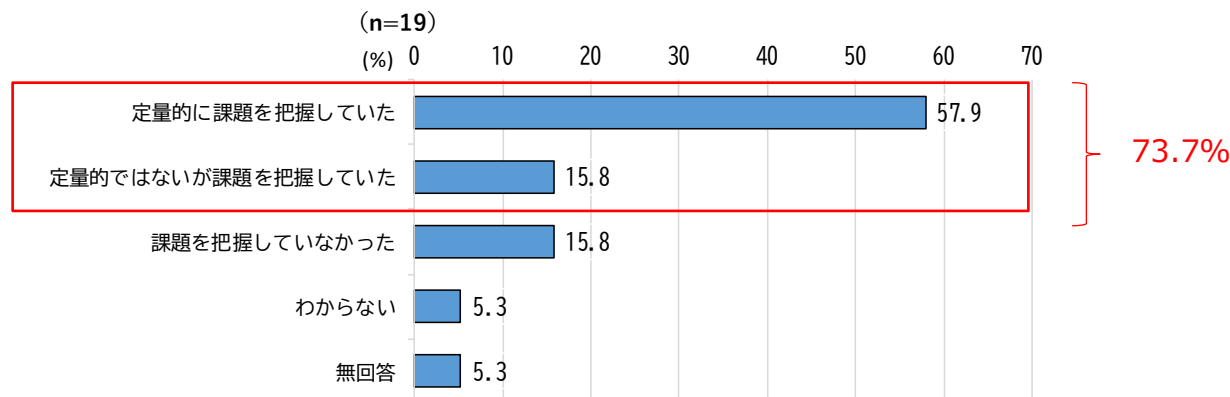
- 事業に取り組む以前、地域住民の身体活動状況など、自治体としての課題を把握していた割合は、＜無関心層・未実施層向け事業＞では74.6%、＜医療との連携事業＞では73.7%と、ともに7割以上は課題を把握していた

(7) ① 自治体としての定量的な課題の把握状況

＜無関心層・未実施層向け事業＞



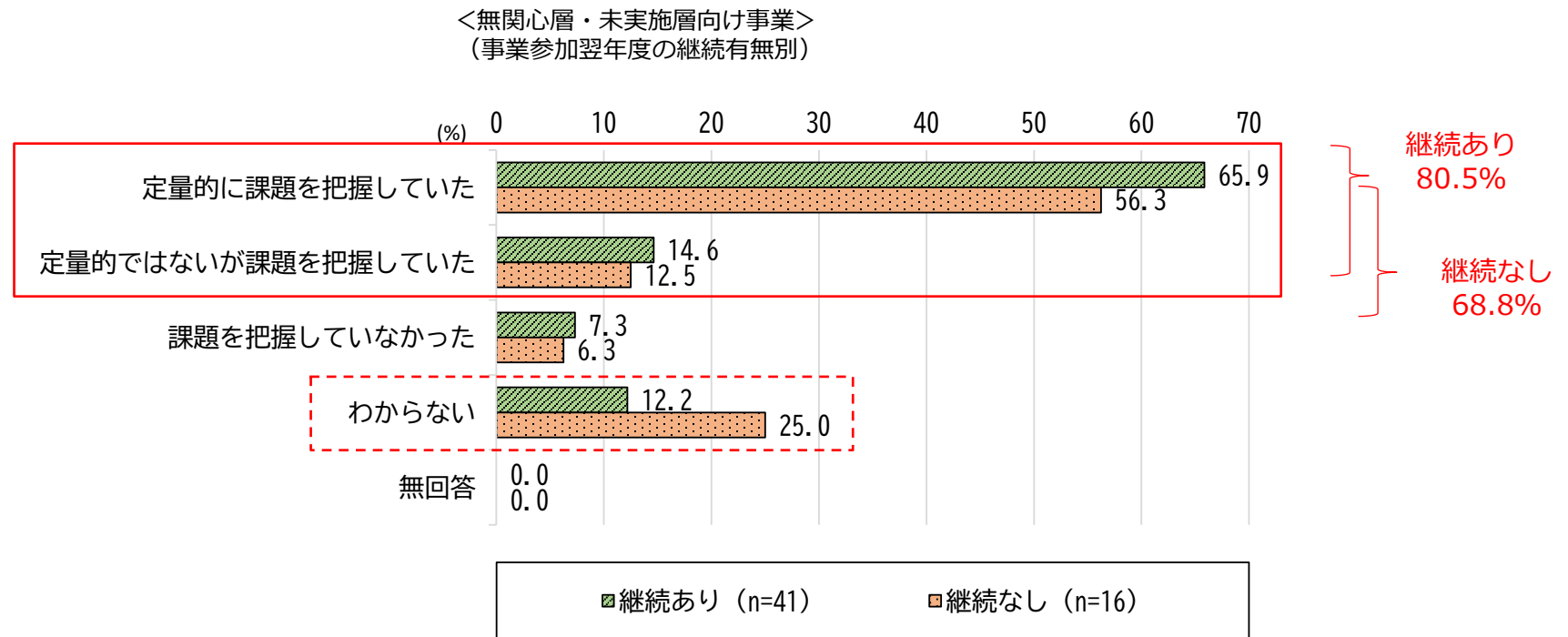
＜医療との連携事業＞



(7) 自治体としての課題の把握状況について<クロス集計>※SA

- <無関心層・未実施層向け事業>について、事業参加翌年度の継続有無別にみると、課題を把握していた割合は、継続あり群では80.5%、継続なし群では68.8%であった

(7) ① 自治体としての定量的な課題の把握状況



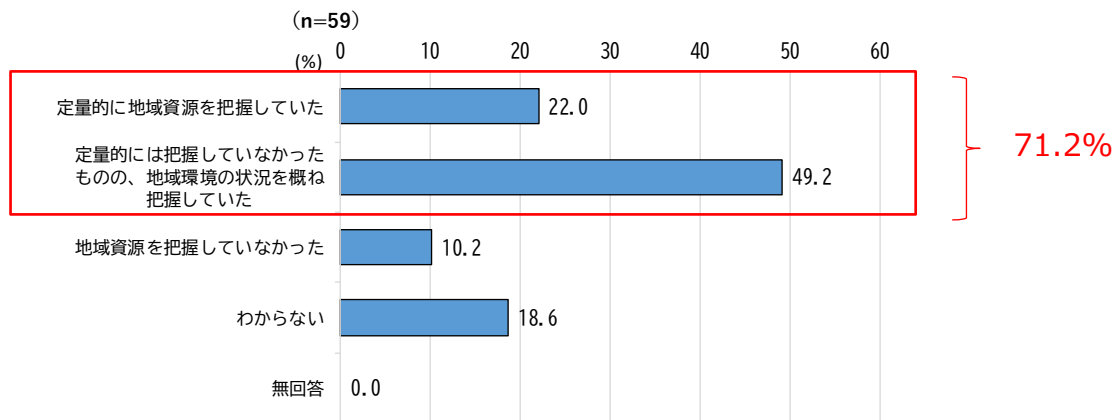
実線: 継続あり群、継続なし群それぞれで最も回答の多かった選択肢
 点線: 継続なし群に対して継続あり群の回答が10ポイント以上多かった選択肢

(8) 身体活動促進に関する地域環境の把握状況について＜単純集計＞※SA

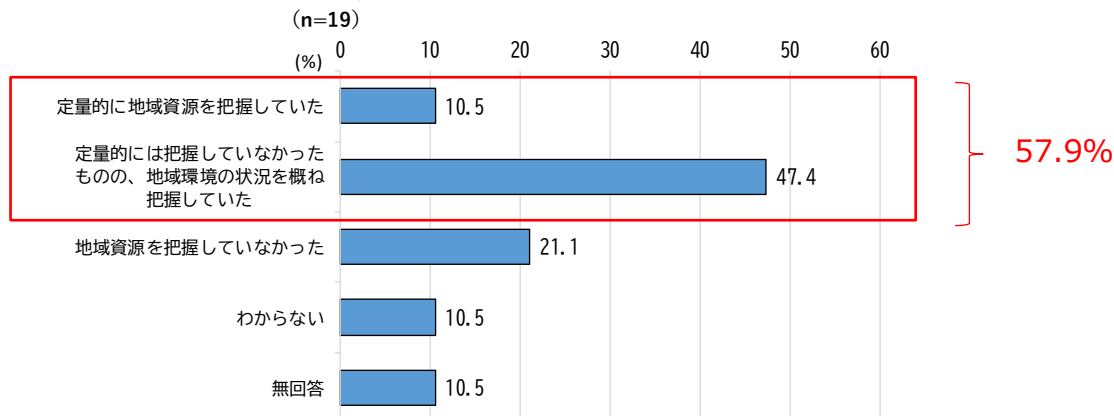
- 事業に取り組む以前、地域住民の身体活動促進に関する地域環境を把握していた割合は、＜無関心層・未実施層向け事業＞では71.2%、＜医療との連携事業＞では57.9%と、ともに5割以上は地域環境を把握していた

(8) ① 地域環境の定量的な把握状況

＜無関心層・未実施層向け事業＞



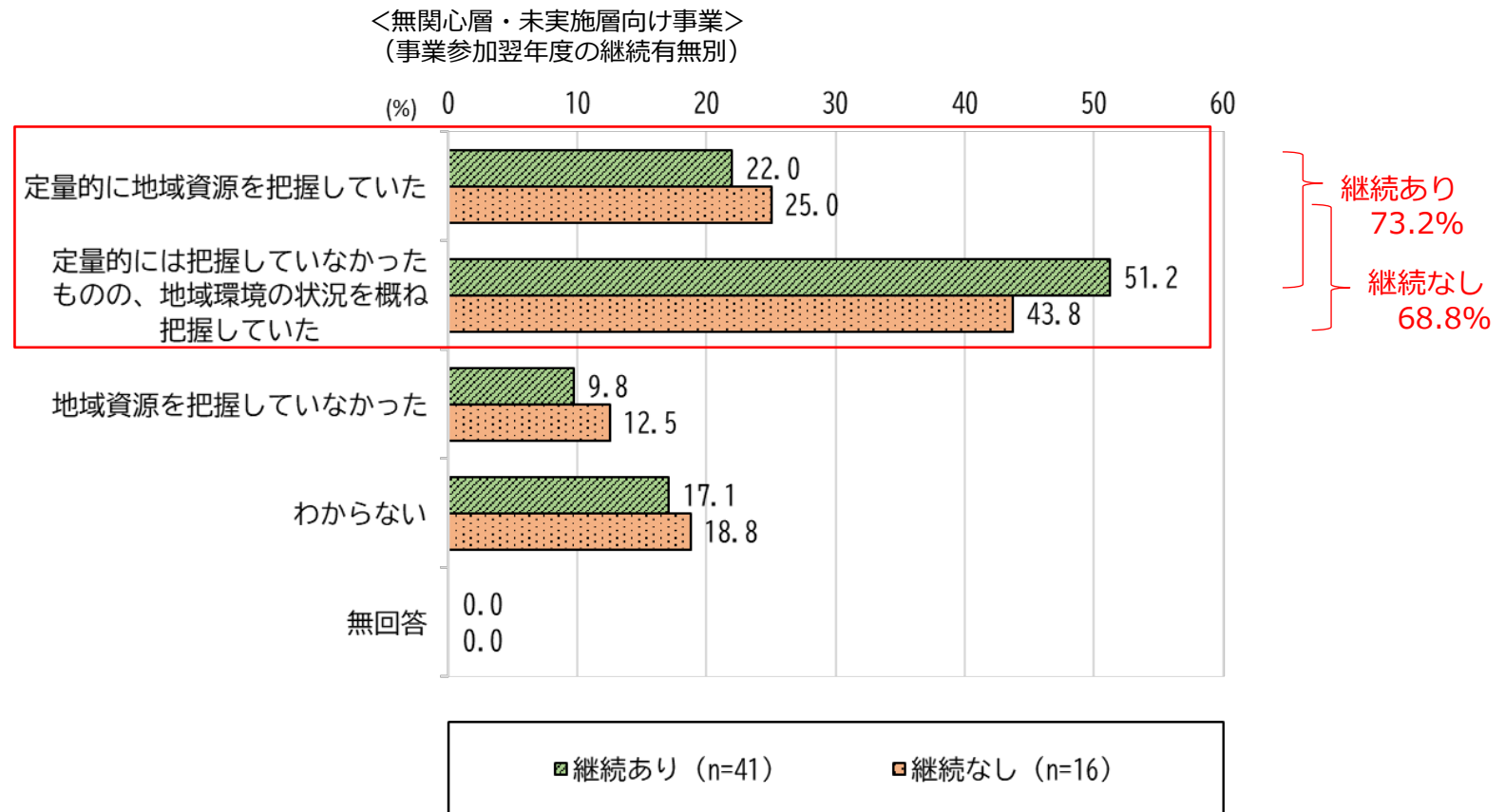
＜医療との連携事業＞



(8) 身体活動促進に関する地域環境の把握状況について<クロス集計>※SA

- <無関心層・未実施層向け事業>について、事業参加翌年度の継続有無別にみると、地域環境を把握していた割合は、継続あり群では73.2%、継続なし群では68.8%であった

(8) ① 地域環境の定量的な把握状況



(9) 事業実施内容や目標設定について＜単純集計＞※MA

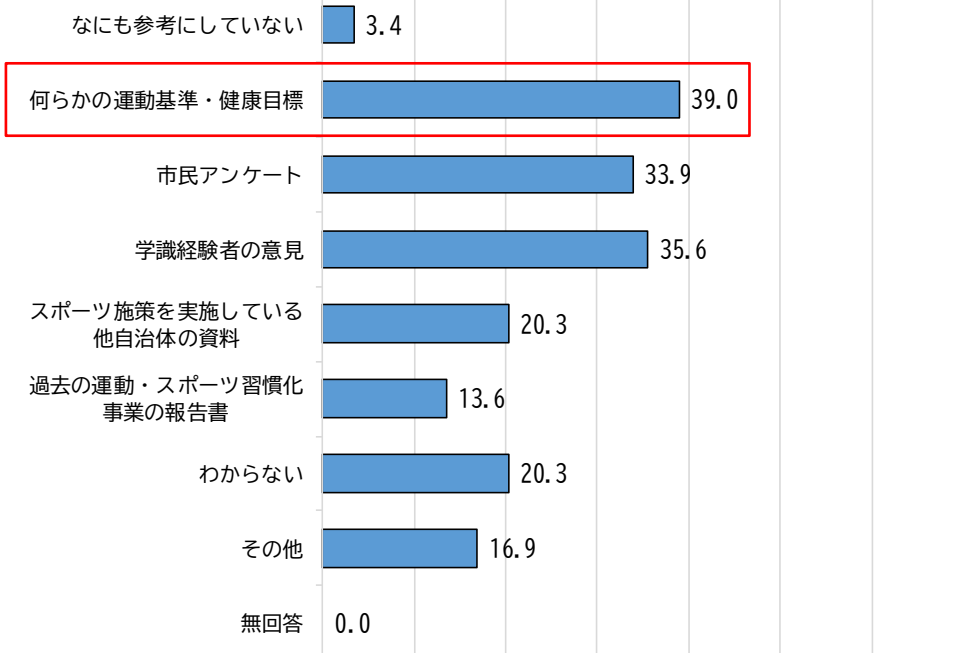
- 事業実施内容や目標の設定の際に、参考にした資料については、＜無関心層・未実施層向け事業＞では「何らかの運動基準・健康目標」が39.0%、＜医療との連携事業＞では「学識経験者の意見」が63.2%と最も多くなっていた

(9) ① 事業実施内容や目標の設定の際に、参考にした資料 [複数回答]

＜無関心層・未実施層向け事業＞

(n=59)

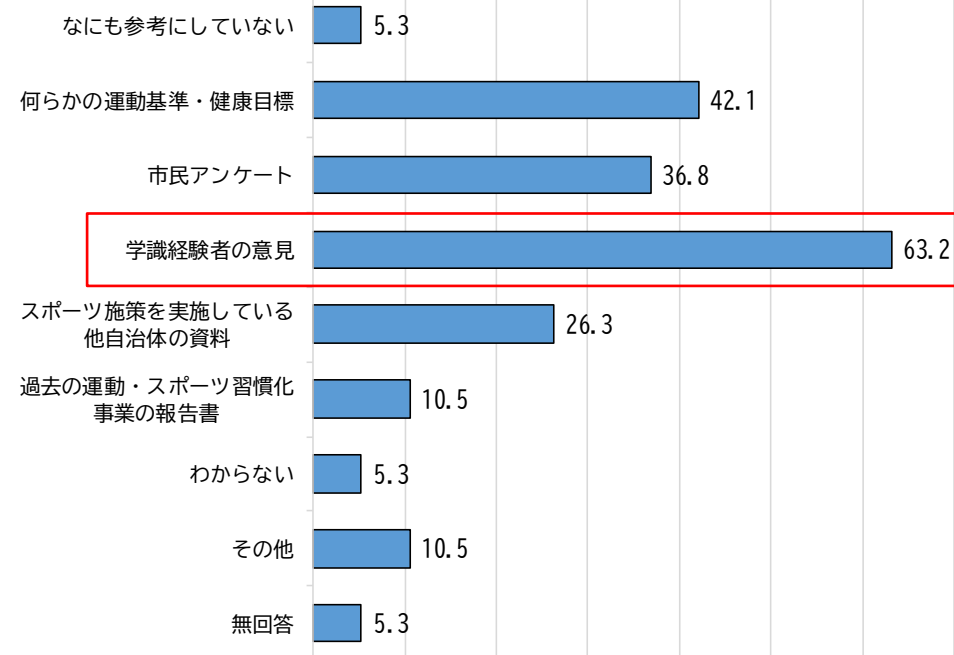
(%) 0 10 20 30 40 50 60 70



＜医療との連携事業＞

(n=19)

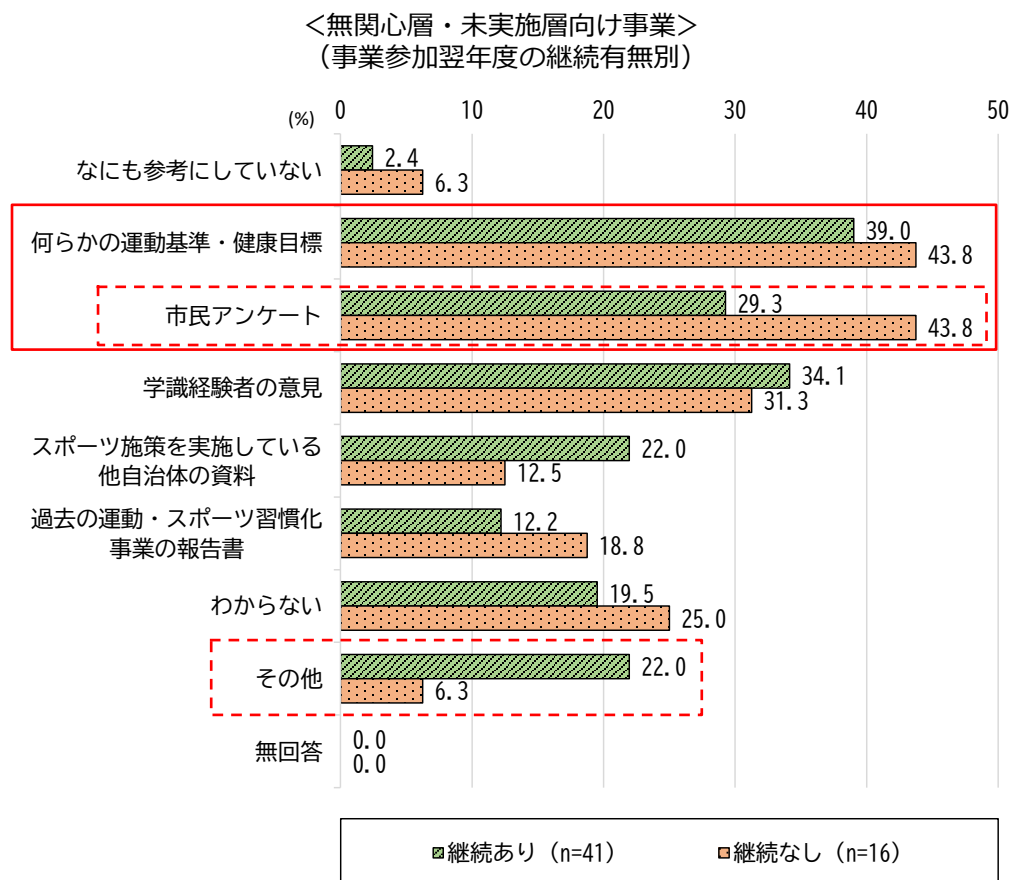
(%) 0 10 20 30 40 50 60 70



(9) 事業実施内容や目標設定について<クロス集計>※MA

- <無関心層・未実施層向け事業>について、事業参加翌年度の継続有無別にみると継続あり群のほうは、参考資料は「何らかの運動基準・健康目標」が最も多く39.0%であった。継続なし群のほうは、「何らかの運動基準・健康目標」と「市民アンケート」がともに43.8%と最も多くなっていた

(9) ① 事業実施内容や目標の設定の際に、参考にした資料 [複数回答]



実線:継続あり群、継続なし群それぞれで最も回答の多かった選択肢
点線:継続なし群に対して継続あり群の回答が10ポイント以上多かった選択肢

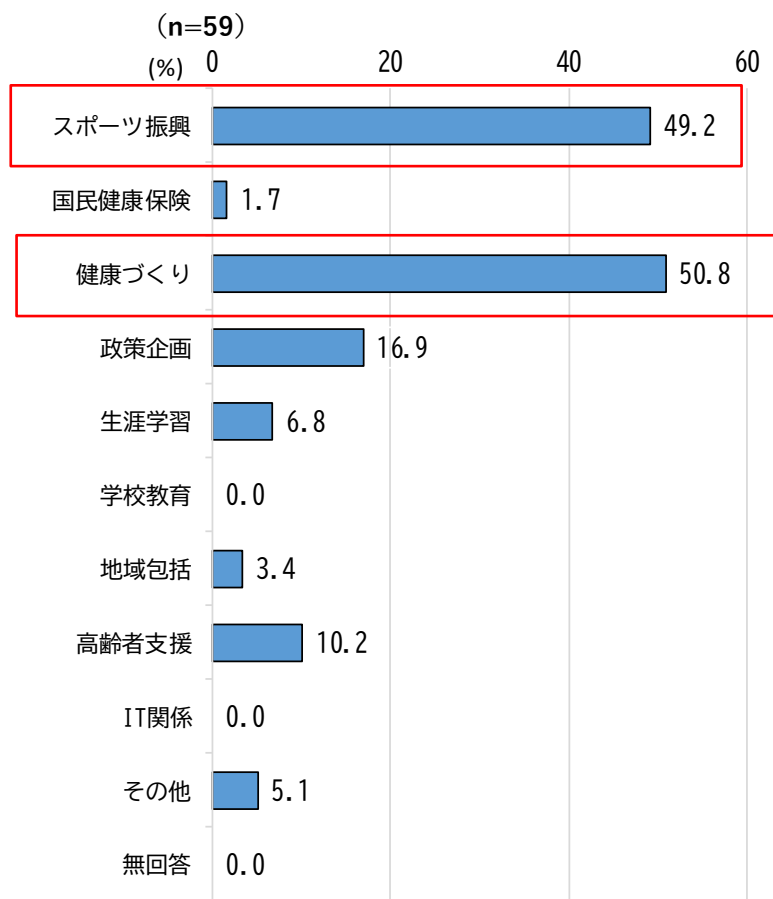
アンケート実施結果 ～ Ⅱ：事業実施について ～

(10)事業実施体制 ～主導部署(課)～＜単純集計＞※MA

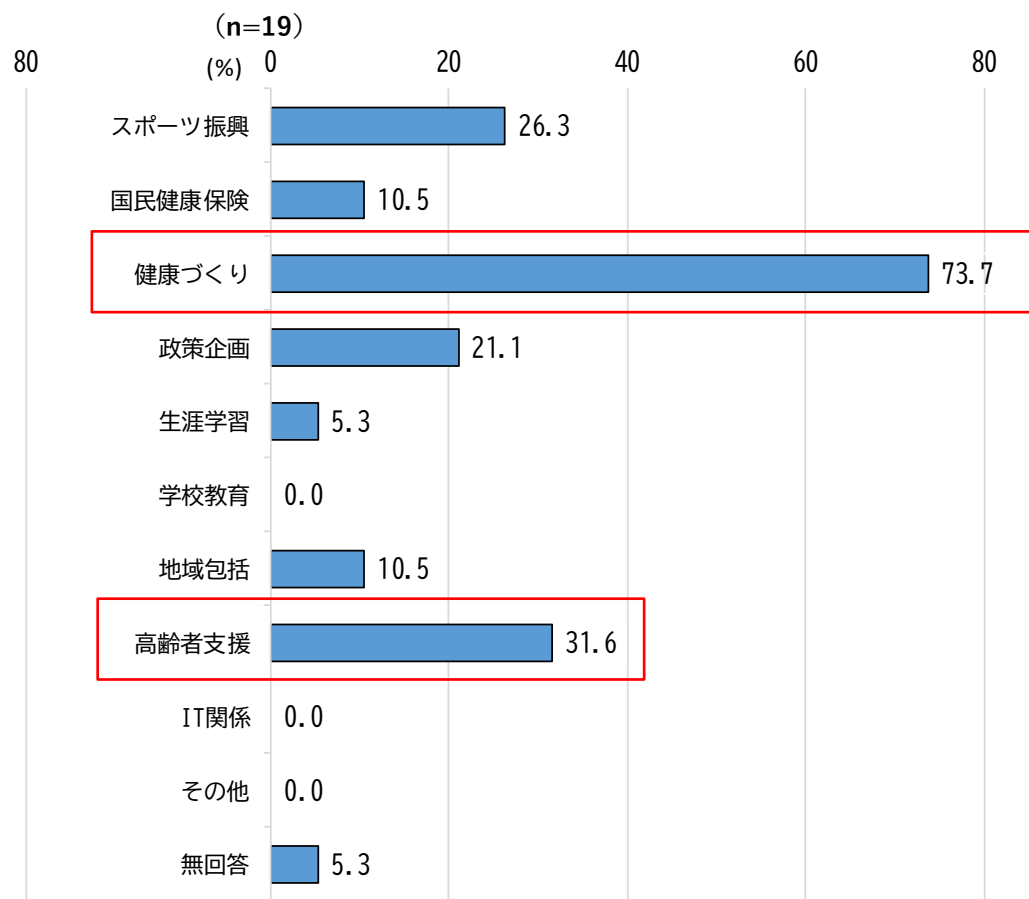
- 事業を主導した部署(課)については、どちらの事業も「健康づくり」が50.8%、73.7%と最も多くなっていた
- 次いで多かったのは、＜無関心層・未実施層向け事業＞では、「スポーツ振興」が49.2%、＜医療との連携事業＞では、「高齢者支援」が31.6%であった

(10) ①事業を主導した部署(課) [複数回答]

＜無関心層・未実施層向け事業＞



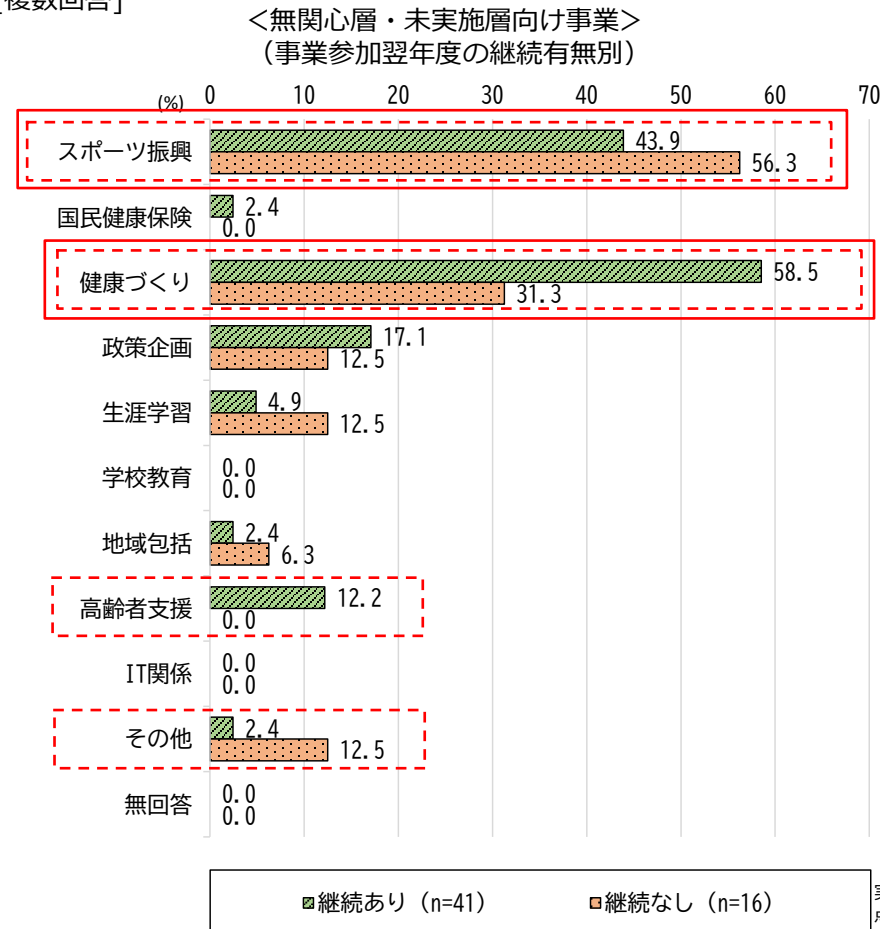
＜医療との連携事業＞



(10)事業実施体制 ～主導部署(課)～<クロス集計>※MA

- <無関心層・未実施層向け事業>について、事業参加翌年度の継続有無別にみると、継続あり群のほうは、主導部署は「健康づくり」が最も多く58.5%であった。継続なし群のほうは、「スポーツ振興」が最も多く56.3%であった

(10) ①事業を主導した部署(課) [複数回答]



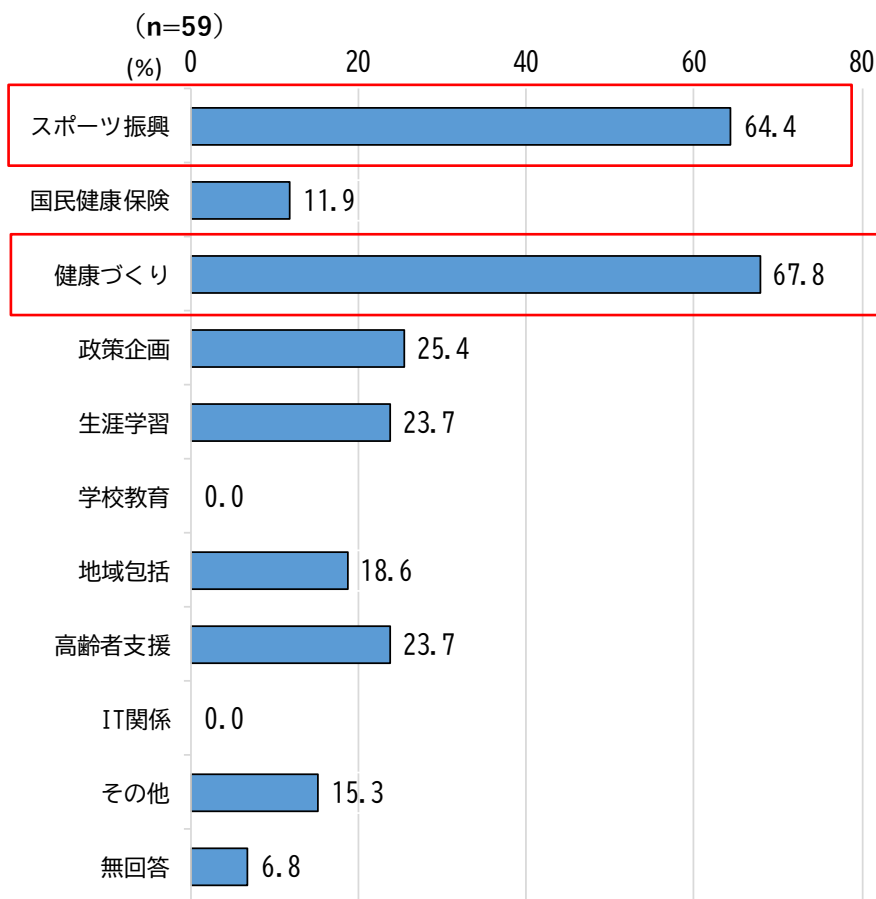
実線:継続あり群、継続なし群それぞれで最も回答の多かった選択肢
点線:継続なし群に対して継続あり群の回答が10ポイント以上多かった選択肢

(10)事業実施体制 ～庁内連携先～＜単純集計＞※MA

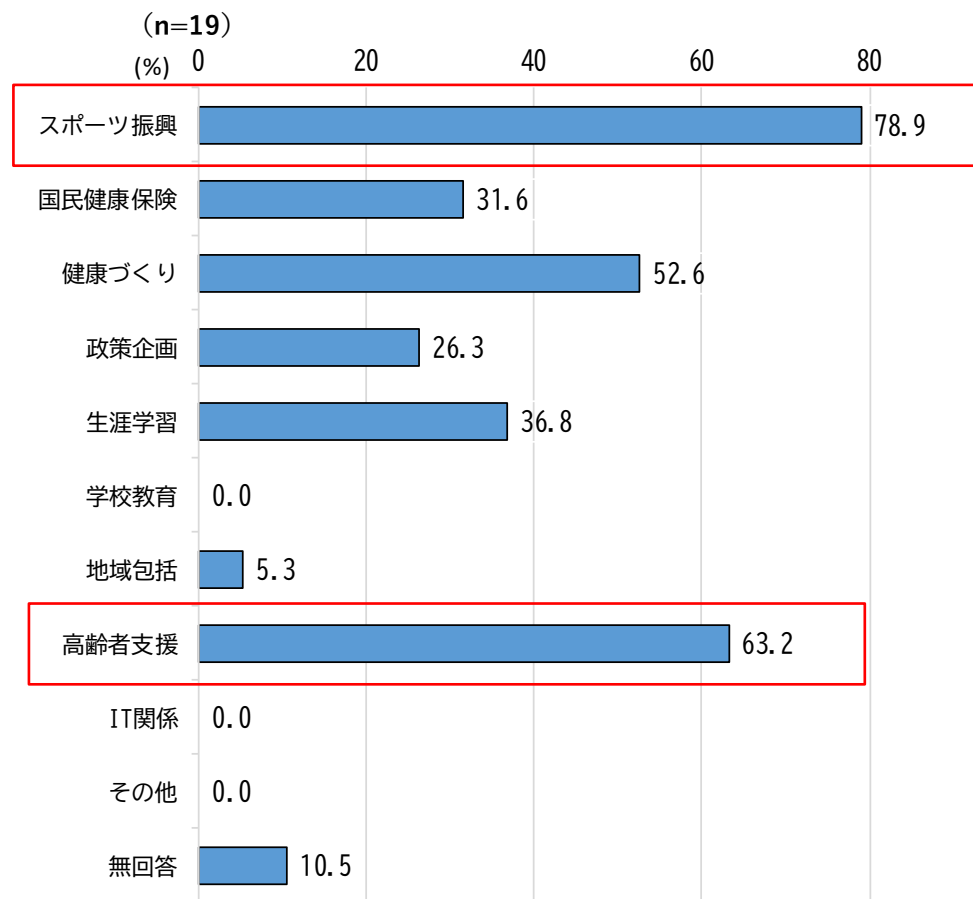
- 庁内の連携先については、＜無関心層・未実施層向け事業＞では、「健康づくり」が67.8%と最も多く、次いで「スポーツ振興」が64.4%であった。一方、＜医療との連携事業＞では、「スポーツ振興」が78.9%と最も多く、次いで「高齢者支援」が63.2%であった

(10) ②庁内の連携先[複数回答]

＜無関心層・未実施層向け事業＞



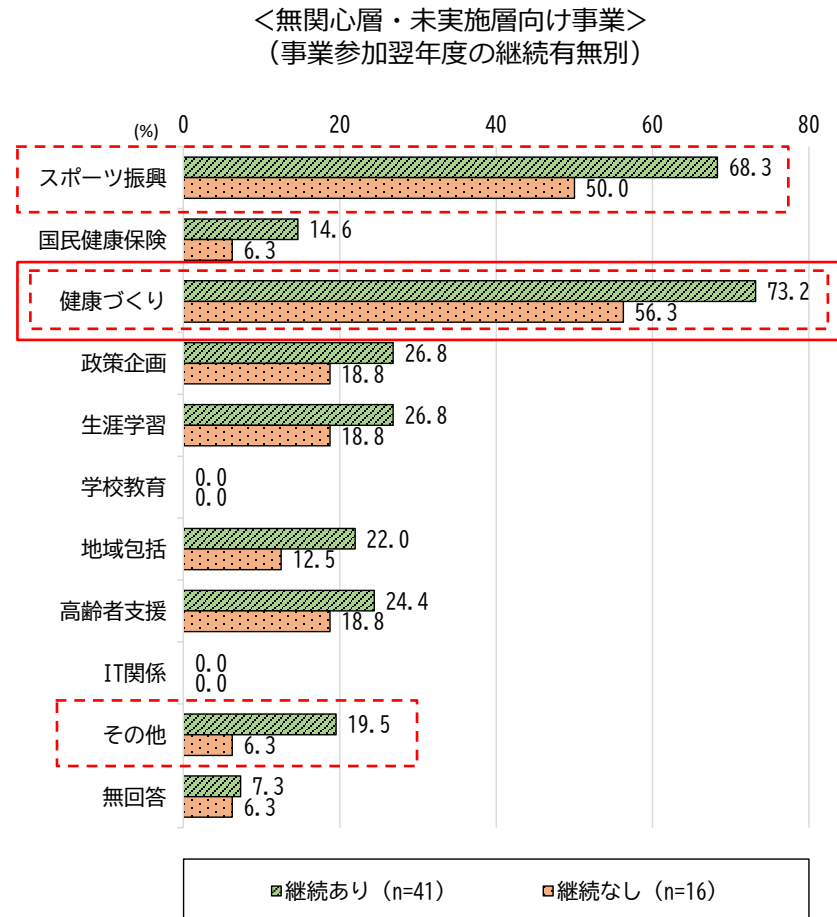
＜医療との連携事業＞



(10)事業実施体制 ～庁内連携先～＜クロス集計＞※MA

- ＜無関心層・未実施層向け事業＞について、事業参加翌年度の継続有無別にみると、庁内の連携先は「健康づくり」の割合が、継続あり群では73.2%、継続なし群では56.3%と最も多くなっていた

(10) ②庁内の連携先[複数回答]



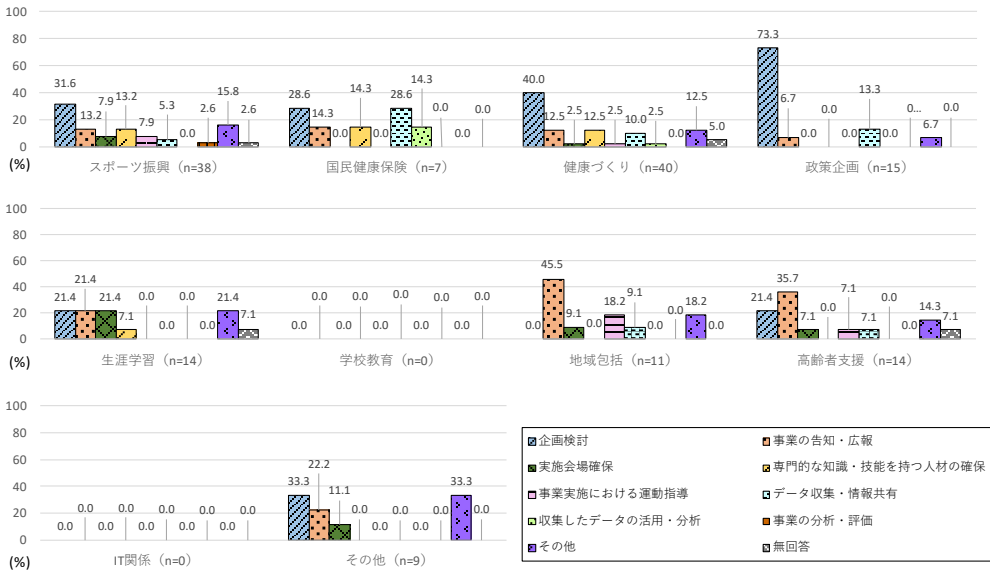
実線:継続あり群、継続なし群それぞれで最も回答の多かった選択肢
点線:継続なし群に対して継続あり群の回答が10ポイント以上多かった選択肢

(10)事業実施体制 ～庁内連携先～※SA

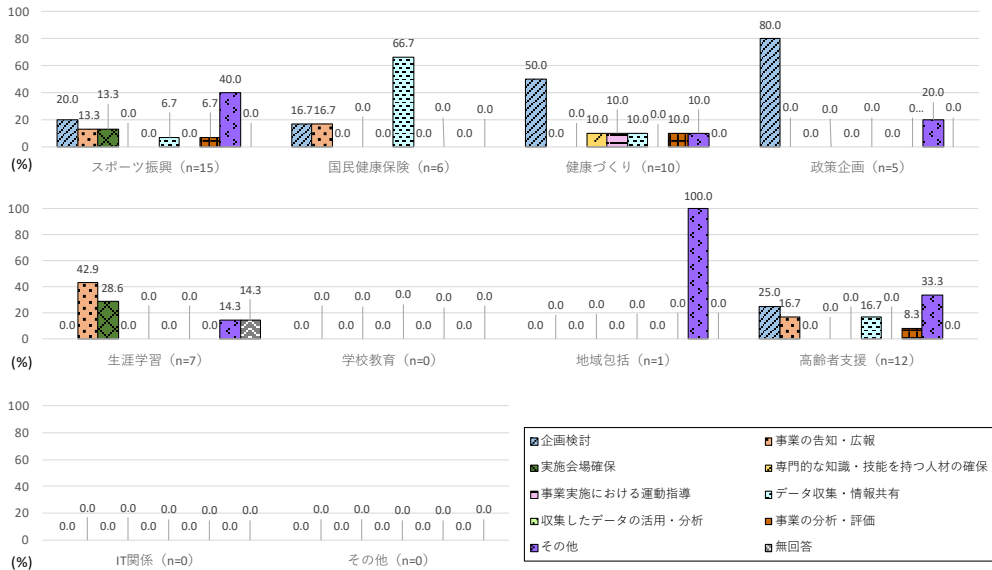
- 無関心層・未実施層向け事業で庁内の連携先が担った役割としては、スポーツ振興、健康づくり、政策企画では、「企画検討」が最も多くなっていた。一方で、地域包括や高齢者支援では「事業の告知・広報」が最も多くなっていた
- 医療との連携事業で庁内の連携先が担った役割としては、「企画検討」が多くなる傾向がみられた

(10) ②庁内の連携先が担った役割

＜無関心層・未実施層向け事業＞



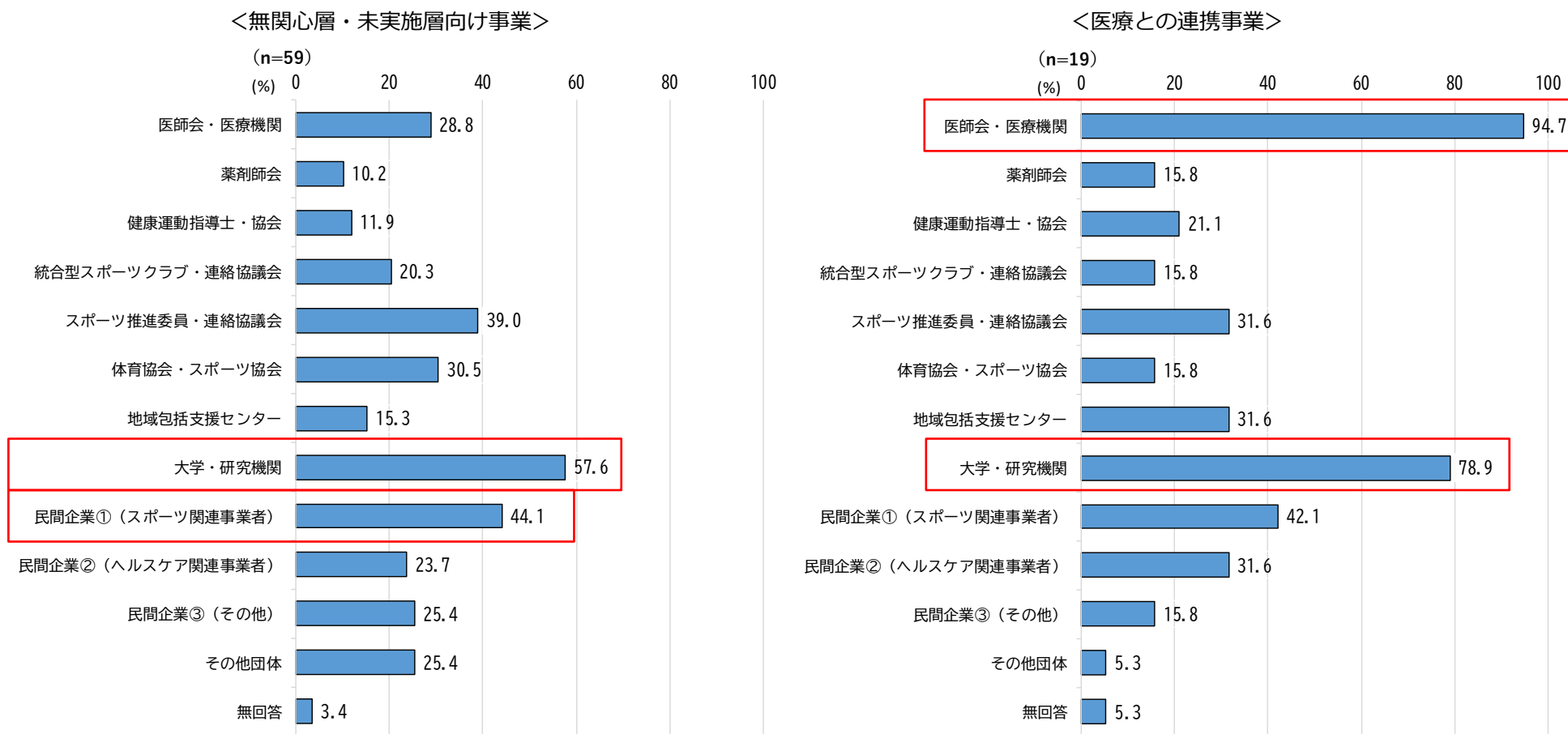
＜医療との連携事業＞



(10) 事業実施体制 ～外部連携先～＜単純集計＞※MA

- 外部の連携先については、＜無関心層・未実施層向け事業＞では、「大学・研究機関」が57.6%と最も多く、次いで「民間企業①（スポーツ関連事業者）」が44.1%であった。一方、＜医療との連携事業＞では、「医師会・医療機関」が94.7%と最も多く、次いで「大学・研究機関」が78.9%であった

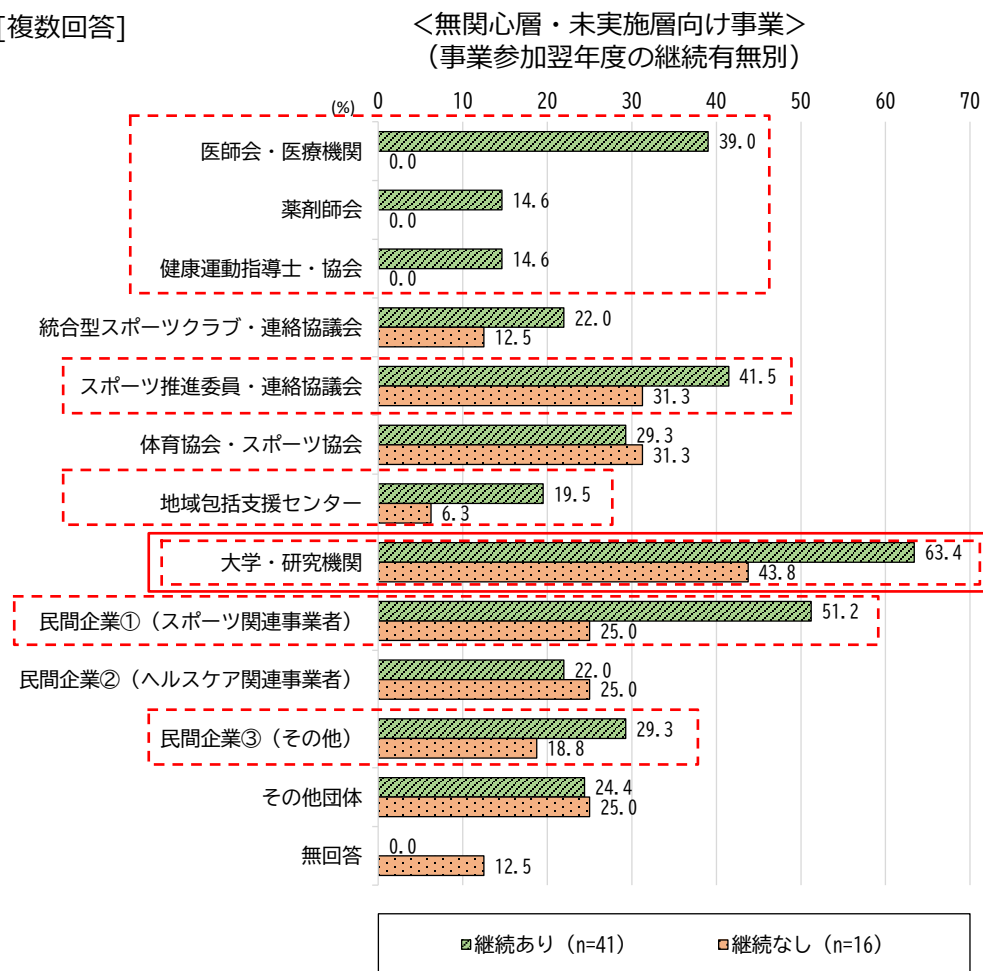
(10) ③外部の連携先[複数回答]



(10) 事業実施体制 ～外部連携先～＜クロス集計＞※MA

- ＜無関心層・未実施層向け事業＞について、事業参加翌年度の継続有無別にみると、外部連携先は「大学・研究機関」が、継続あり群では63.4%、継続なし群では43.8%と最も多くなっていた
- また、「医師会・医療機関」と「薬剤師会」と「健康運動指導士・協会」は継続あり群では、それぞれ39.0%、14.6%、14.6%であったが、継続なし群では全て0.0%であった

(10) ③外部の連携先[複数回答]



実線: 継続あり群、継続なし群それぞれで最も回答の多かった選択肢
点線: 継続なし群に対して継続あり群の回答が10ポイント以上多かった選択肢

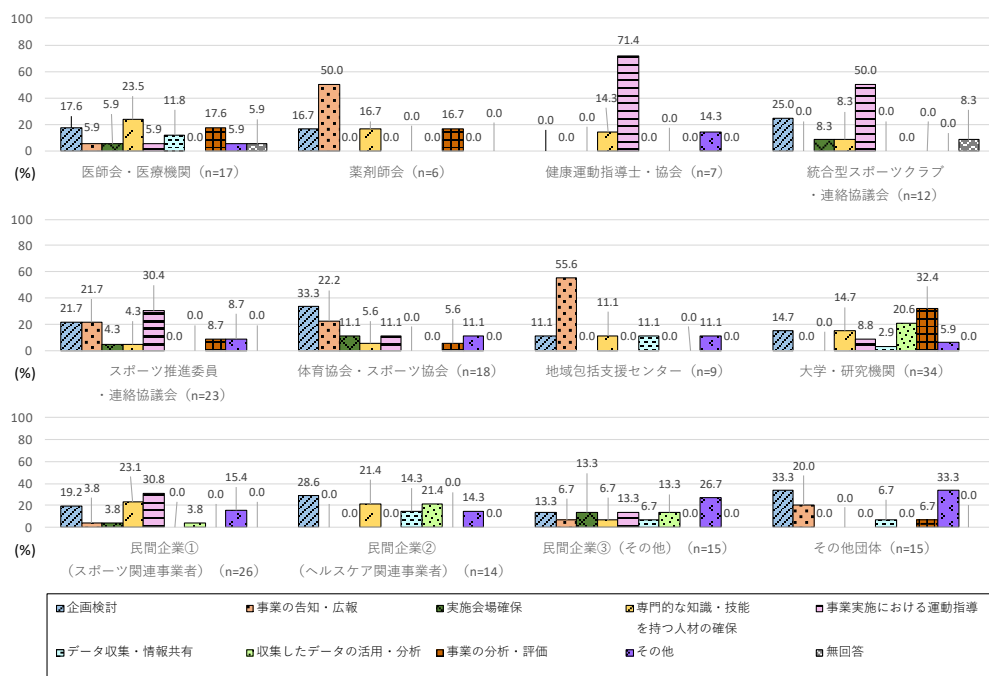
(10) 事業実施体制 ～外部連携先～※SA

- 無関心層・未実施層向け事業で庁外の連携先が担った役割としては、回答数の多かった医師会・医療機関、大学・研究機関でそれぞれ「専門的な知識・技能を持つ人材の確保」「事業の分析・評価」が最も多くなっていた。一方で、スポーツ推進委員・連絡協議会、民間企業(スポーツ関連事業者)では「事業実施における運動指導」が最も多くなっていた

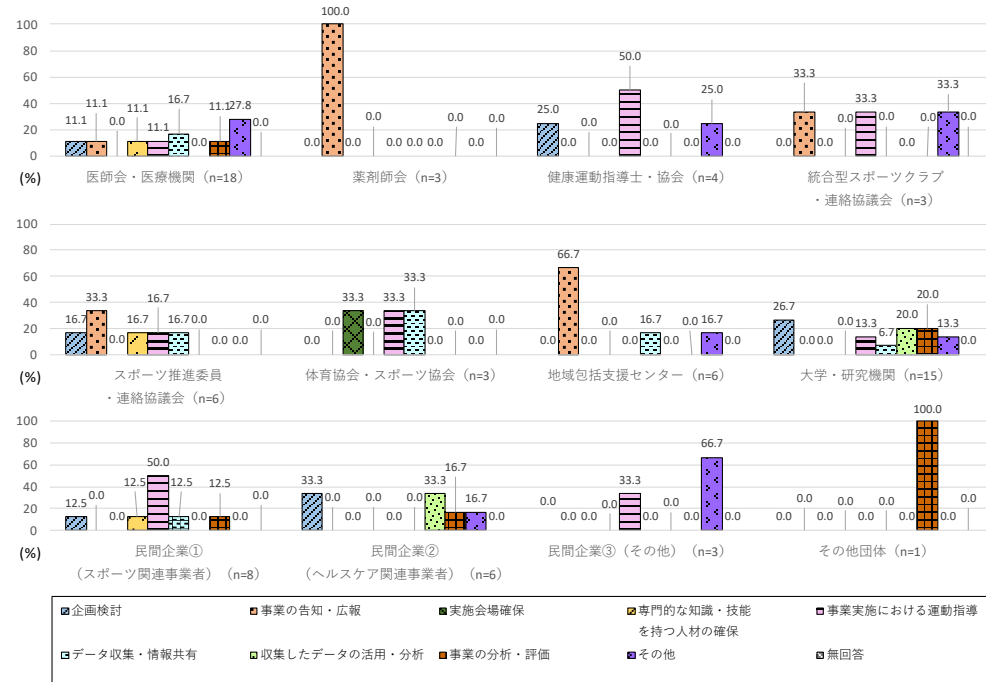
- 医療との連携事業で庁外の連携先が担った役割としては、回答数の多かった医師会・医療機関では「データ収集・情報共有」、大学・研究機関では「企画検討」が最も多くなっていた

(10) ③外部の連携先が担った役割

<無関心層・未実施層向け事業>



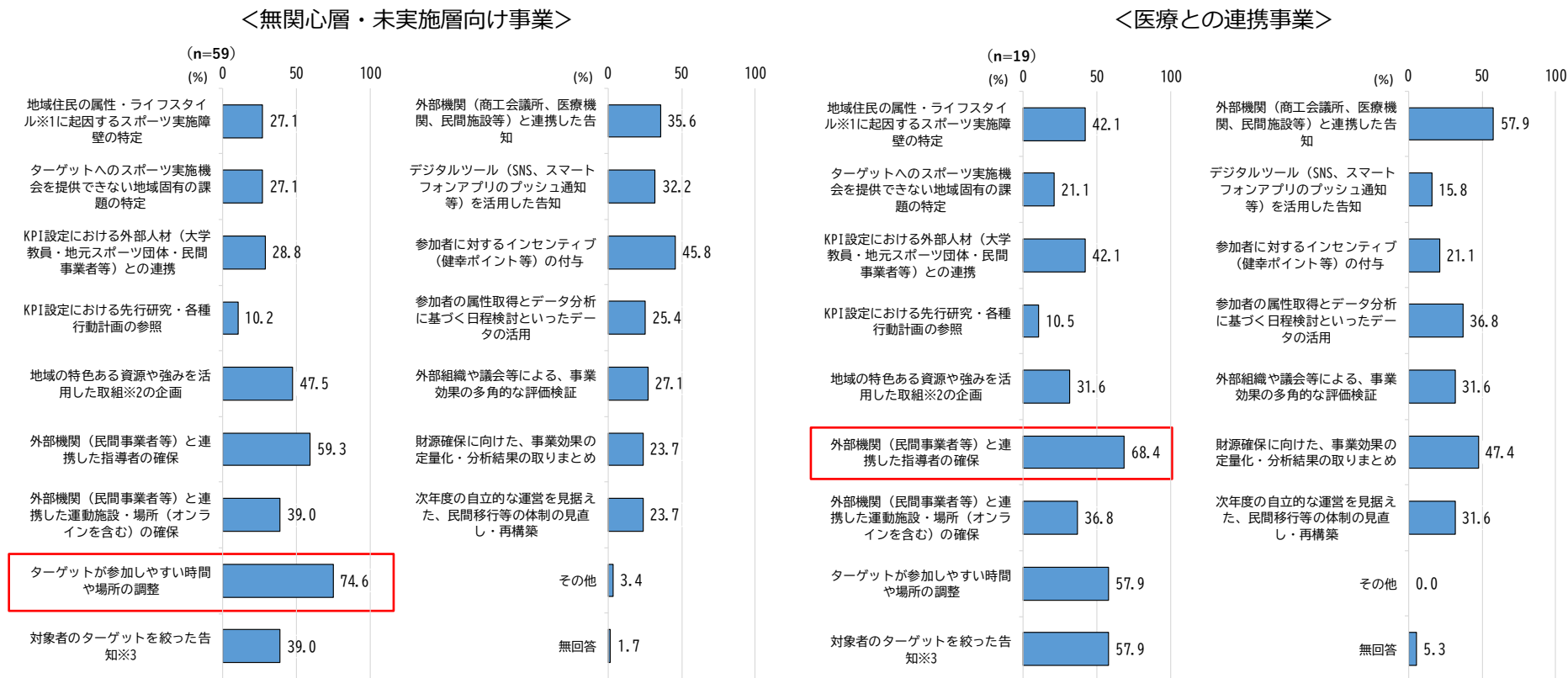
<医療との連携事業>



(11) 事業成功に向けての取組内容について＜単純集計＞※MA

- 事業の成功に向けて取り組んだこととしては、＜無関心層・未実施層向け事業＞では、「ターゲットが参加しやすい時間や場所の調整」が74.6%と最も多く、＜医療との連携事業＞では、「外部機関（民間事業者等）と連携した指導者の確保」が68.4%と最も多くなっていた

（１１）事業の成功に向けて取り組んだこと[複数回答]



※1：「自動車移動が多い」「製造業が中心で休日の運動機会が少ない」といった要因の検討・調査

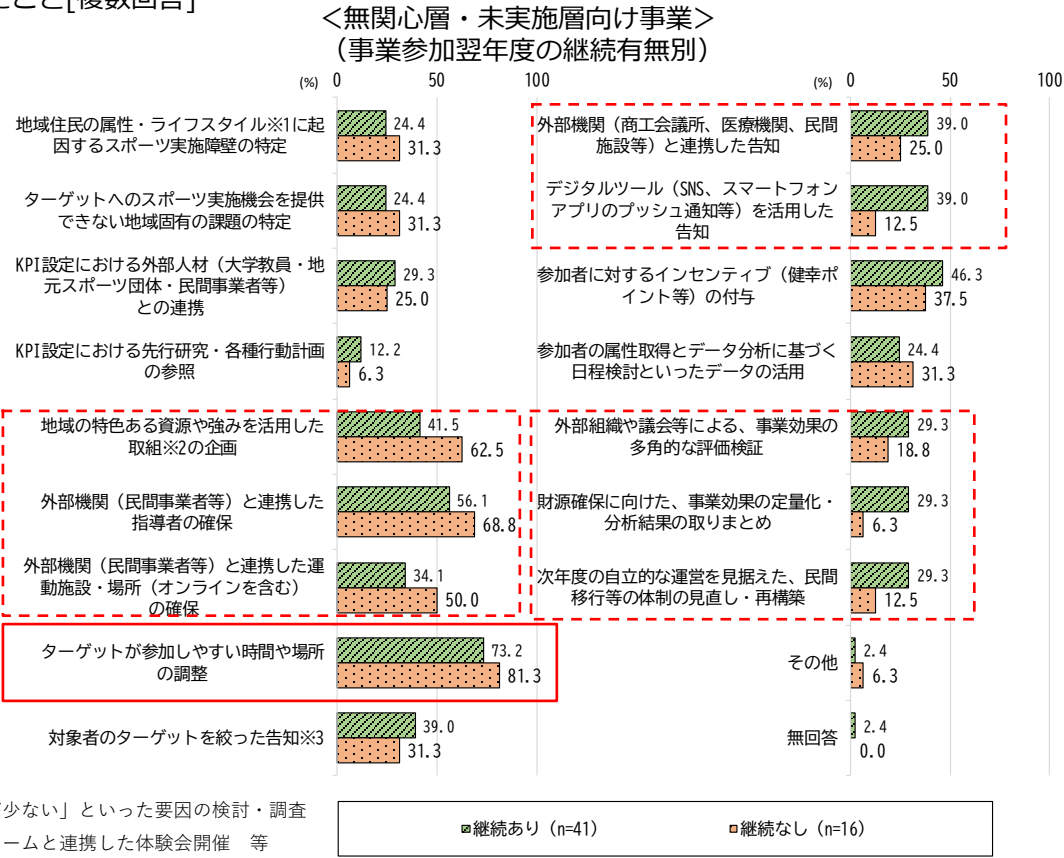
※2：地域内の景勝地を巡るウォーキングツアー、地域のプロチームと連携した体験会開催 等

※3：自動車通勤者に対するカーラジオでの告知やドラッグストア等生活動線上の施設での告知 等

(11)事業成功に向けての取組内容について<クロス集計>※MA

- <無関心層・未実施層向け事業>について、事業参加翌年度の継続有無別にみると、成功に向けての取組は「ターゲットが参加しやすい時間や場所の調整」が、継続あり群では73.2%、継続なし群では81.3%と最も多くなっていた
- 継続あり群と継続なし群で、最もポイント差があったのは、「デジタルツールを活用した告知」で、26.5ポイント差となっていた

(1 1) 事業の成功に向けて取り組んだこと[複数回答]



※1：「自動車移動が多い」「製造業が中心で休日の運動機会が少ない」といった要因の検討・調査
 ※2：地域内の景勝地を巡るウォーキングツアー、地域のプロチームと連携した体験会開催 等
 ※3：自動車通勤者に対するカーラジオでの告知やドラッグストア等生活動線上の施設での告知 等

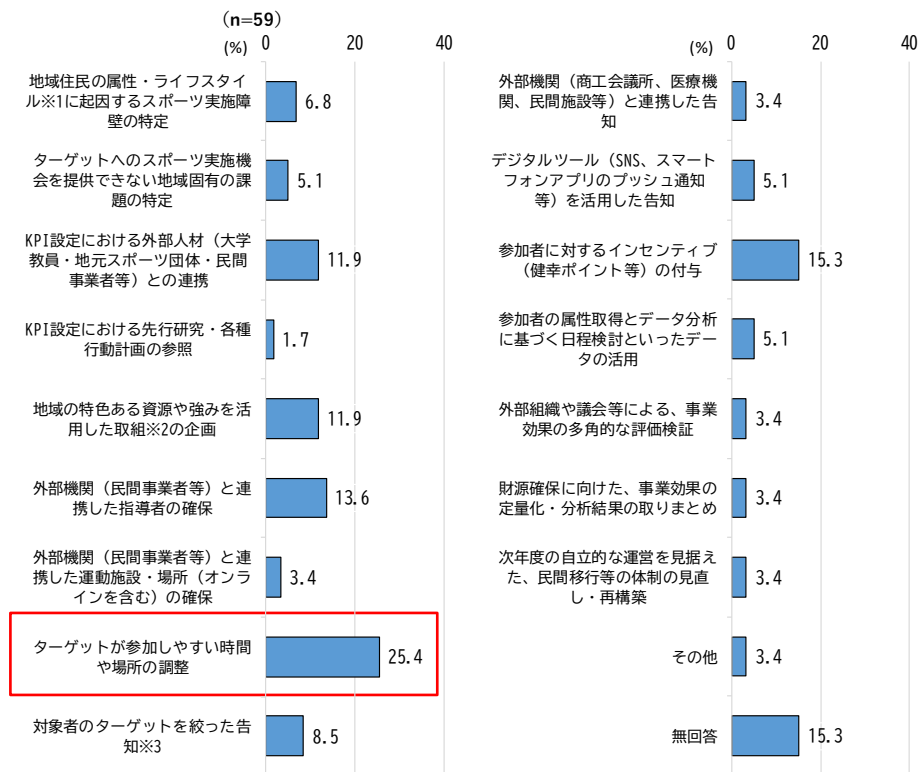
実線:継続あり群、継続なし群それぞれで最も回答の多かった選択肢
 点線:継続なし群に対して継続あり群の回答が10ポイント以上多かった選択肢

(11) 事業成功に向けての取組内容について＜単純集計＞※SA

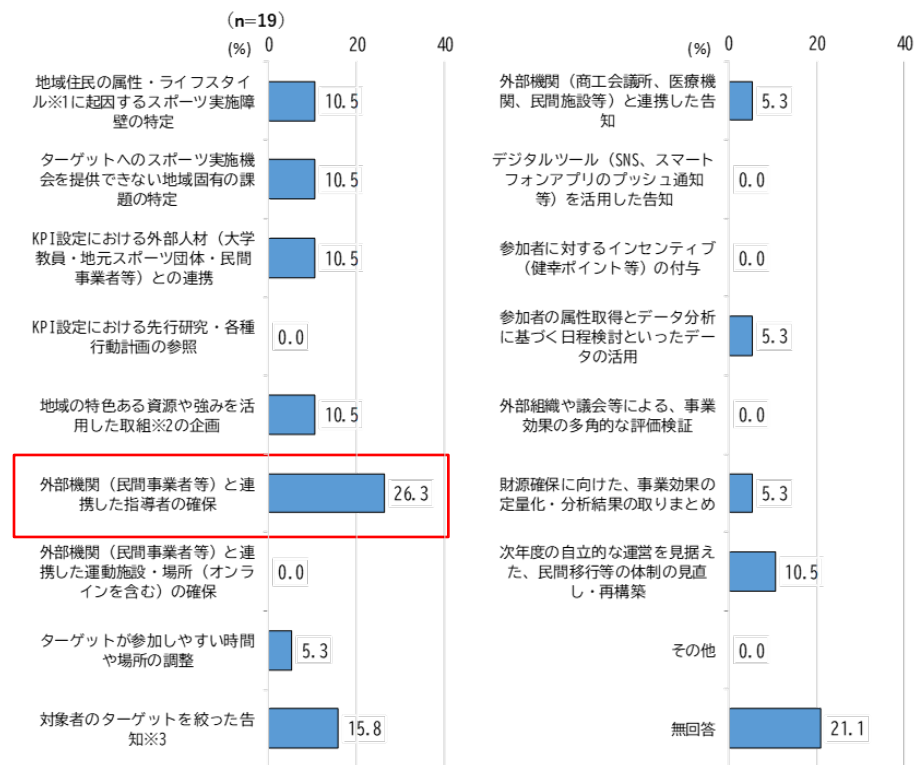
- 事業の成功に向けて取り組んだことで最も当てはまることも、先ほどと同様の傾向だった。＜無関心層・未実施層向け事業＞では、「ターゲットが参加しやすい時間や場所の調整」が25.4%と最も多く、＜医療との連携事業＞では、「外部機関（民間事業者等）と連携した指導者の確保」が26.3%と最も多くなっていた

（１１）事業の成功に向けて取り組んだこと[最も当てはまる選択肢]

＜無関心層・未実施層向け事業＞



＜医療との連携事業＞



※1：「自動車移動が多い」「製造業が中心で休日の運動機会が少ない」といった要因の検討・調査

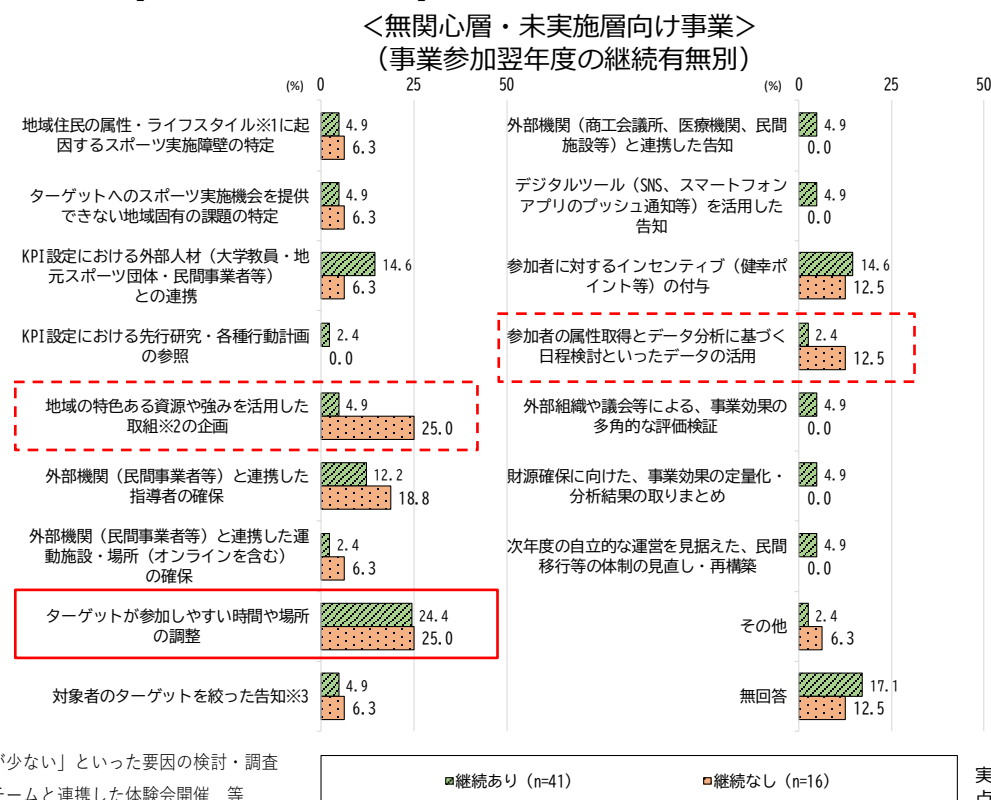
※2：地域内の景勝地を巡るウォーキングツアー、地域のプロチームと連携した体験会開催 等

※3：自動車通勤者に対するカーラジオでの告知やドラッグストア等生活動線上の施設での告知 等

(11) 事業成功に向けての取組内容について<クロス集計>※SA

- <無関心層・未実施層向け事業>について、事業参加翌年度の継続有無別にみると、成功に向けての取組で最も当てはまるのは「ターゲットが参加しやすい時間や場所の調整」が、継続あり群では24.4%、継続なし群では25.0%と最も多くなっていた。継続なし群では、「地域の特色ある資源や強みを活用した取組の企画」も同じく25.0%と最も多くなっていた
- 継続あり群と継続なし群で、10ポイント以上の差があったのは、「地域の特色ある資源や強みを活用した取組の企画」と「参加者の属性取得とデータ分析に基づく日程検討といったデータの活用」であった

(11) 事業の成功に向けて取り組んだこと[最も当てはまる選択肢]



実線:継続あり群、継続なし群それぞれで最も回答の多かった選択肢
点線:継続なし群に対して継続あり群の回答が10ポイント以上多かった選択肢

※1:「自動車移動が多い」「製造業が中心で休日の運動機会が少ない」といった要因の検討・調査

※2:地域内の景勝地を巡るウォーキングツアー、地域のプロチームと連携した体験会開催 等

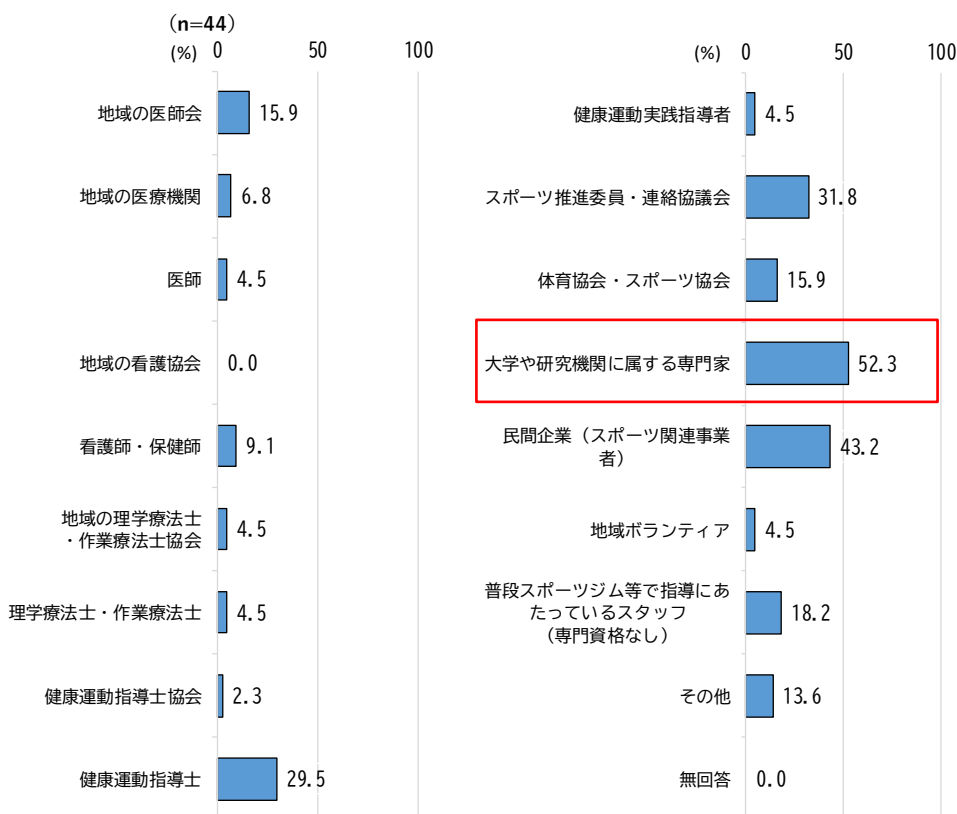
※3:自動車通勤者に対するカーラジオでの告知やドラッグストア等生活動線上の施設での告知 等

(12) 連携した専門的な知識を有する組織や人材について＜単純集計＞※MA

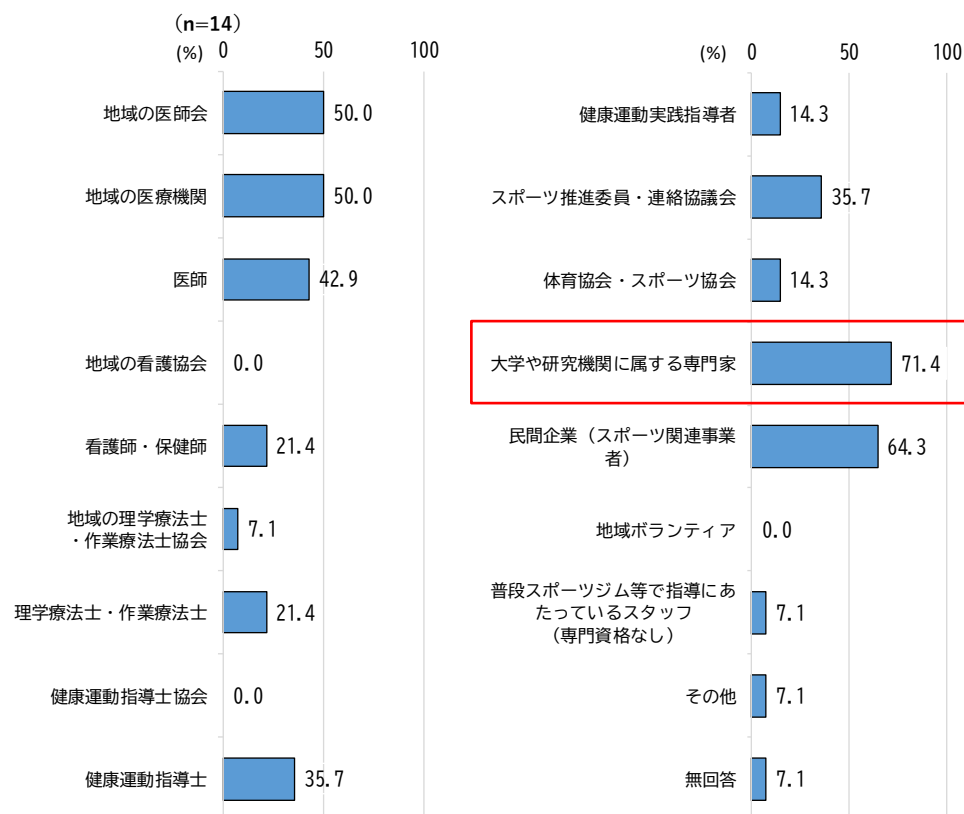
- 連携した運動・スポーツに関する専門的な知識を有する組織や人材については、どちらの事業も「大学や研究機関に属する専門家」が52.3%、71.4%と最も多くなっていた

(12) ① 連携した運動・スポーツに関する専門的な知識を有する組織や人材[複数回答]

＜無関心層・未実施層向け事業＞



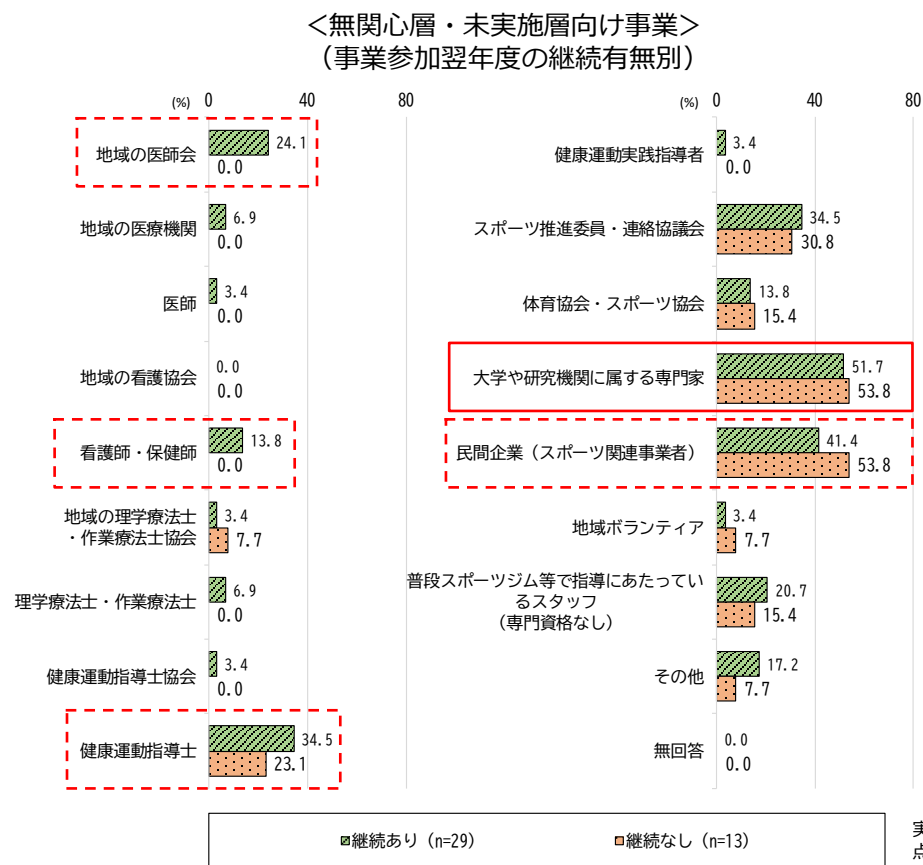
＜医療との連携事業＞



(12) 連携した専門的な知識を有する組織や人材について＜クロス集計＞※MA

- ＜無関心層・未実施層向け事業＞について、事業参加翌年度の継続有無別にみると、継続あり群では連携先は「大学や研究機関に属する専門家」の割合が51.7%と最も多く、継続なし群では「大学や研究機関に属する専門家」と「民間企業（スポーツ関連事業者）」の割合がどちらも53.8%と最も多くなっていた
- 継続あり群と継続なし群で、10ポイント以上の差があったのは、「地域の医師会」と「看護師・保健師」と「健康運動指導士」と「民間企業（スポーツ関連事業者）」であった

(12) ① 連携した運動・スポーツに関する専門的な知識を有する組織や人材[複数回答]



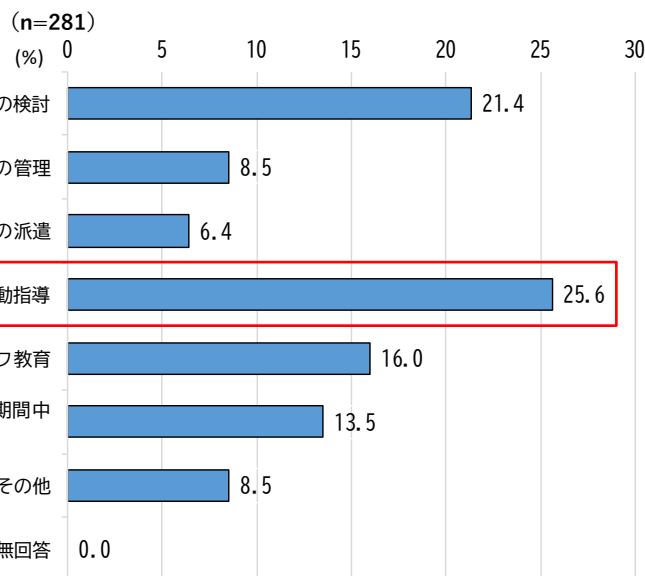
実線: 継続あり群、継続なし群それぞれで最も回答の多かった選択肢
点線: 継続なし群に対して継続あり群の回答が10ポイント以上多かった選択肢

(12) 連携した専門的な知識を有する組織や人材の役割について＜単純集計＞※MA

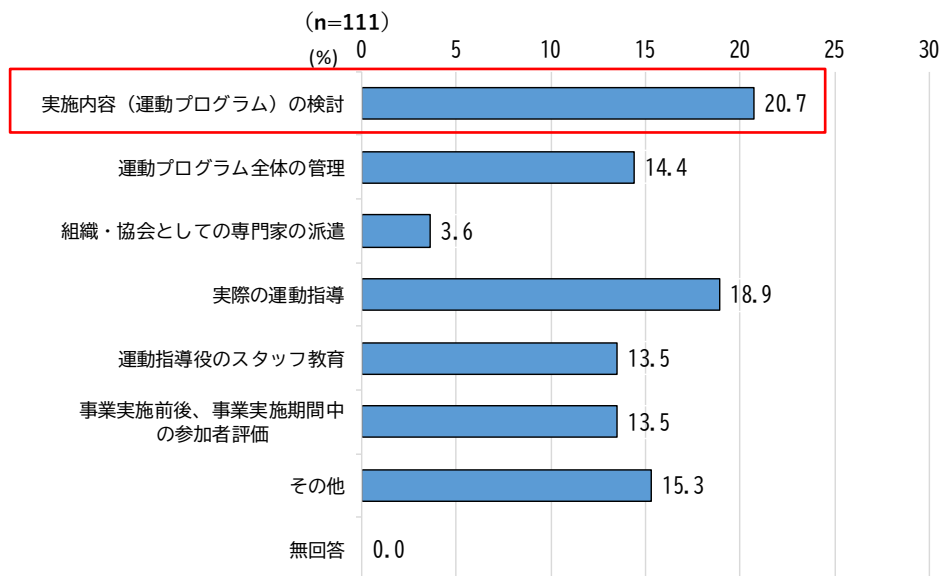
- 運動・スポーツに関する専門的な知識を有する組織や人材が、事業の中で担った役割については、＜無関心層・未実施層向け事業＞では、「実際の運動指導」が25.6%と最も多く、＜医療との連携事業＞では、「実施内容(運動プログラム)の検討」が20.7%と最も多くなっていた

(12) ① (i) 運動・スポーツに関する専門的な知識を有する組織や人材が、事業の中で担った役割[複数回答]

＜無関心層・未実施層向け事業＞



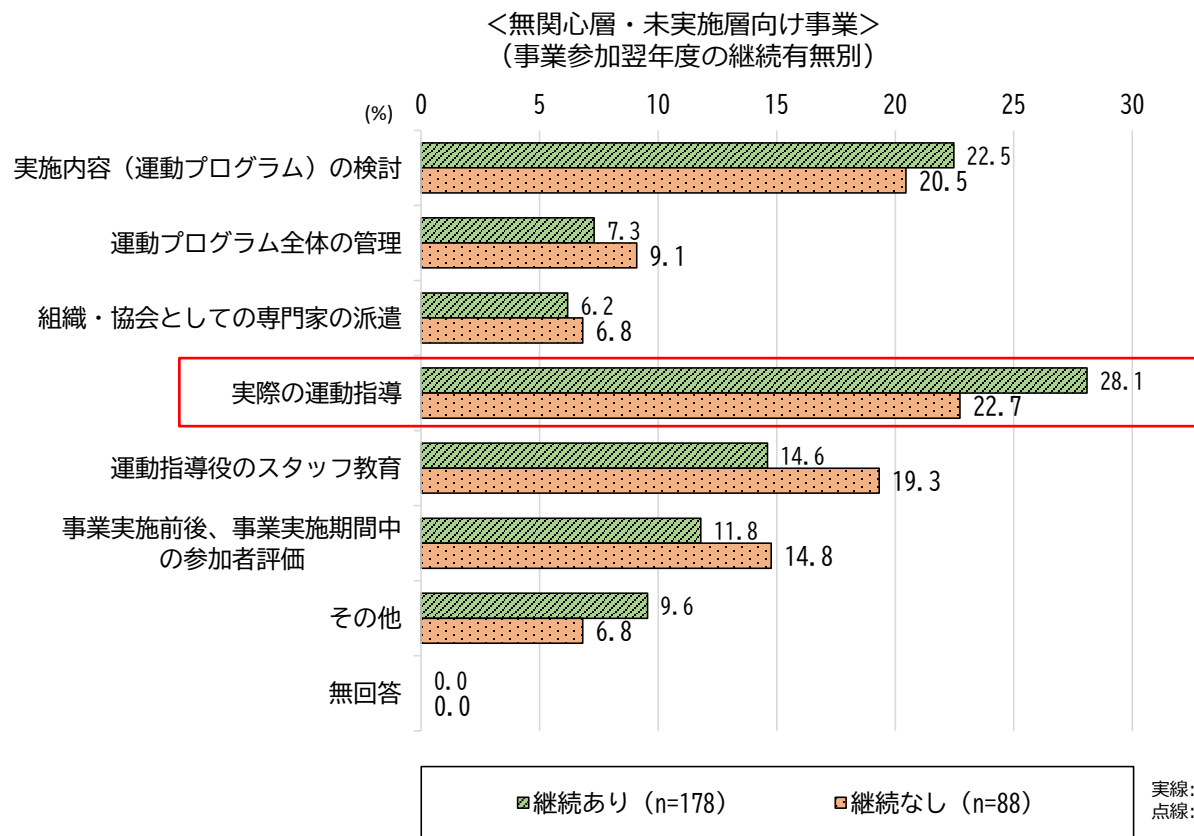
＜医療との連携事業＞



(12)連携した専門的な知識を有する組織や人材の役割について<クロス集計>※MA

- <無関心層・未実施層向け事業>について、事業参加翌年度の継続有無別にみると、担った役割は「実際の運動指導」の割合が、継続あり群では28.1%、継続なし群では22.7%と最も多くなっていた
- 継続あり群と継続なし群での10ポイント以上の差は特にみられなかった

(12) ① (i) 運動・スポーツに関する専門的な知識を有する組織や人材が、事業の中で担った役割[複数回答]

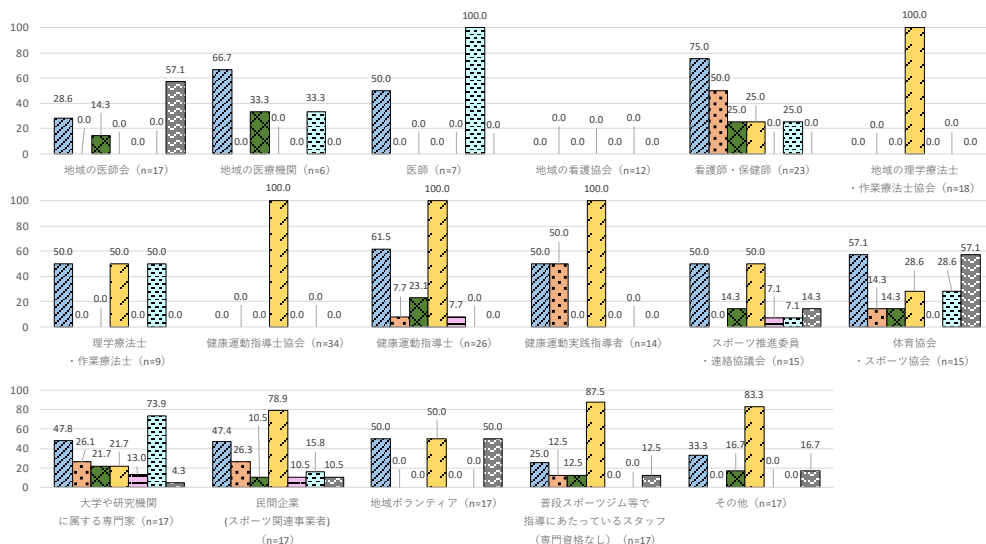


(12)連携した専門的な知識を有する組織や人材の役割について※MA

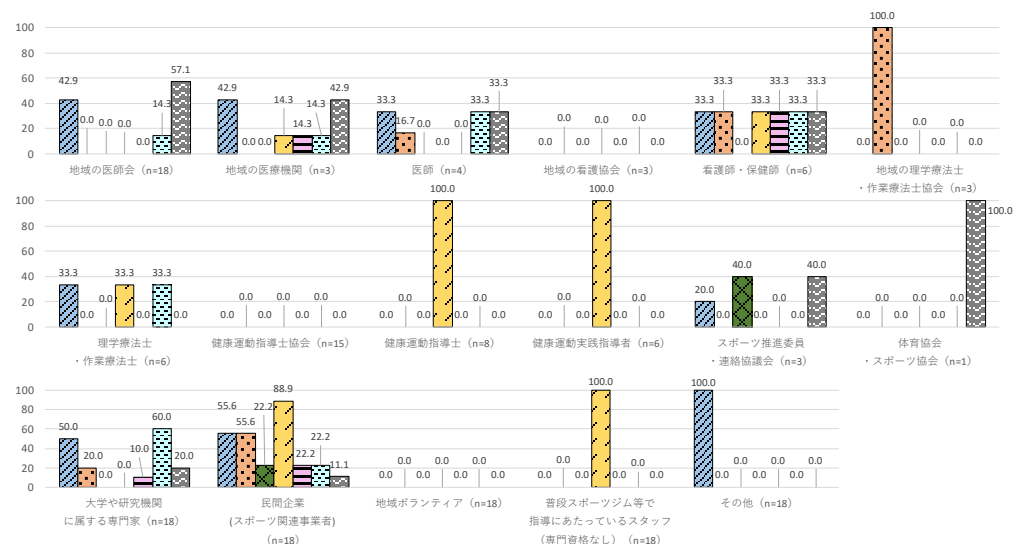
- 連携した専門的な知識を有する組織や人材の役割では、＜無関心層・未実施層向け事業＞＜医療との連携事業＞ともに、「実施内容（運動プログラム）の検討」「実際の運動指導」「事業実施前後、事業実施期間中の参加者評価」が多くなっていた

(12) ① (i) 運動・スポーツに関する専門的な知識を有する組織や人材が、事業の中で担った役割（各組織ごと）[複数回答]

＜無関心層・未実施層向け事業＞



＜医療との連携事業＞



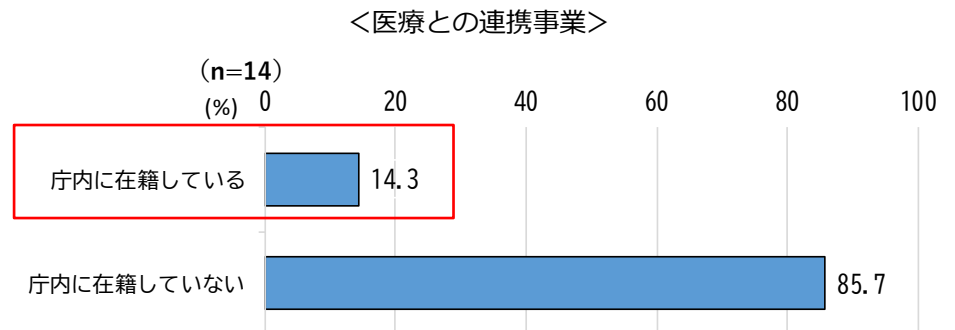
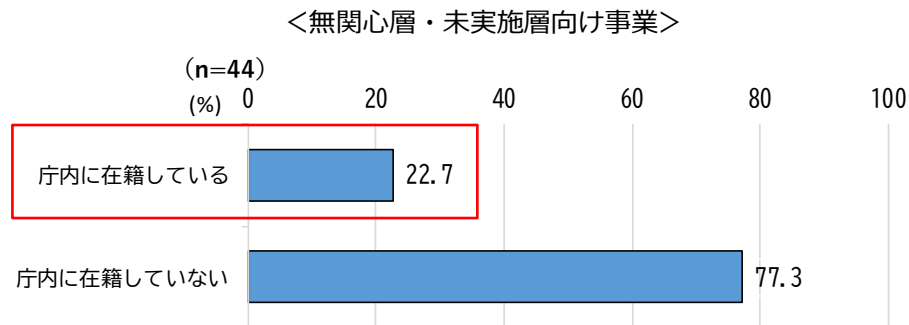
■実施内容（運動プログラム）の検討 ■運動プログラム全体の管理 ■組織・協会としての専門家の派遣 ■実際の運動指導 ■運動指導役のスタッフ教育 ■事業実施前後、事業実施期間中の参加者評価 ■その他の役割

■実施内容（運動プログラム）の検討 ■運動プログラム全体の管理 ■組織・協会としての専門家の派遣 ■実際の運動指導 ■運動指導役のスタッフ教育 ■事業実施前後、事業実施期間中の参加者評価 ■その他の役割

(12) 連携した専門的な知識を有する組織や人材の確保について＜単純集計＞※SA

- 運動指導者の確保にあたって、最初から庁内に在籍していた割合は、どちらの事業も1～2割ほどであった

(12) ② 運動指導者の在籍有無

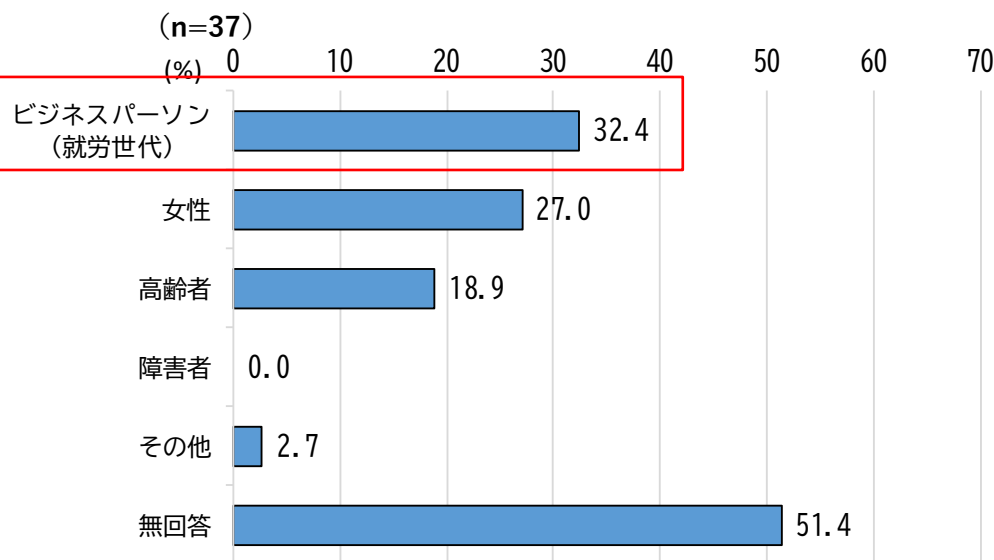


(13)対象者について＜単純集計＞※MA

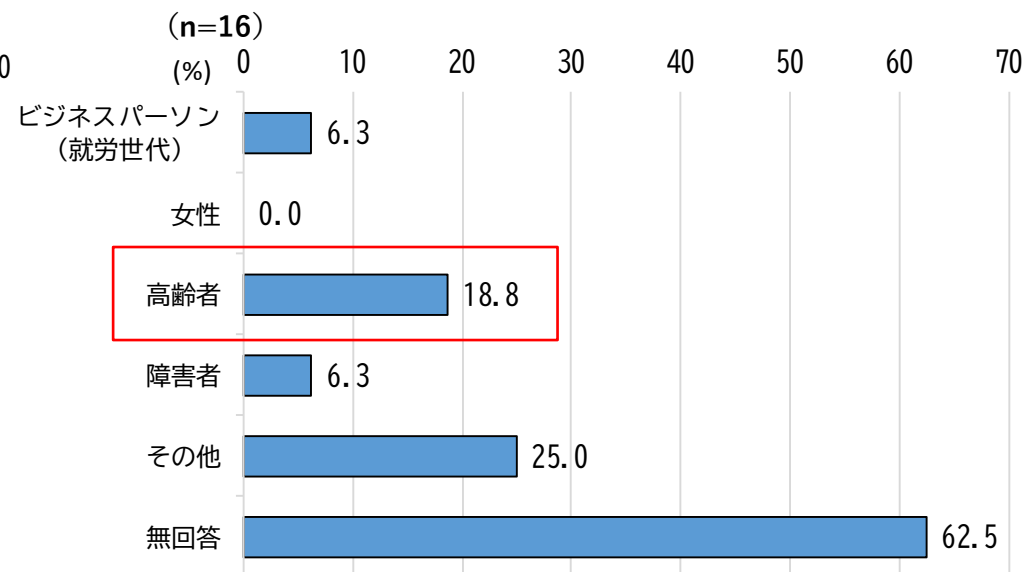
- 設定した対象者の属性としては、無関心層・未実施層向け事業＞では、「ビジネスパーソン（就労世代）」が32.4%と最も多く、＜医療との連携事業＞では、「高齢者」が18.8%と最も多くなっていた

(13) 設定した対象者の属性[複数回答]

＜無関心層・未実施層向け事業＞



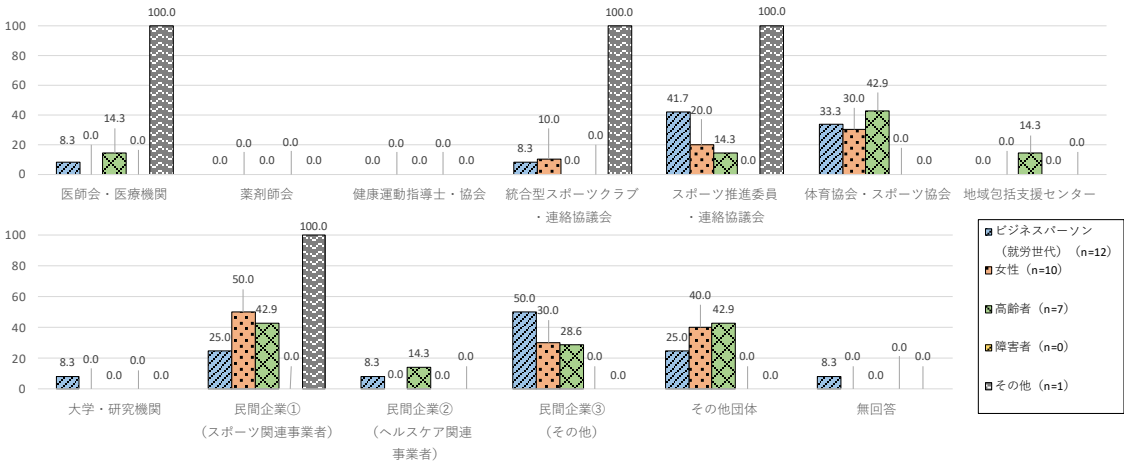
＜医療との連携事業＞



(13)対象者について※MA

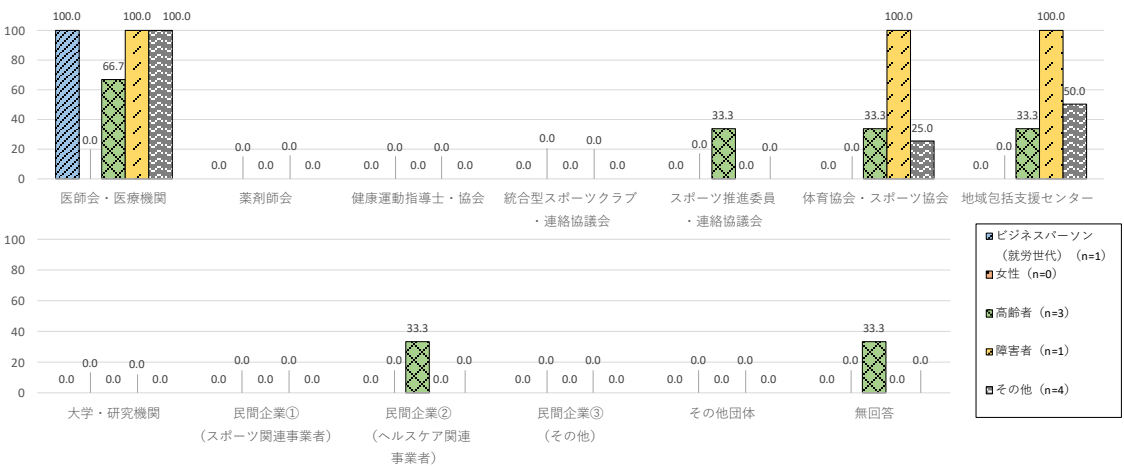
(13) 参加者確保にあたっての連携先[複数回答]

<無関心層・未実施層向け事業>



■ <無関心層・未実施層向け事業>について、連携先はビジネスパーソン向け事業では「民間企業(その他)」が、女性向け事業では「民間企業(スポーツ関連事業)」が、高齢者向け事業では「体育協会・スポーツ協会」「民間企業(スポーツ関連事業)」「その他団体」がそれぞれ最も多い回答であった

<医療との連携事業>

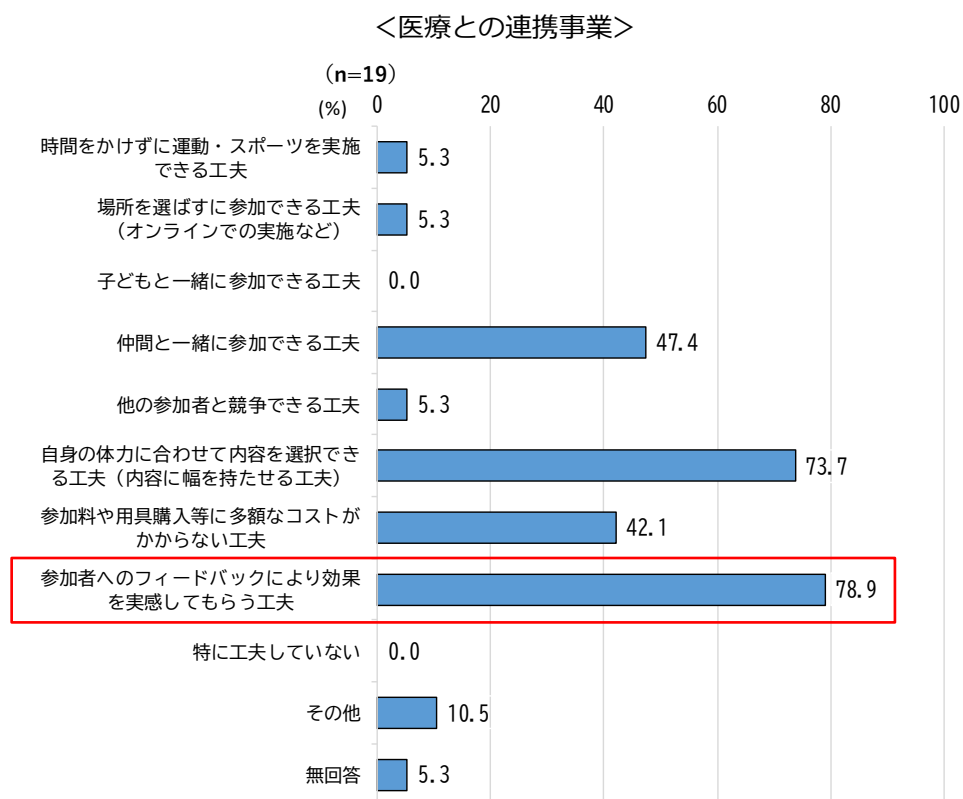
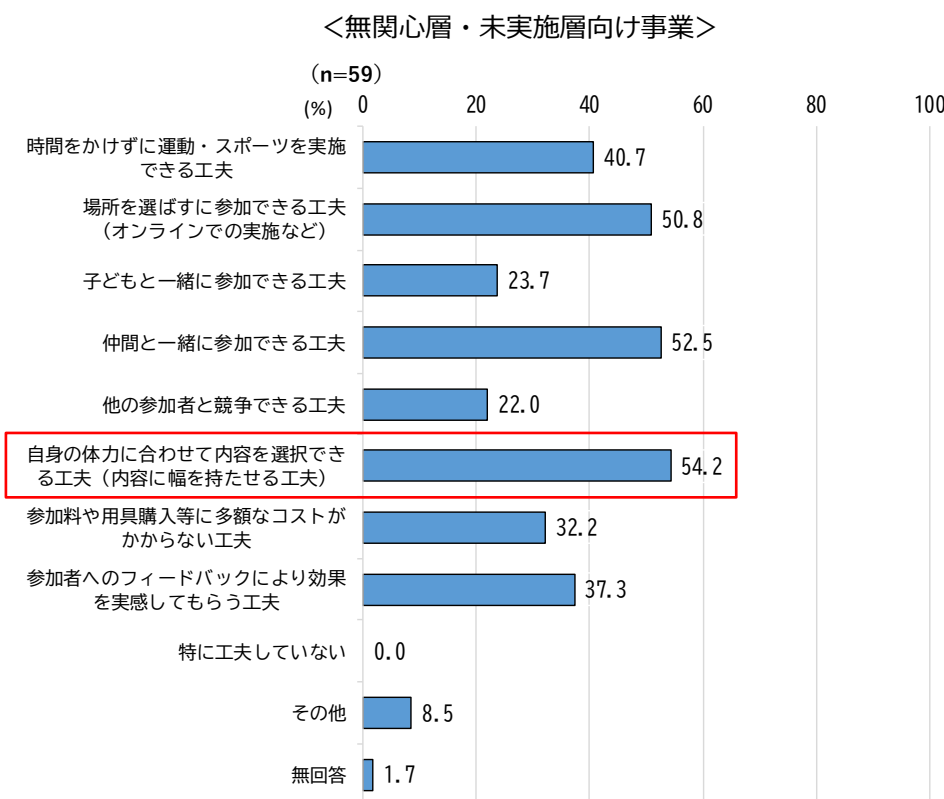


アンケート実施結果 ～ Ⅲ：事業を効果的に薦める工夫について ～

(15) 参加者の意欲維持・向上について＜単純集計＞※MA

- 参加者の意欲維持・向上のための工夫については、＜無関心層・未実施層向け事業＞では、「自身の体力に合わせて内容を選択できる工夫（内容に幅を持たせる工夫）」が54.2%と最も多く、＜医療との連携事業＞では、「参加者へのフィードバックにより効果を実感してもらう工夫」が78.9%と最も多くなっていた

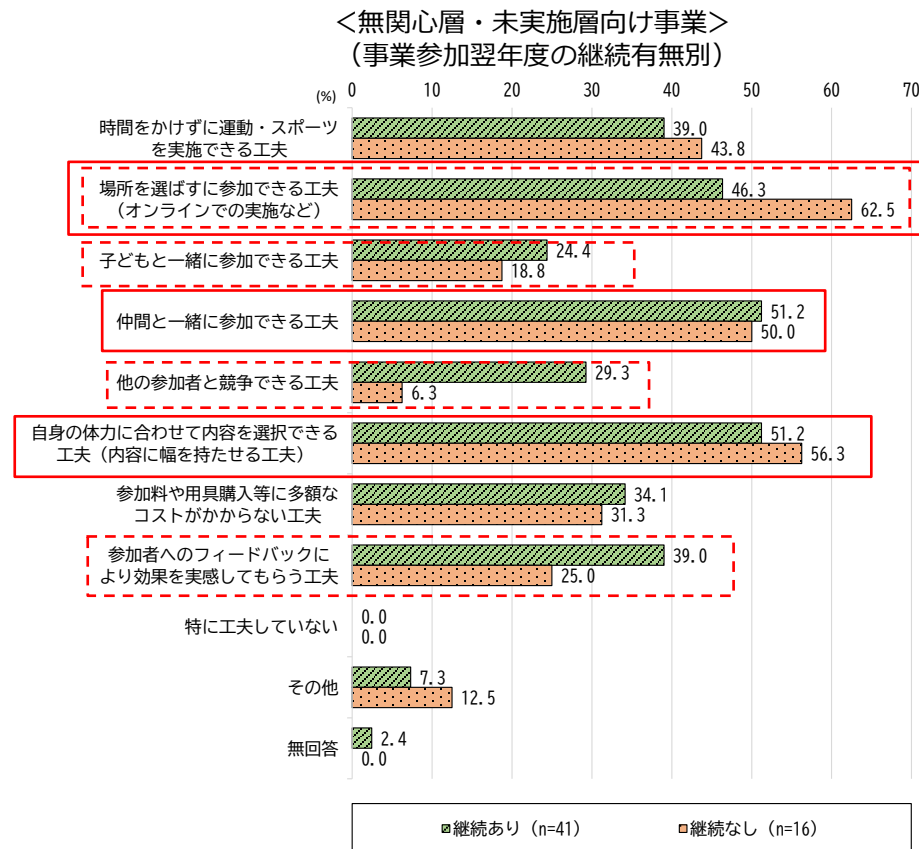
(15) 参加者の意欲維持・向上のための工夫[複数回答]



(15) 参加者の意欲維持・向上について<クロス集計>※MA

- <無関心層・未実施層向け事業>について、事業参加翌年度の継続有無別にみると、工夫した項目は継続あり群では「仲間と一緒に参加できる工夫」と「自身の体力に合わせて内容を選択できる工夫」の割合が、51.2%で最も多く、継続なし群では「場所を選ばずに参加できる工夫」の割合が62.5%と最も多くなっていた
- 継続あり群と継続なし群で、最もポイント差があったのは、「他の参加者と競争できる工夫」で、23ポイント差となっていた

(15) 参加者の意欲維持・向上のための工夫[複数回答]

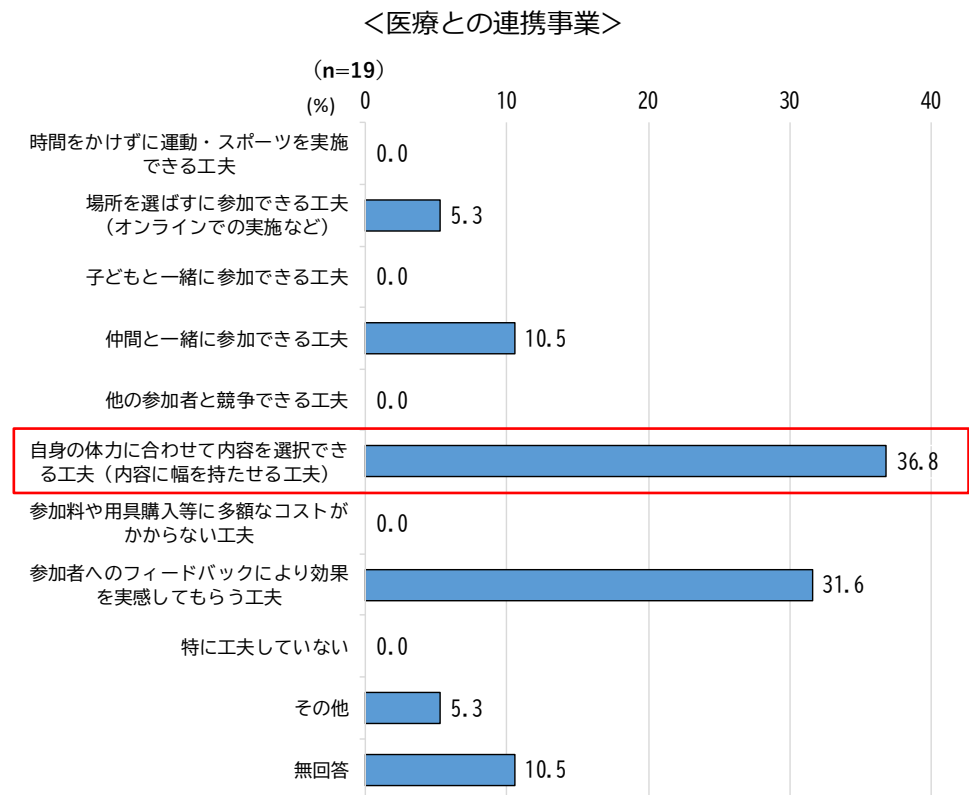
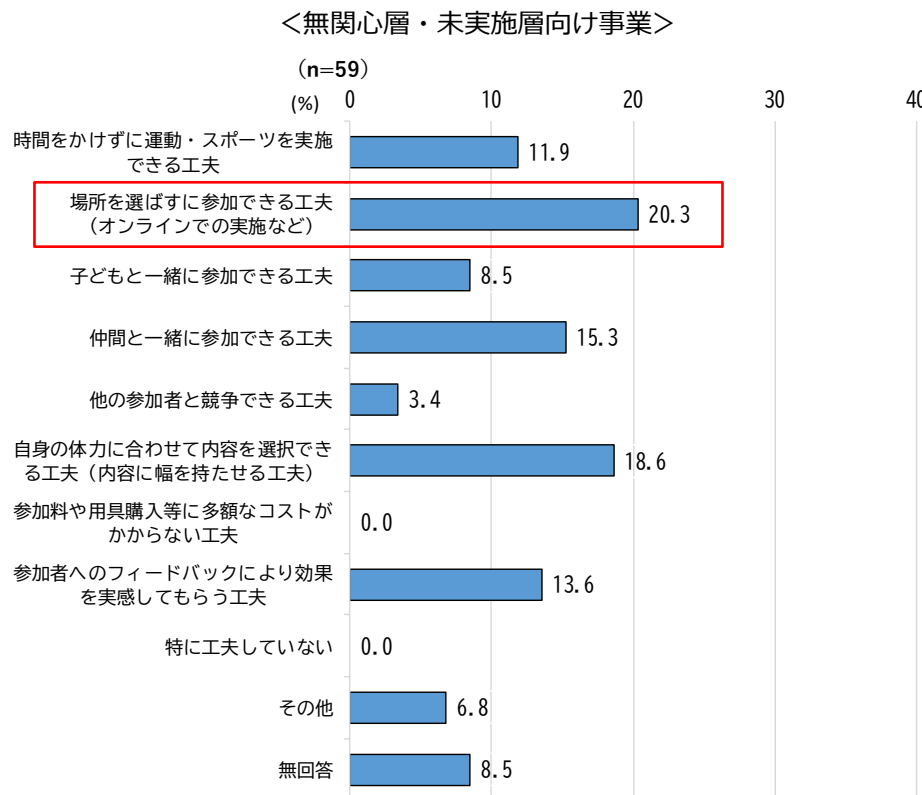


実線: 継続あり群、継続なし群それぞれで最も回答の多かった選択肢
点線: 継続なし群に対して継続あり群の回答が10ポイント以上多かった選択肢

(15) 参加者の意欲維持・向上について＜単純集計＞※SA

- 参加者の意欲維持・向上のために最も重点的に工夫したことについては、＜無関心層・未実施層向け事業＞では、「場所を選ばずに参加できる工夫（オンラインでの実施など）」が20.3%と最も多く、＜医療との連携事業＞では、「自身の体力に合わせて内容を選択できる工夫（内容に幅を持たせる工夫）」が36.8%と最も多くなっていた

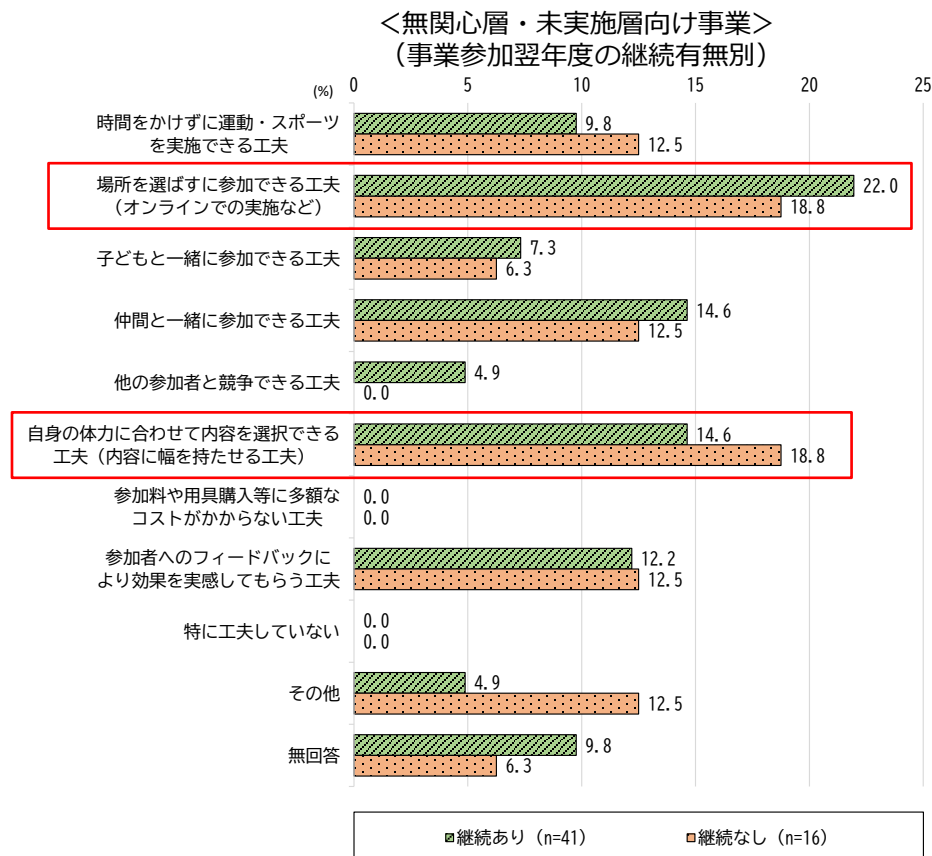
（15）参加者の意欲維持・向上のための工夫[最も重点的に工夫した項目]



(15) 参加者の意欲維持・向上について<クロス集計>※SA

- <無関心層・未実施層向け事業>について、事業参加翌年度の継続有無別にみると、最も重点的に工夫した項目は継続あり群では「場所を選ばずに参加できる工夫」の割合が、22.0%で最も多く、継続なし群では「場所を選ばずに参加できる工夫」と「自身の体力に合わせて内容を選択できる工夫」の割合が18.8%と最も多くなっていた
- 継続あり群と継続なし群での10ポイント以上の差は特にみられなかった

(15) 参加者の意欲維持・向上のための工夫[最も重点的に工夫した項目]



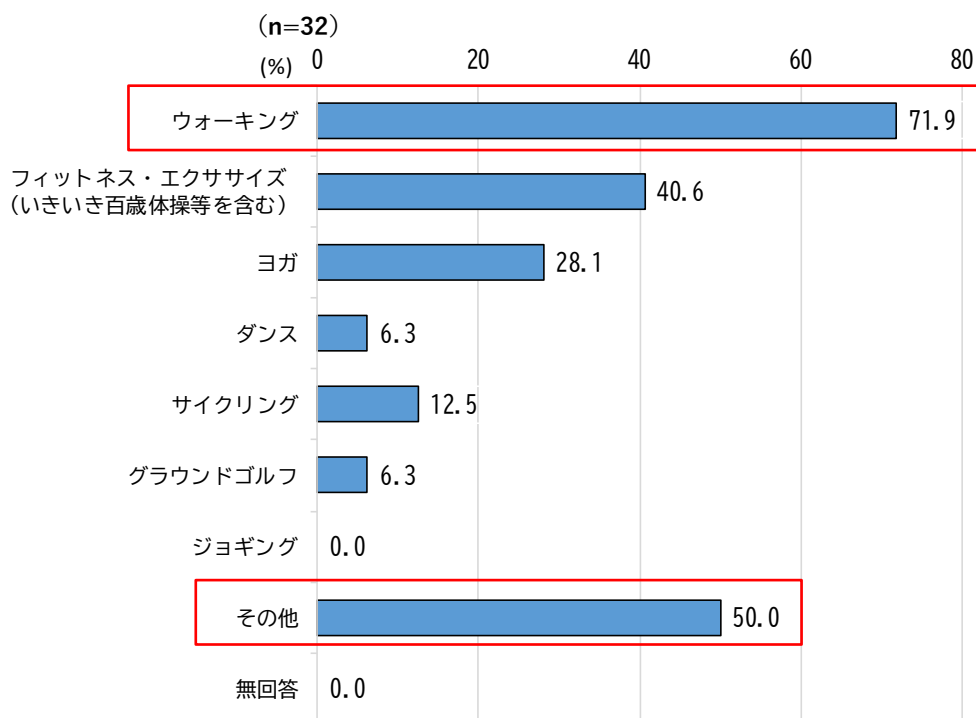
実線: 継続あり群、継続なし群それぞれで最も回答の多かった選択肢
点線: 継続なし群に対して継続あり群の回答が10ポイント以上多かった選択肢

(16)実施した運動・スポーツ種目について＜単純集計＞※MA

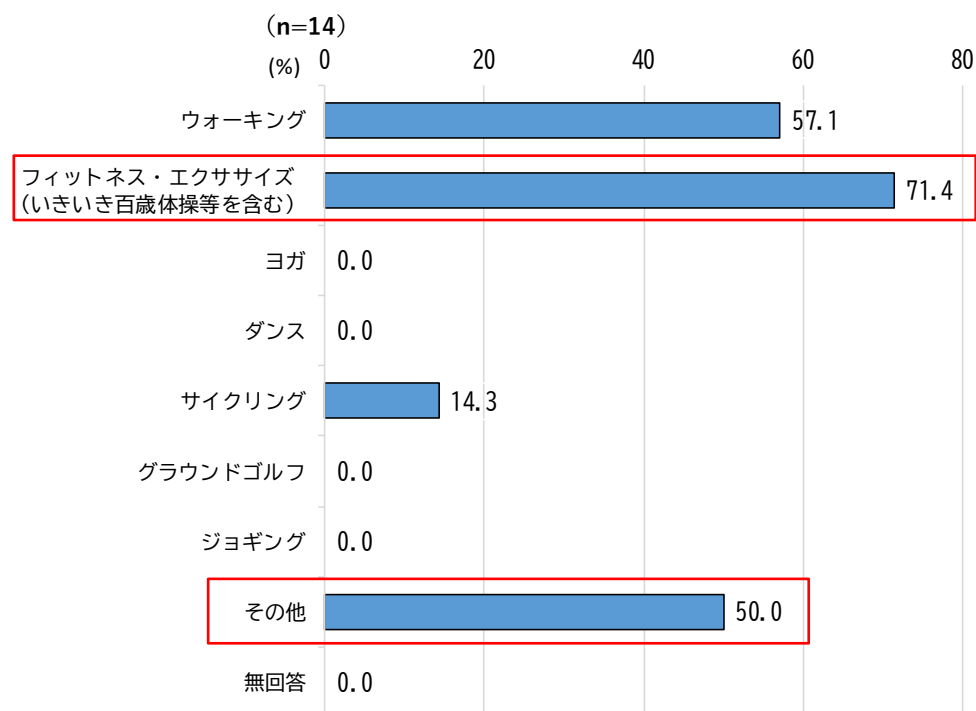
- 事業で実施した運動・スポーツ種目については、＜無関心層・未実施層向け事業＞では、「ウォーキング」が71.9%と最も多く、＜医療との連携事業＞では、「フィットネス・エクササイズ(いきいき百歳体操等を含む)」が71.4%と最も多くなっていた
- また、どちらの事業でも、「その他」が50.0%あった

(16) 事業で実施した運動・スポーツ種目[複数回答]

＜無関心層・未実施層向け事業＞



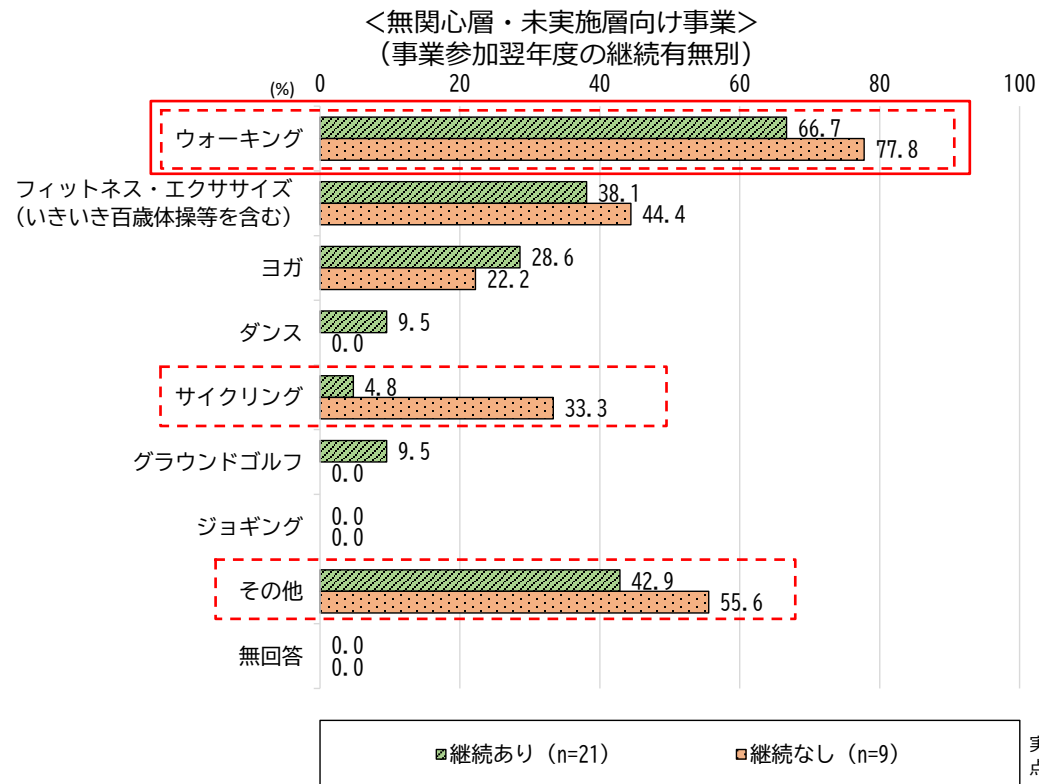
＜医療との連携事業＞



(16)実施した運動・スポーツ種目について<クロス集計>※MA

- <無関心層・未実施層向け事業>について、事業参加翌年度の継続有無別にみると、実施した種目は「ウォーキング」の割合が、継続あり群では66.7%、継続なし群では77.8%と最も多くなっていた
- 継続あり群と継続なし群で、最もポイント差があったのは、「サイクリング」で、28.5ポイント差となっていた

(16) 事業で実施した運動・スポーツ種目[複数回答]



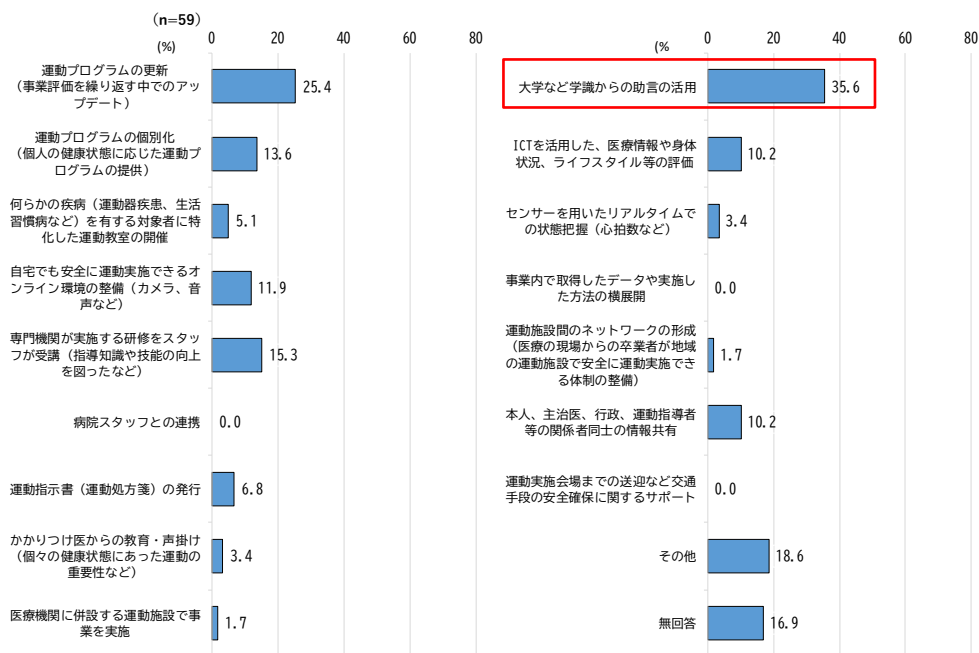
実線:継続あり群、継続なし群それぞれで最も回答の多かった選択肢
点線:継続なし群に対して継続あり群の回答が10ポイント以上多かった選択肢

(17) 参加者の安全確保について＜単純集計＞※MA

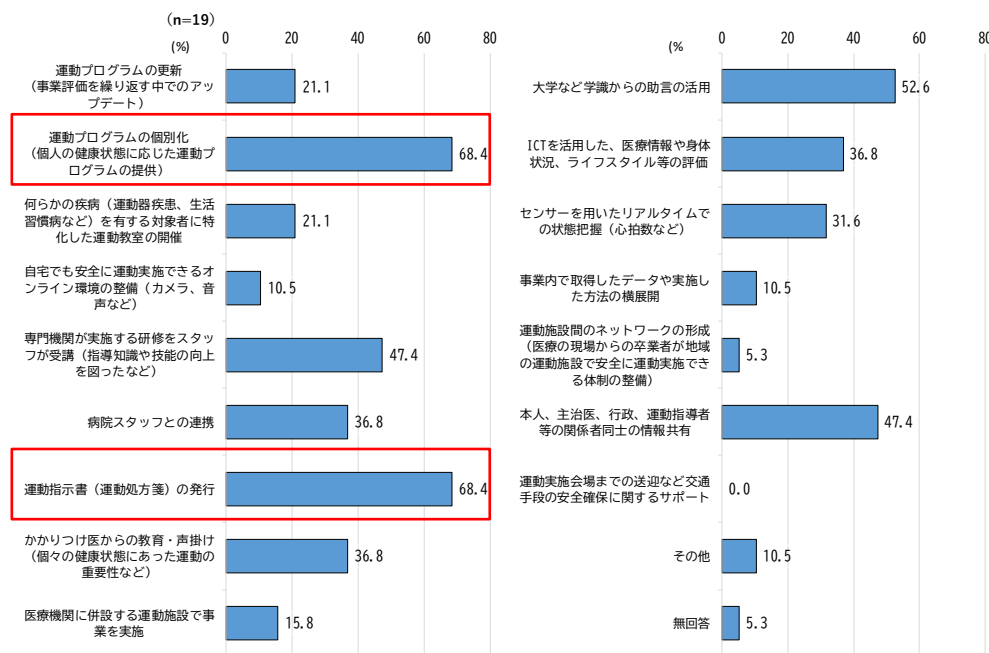
- 参加者の安全確保のための工夫については、＜無関心層・未実施層向け事業＞では、「大学など学識からの助言の活用」が35.6%と最も多く、＜医療との連携事業＞では、「運動プログラムの個別化（個人の健康状態に応じた運動プログラムの提供）」と「運動指示書（運動処方箋）の発行」がどちらも68.4%と最も多くなっていた

(17) 参加者の安全確保のための工夫[複数回答]

＜無関心層・未実施層向け事業＞



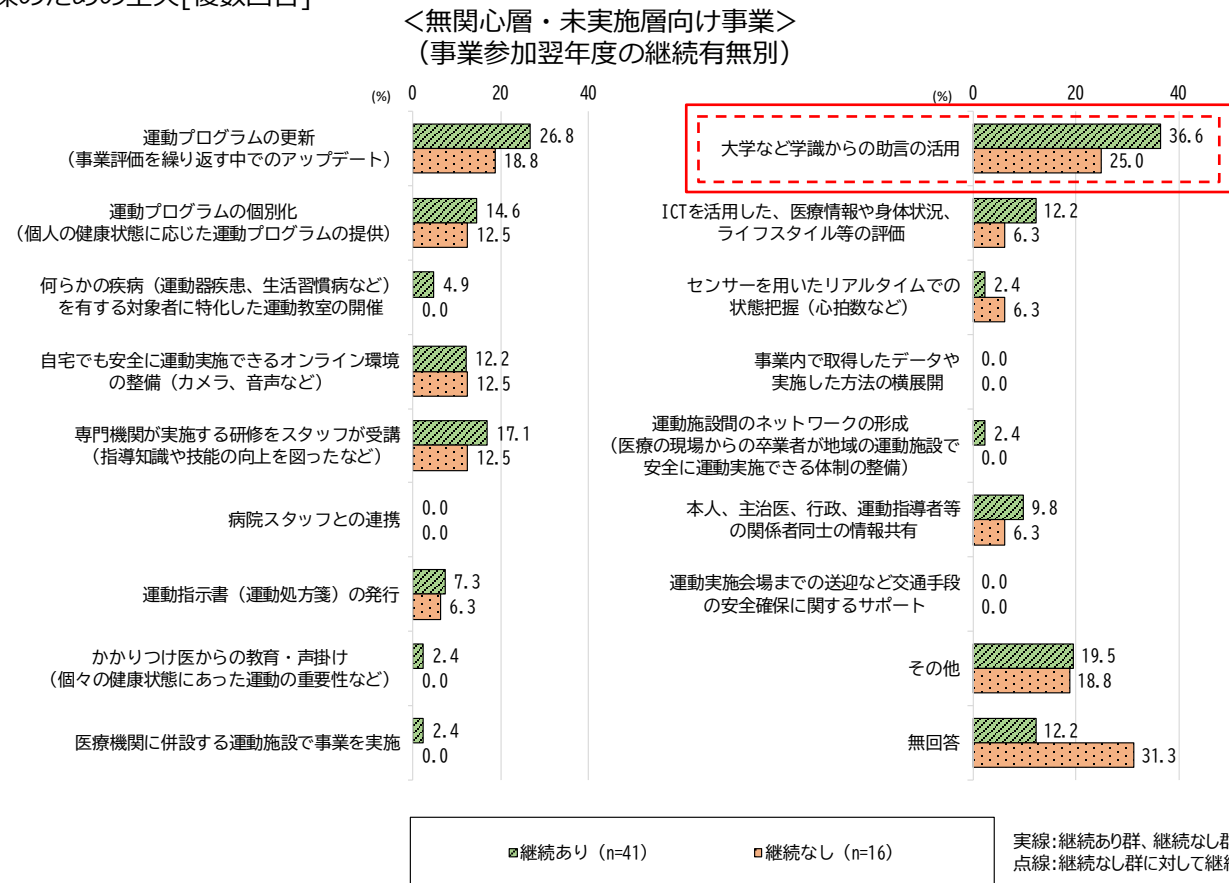
＜医療との連携事業＞



(17) 参加者の安全確保について<クロス集計>※MA

- <無関心層・未実施層向け事業>について、事業参加翌年度の継続有無別にみると、参加者の安全確保のための工夫は「大学など学識からの助言の活用」の割合が、継続あり群では36.6%、継続なし群では25.0%と最も多くなっていた

(17) 参加者の安全確保のための工夫[複数回答]



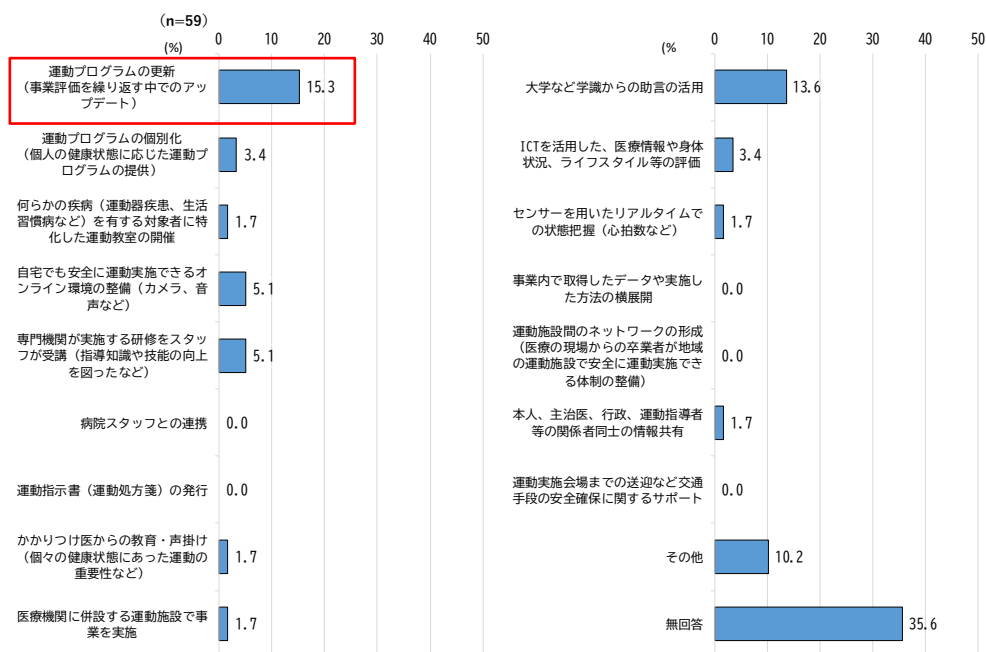
実線: 継続あり群、継続なし群それぞれで最も回答の多かった選択肢
点線: 継続なし群に対して継続あり群の回答が10ポイント以上多かった選択肢

(17) 参加者の安全確保について＜単純集計＞※SA

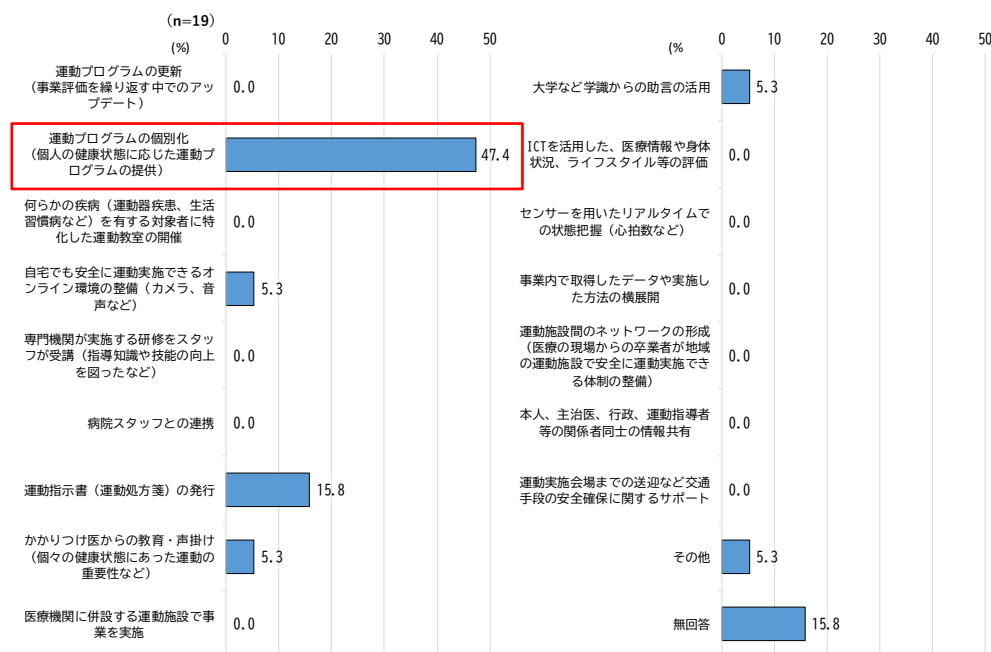
- 参加者の安全確保のために最も重点的に工夫したことについては、＜無関心層・未実施層向け事業＞では、「運動プログラムの更新（事業評価を繰り返す中でのアップデート）」が15.3%と最も多く、＜医療との連携事業＞では、「運動プログラムの個別化（個人の健康状態に応じた運動プログラムの提供）」が47.4%と最も多くなっていた

（17）参加者の安全確保のための工夫[最も重点的に工夫した項目]

＜無関心層・未実施層向け事業＞



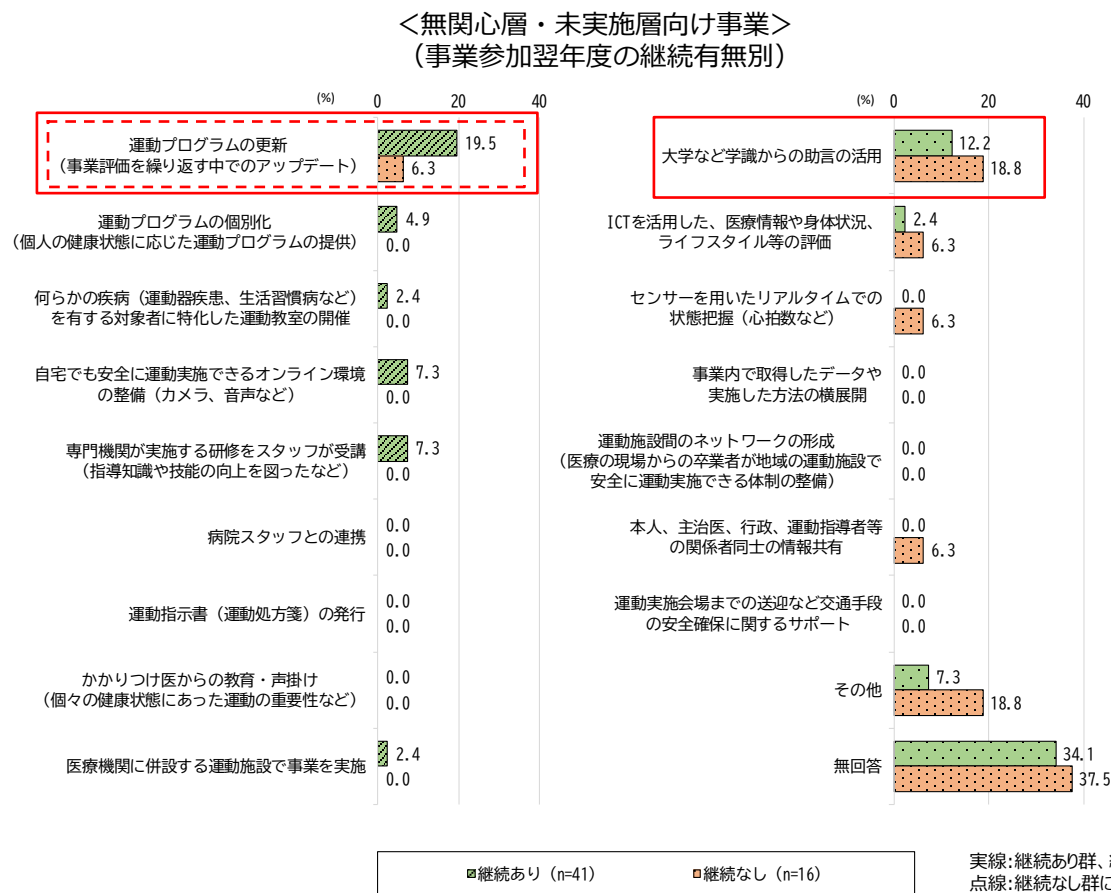
＜医療との連携事業＞



(17) 参加者の安全確保について<クロス集計>※SA

- <無関心層・未実施層向け事業>について、事業参加翌年度の継続有無別にみると、参加者の安全確保のための最も重点的に工夫した項目は、継続あり群では「運動プログラムの更新」が19.5%と最も多く、継続なし群では「大学など学識からの助言の活用」が18.8%と最も多くなっていた

(17) 参加者の安全確保のための工夫[最も重点的に工夫した項目]

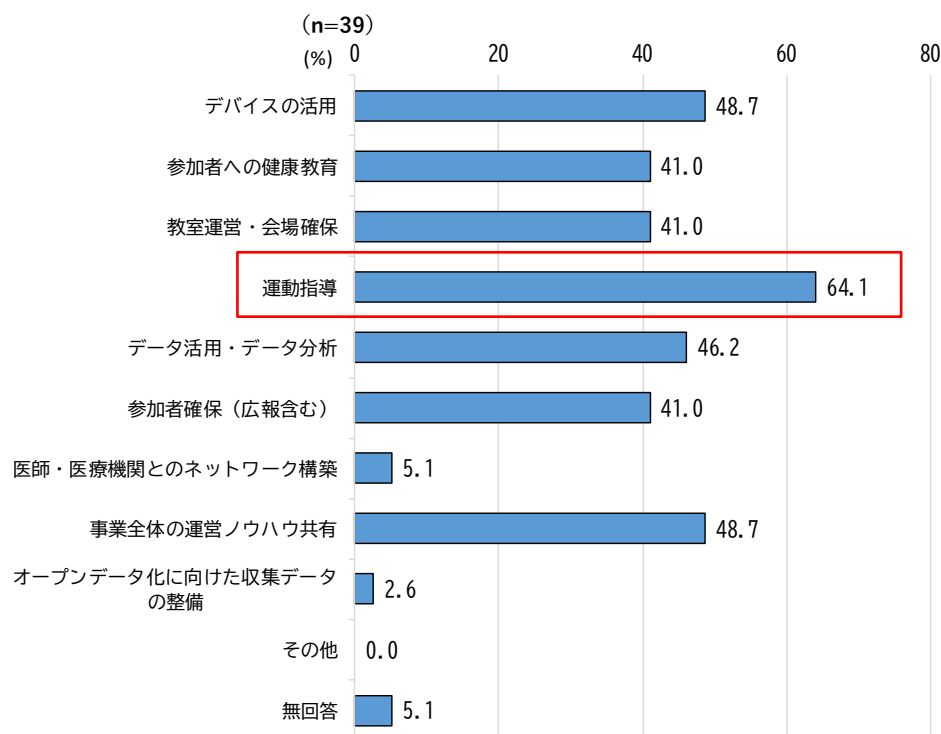


(18) 民間企業との協力について＜単純集計＞※MA

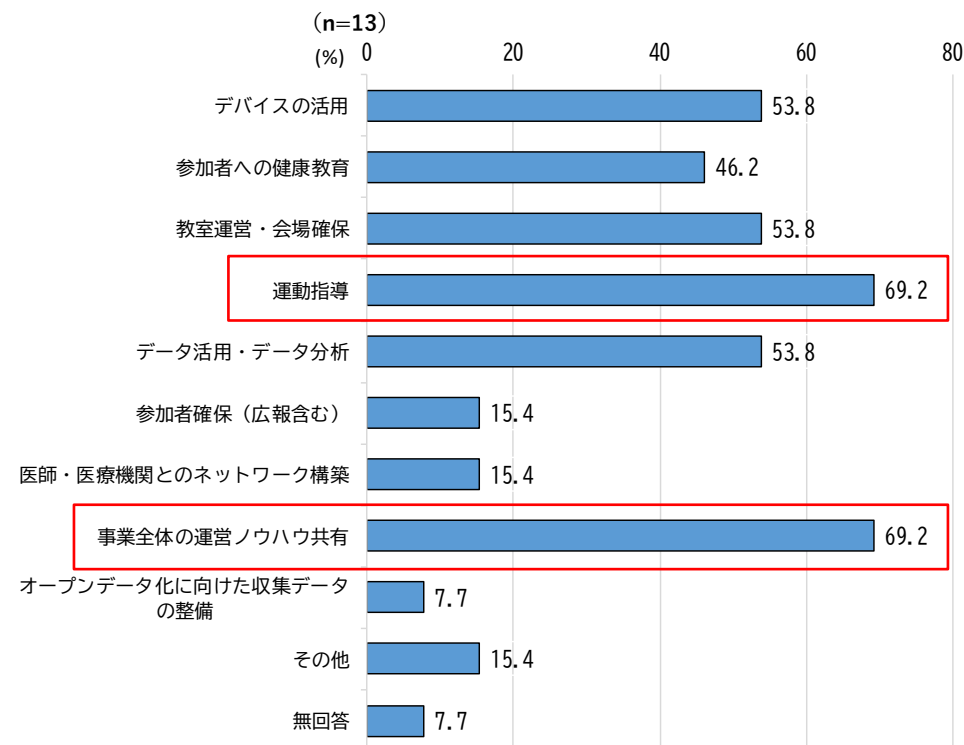
- 民間企業と実際に協力した事項については、＜無関心層・未実施層向け事業＞では、「運動指導」が64.1%と最も多く、＜医療との連携事業＞では、「運動指導」と「事業全体の運営ノウハウ共有」がどちらも69.2%と最も多くなっていた

(18) ① i) 民間企業と実際に協力した事項[複数回答]

＜無関心層・未実施層向け事業＞



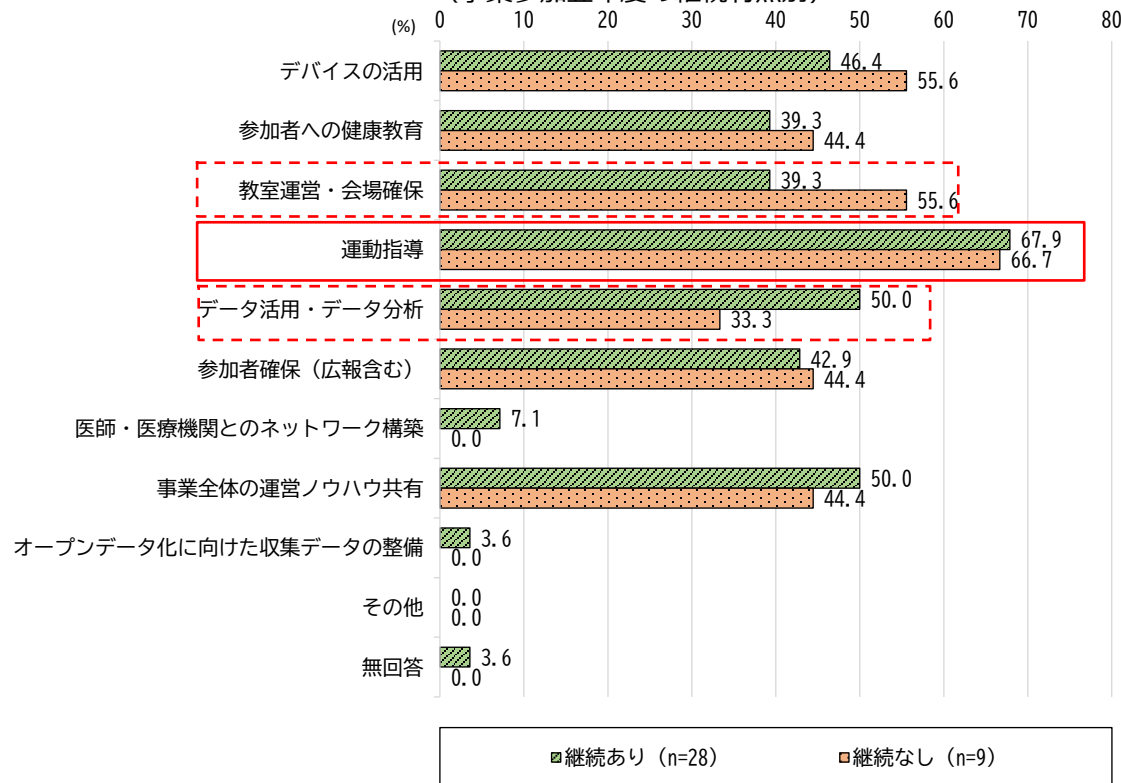
＜医療との連携事業＞



(18) 民間企業との協力について<クロス集計>※MA

- <無関心層・未実施層向け事業>について、事業参加翌年度の継続有無別にみると、民間企業と実際に協力した事項は「運動指導」の割合が、継続あり群では67.9%、継続なし群では66.7%と最も多くなっていた
- 「教室運営・会場確保」の割合は、継続あり群では39.3%、継続なし群では55.6%と継続なし群のほうが多くなっていた
- 「データ活用・データ分析」の割合は、継続あり群では50.0%、継続なし群では33.3%と継続あり群のほうが多くなっていた

(18) ① i) 民間企業と実際に協力した事項[複数回答]
 <無関心層・未実施層向け事業>
 (事業参加翌年度の継続有無別)



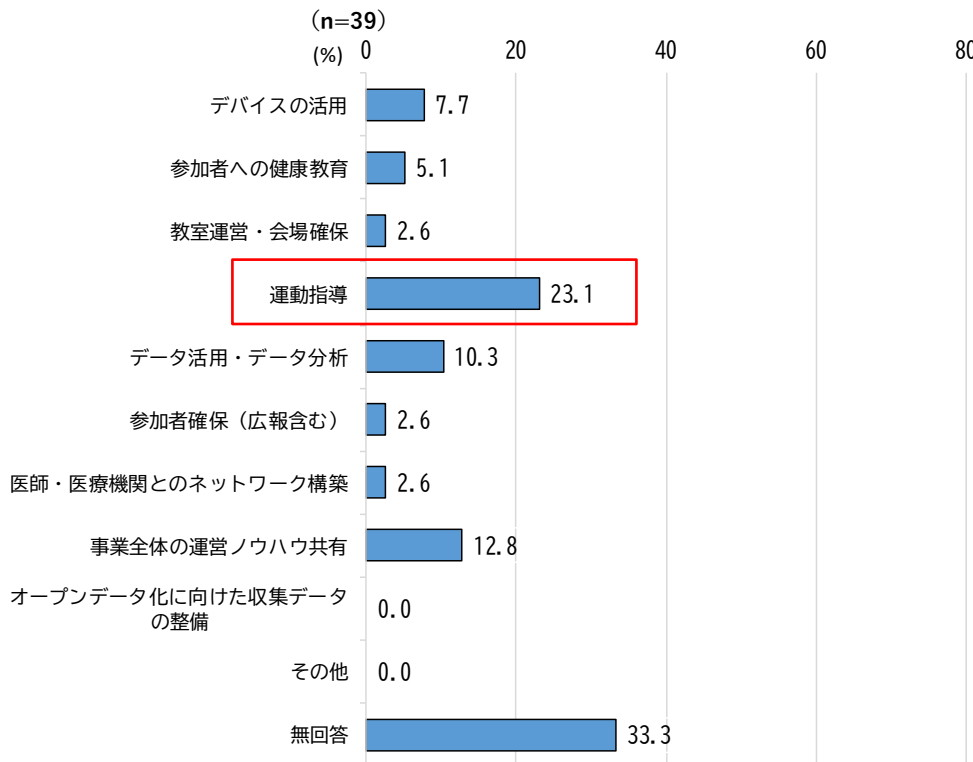
実線: 継続あり群、継続なし群それぞれで最も回答の多かった選択肢
 点線: 継続なし群に対して継続あり群の回答が10ポイント以上多かった選択肢

(18) 民間企業との協力について＜単純集計＞※SA

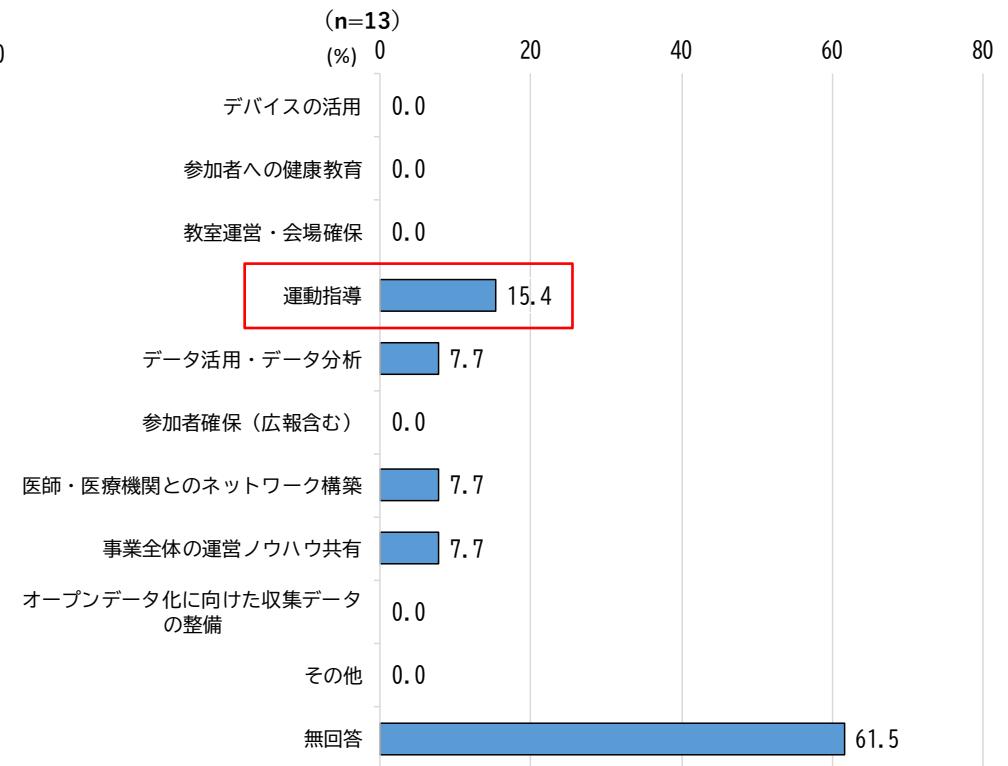
- 民間企業と実際に協力した事項で、最も期待したことは、どちらの事業も、「運動指導」が23.1%、15.4%と最も多くなっていた

(18) ① i) 民間企業と実際に協力した事項[最も期待した項目]

＜無関心層・未実施層向け事業＞



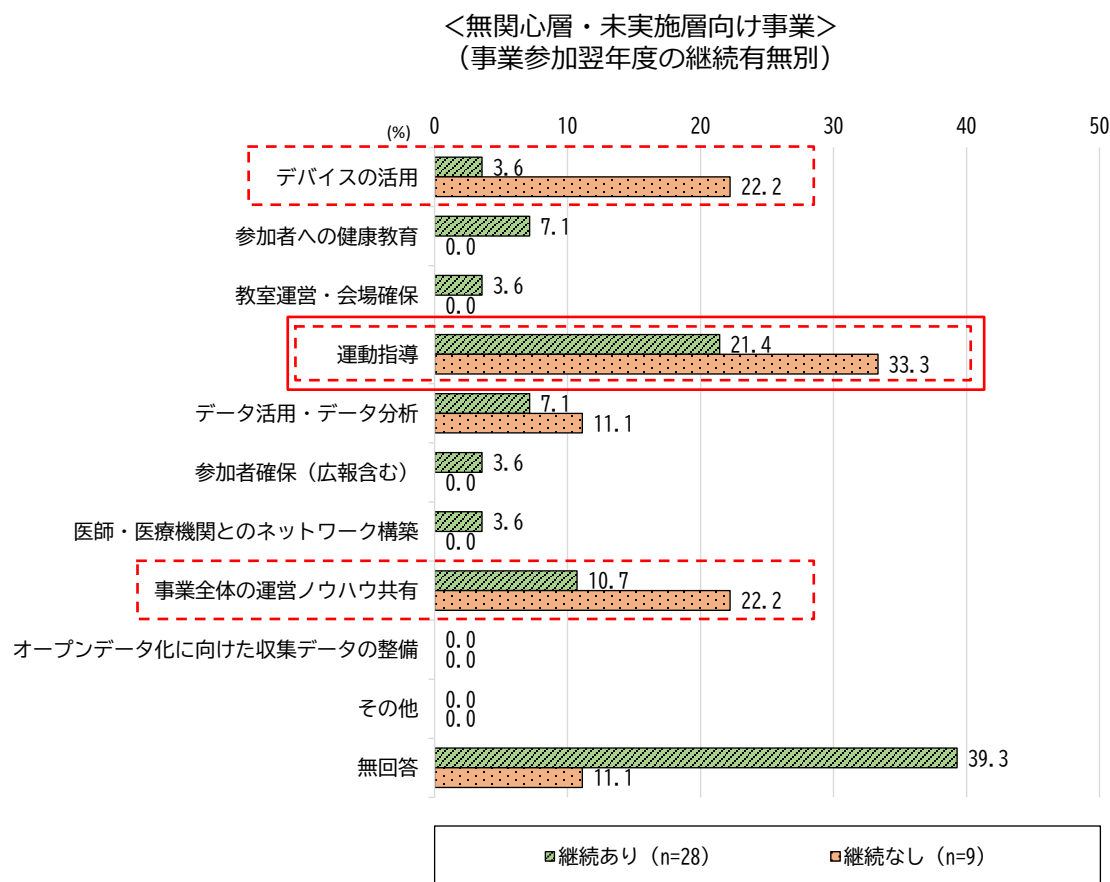
＜医療との連携事業＞



(18) 民間企業との協力について<クロス集計>※SA

- <無関心層・未実施層向け事業>について、事業参加翌年度の継続有無別にみると、民間企業へ最も期待した事項は「運動指導」の割合が、継続あり群では21.4%、継続なし群では33.3%と最も多くなっていた
- 継続あり群と継続なし群で、最もポイント差があったのは、「デバイスの活用」で、18.6ポイント差となっていた

(18) ① i) 民間企業と実際に協力した事項[最も期待した項目]

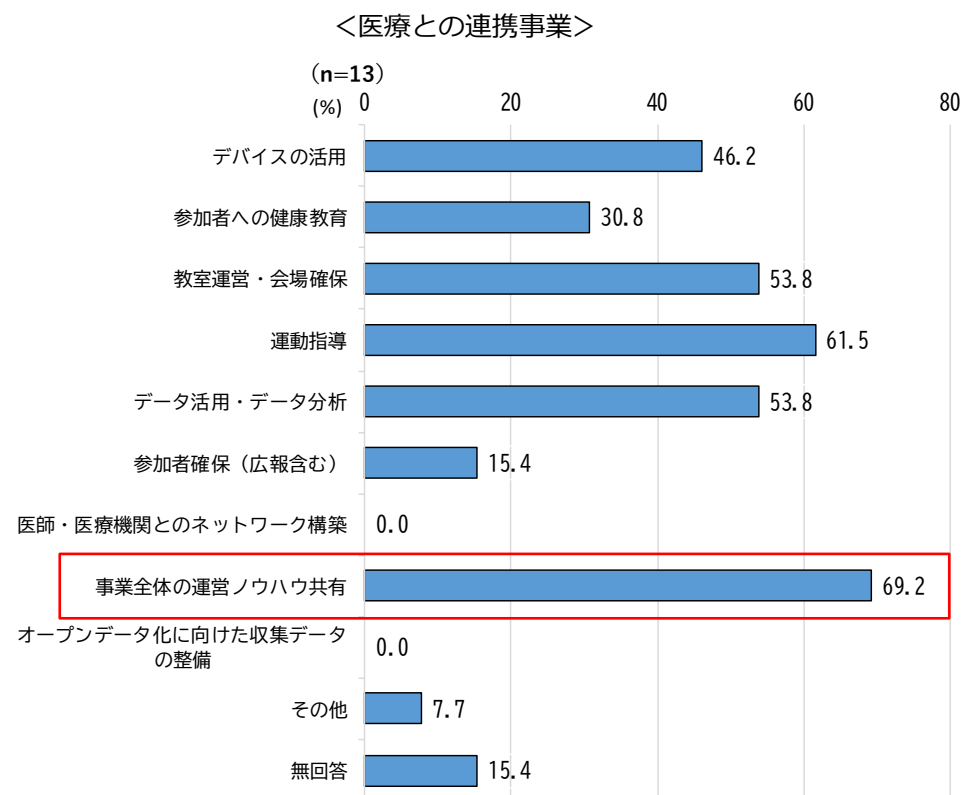
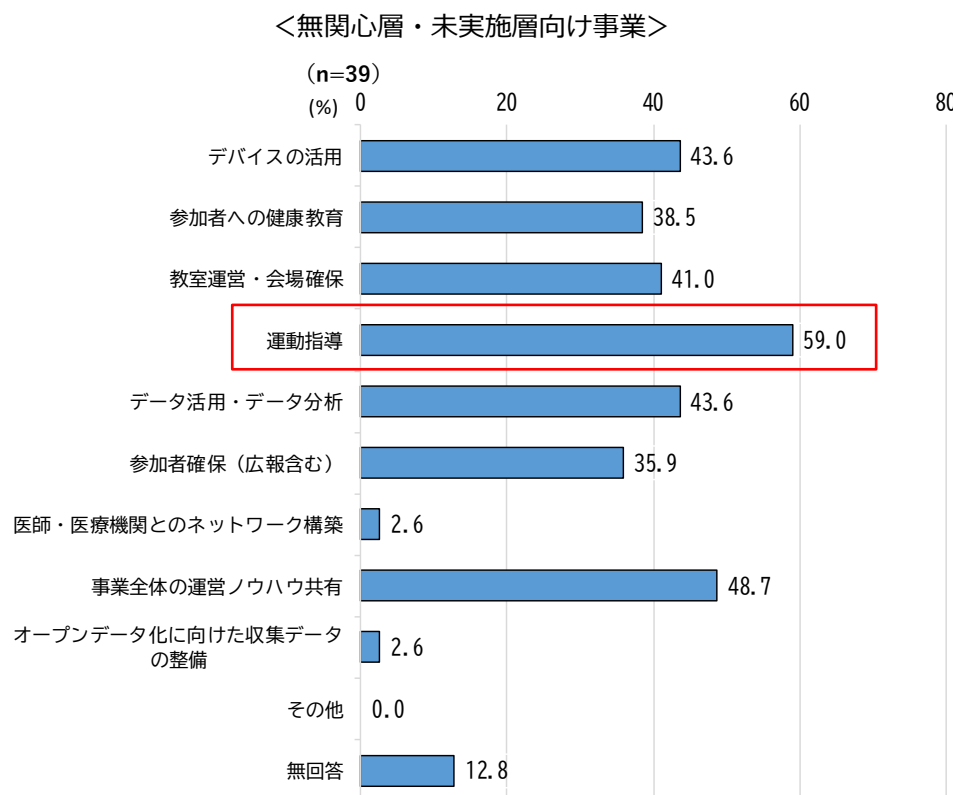


実線: 継続あり群、継続なし群それぞれで最も回答の多かった選択肢
点線: 継続なし群に対して継続あり群の回答が10ポイント以上多かった選択肢

(18) 民間企業との協力について(実施前)＜単純集計＞※MA

- 民間企業に実施前に期待した項目については、＜無関心層・未実施層向け事業＞では、「運動指導」が59.0%と最も多く、＜医療との連携事業＞では、「事業全体の運営ノウハウ共有」が69.2%と最も多くなっていた

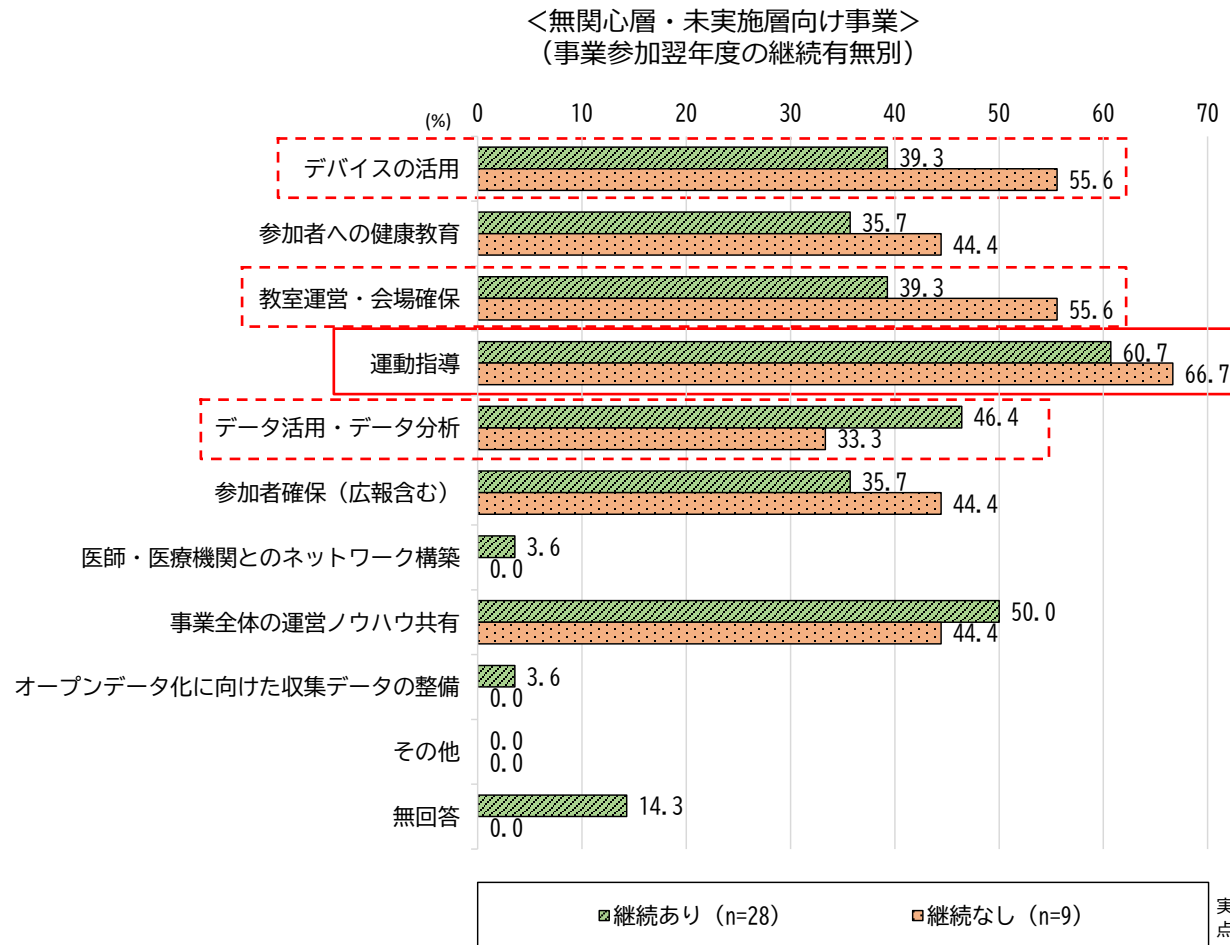
(18) ① ii) 実施前に期待した項目[複数回答]



(18) 民間企業との協力について(実施前) <クロス集計>※MA

- <無関心層・未実施層向け事業>について、事業参加翌年度の継続有無別にみると、実施前に期待した項目は「運動指導」の割合が、継続あり群では60.7%、継続なし群では66.7%と最も多くなっていた

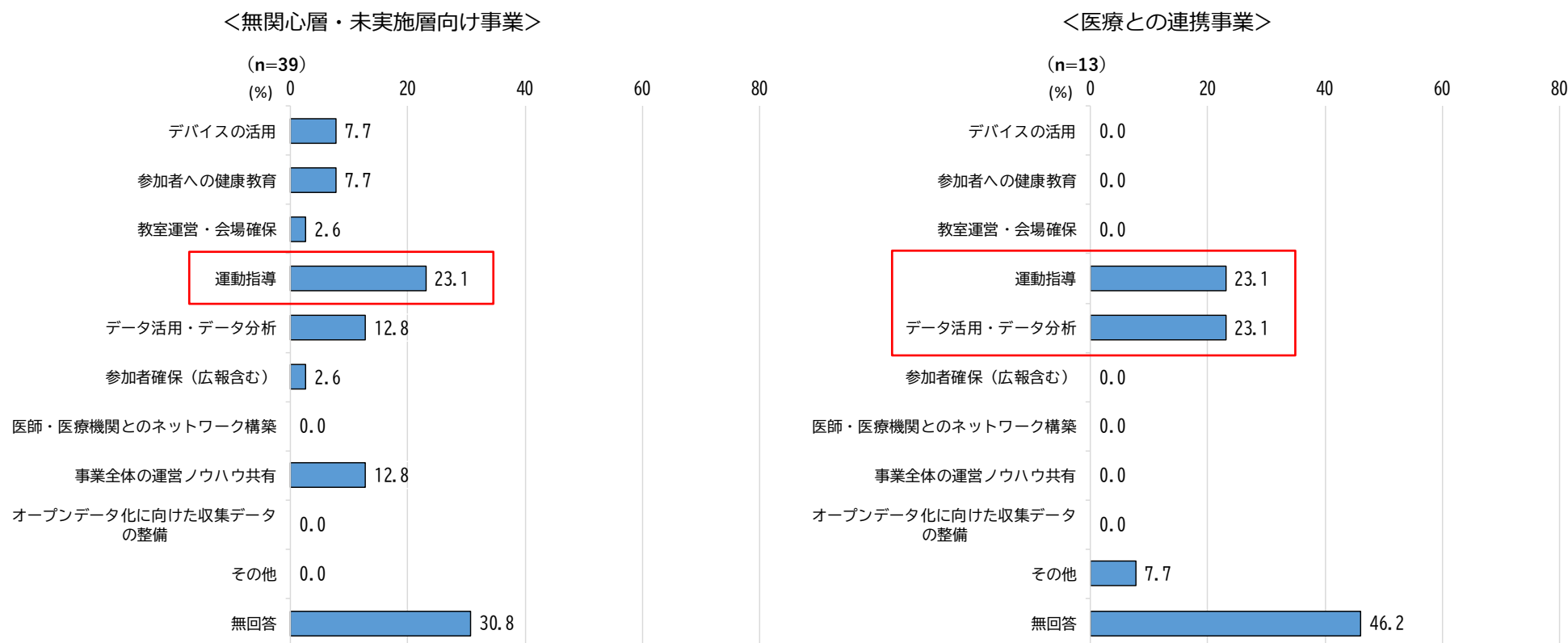
(18) ① ii) 実施前に期待した項目[複数回答]



(18) 民間企業との協力について(実施前) <単純集計>※SA

- 民間企業に実施前に最も期待した項目については、<無関心層・未実施層向け事業>では、「運動指導」が23.1%と最も多く、<医療との連携事業>では、「運動指導」と「データ活用・データ分析」がともに23.1%と最も多くなっていた

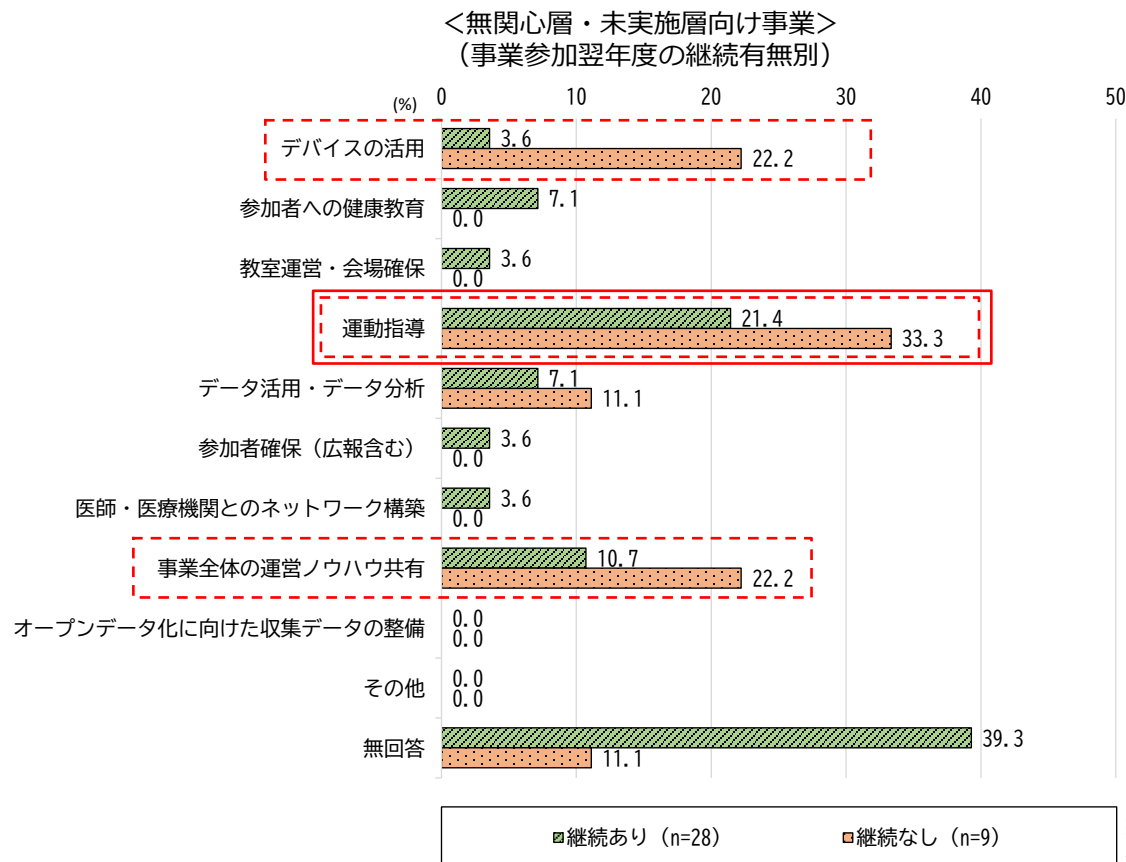
(18) ① ii) 実施前に期待した項目[最も期待した項目]



(18) 民間企業との協力について(実施前) <クロス集計>※SA

- <無関心層・未実施層向け事業>について、事業参加翌年度の継続有無別にみると、実施前に最も期待した項目は「運動指導」の割合が、継続あり群では21.4%、継続なし群では33.3%と最も多くなっていた
- 継続あり群と継続なし群で、最もポイント差があったのは、「デバイスの活用」で、18.6ポイント差となっていた

(18) ① ii) 実施前に期待した項目[最も期待した項目]

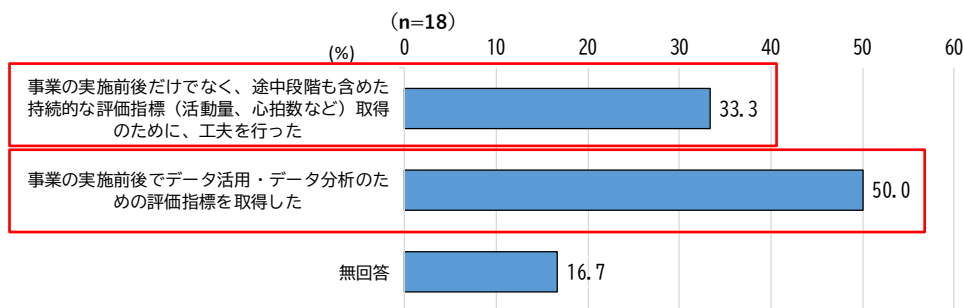


(18) 民間企業との協力について(評価指標)＜単純集計＞※SA

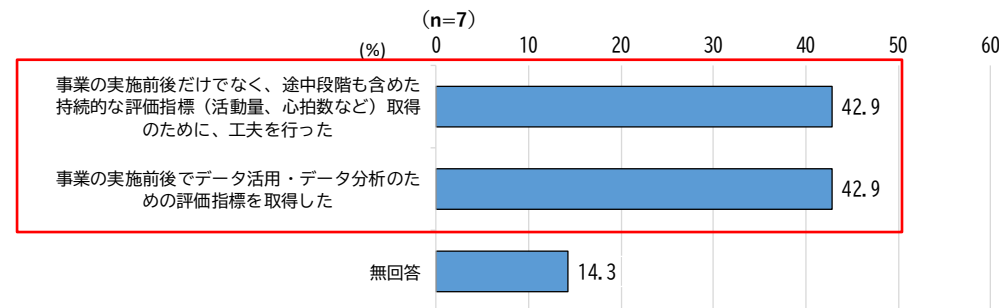
- 事業の実施前後だけでなく、途中段階も含めた持続的な評価指標(活動量、心拍数など)取得のために行った工夫としては、＜無関心層・未実施層向け事業＞では、「実施前後での評価指標を取得した」割合が5割で、「途中段階も含めた評価指標を取得した」割合は3割であった。一方、＜医療との連携事業＞では、「実施前後での評価指標を取得した」割合と、「途中段階も含めた評価指標を取得した」割合はともに4割であった

(18) ② 事業の実施前後だけでなく、途中段階も含めた持続可能な評価指標取得のための工夫

＜無関心層・未実施層向け事業＞



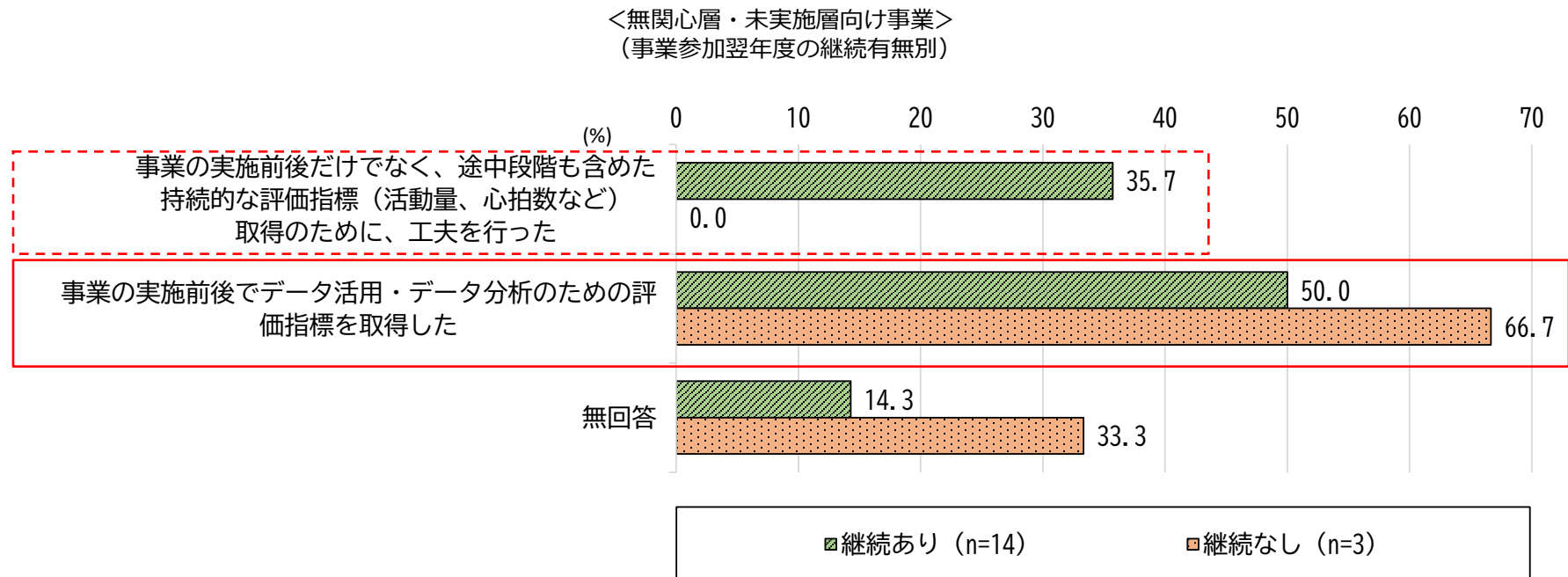
＜医療との連携事業＞



(18) 民間企業との協力について(評価指標) <クロス集計>※SA

- <無関心層・未実施層向け事業>について、事業参加翌年度の継続有無別にみると、評価指標取得のために行った工夫は「実施前後での評価指標を取得した」割合が、継続あり群では50.0%、継続なし群では66.7%と最も多くなっていた
- 「途中段階も含めた評価指標を取得した」割合は、継続あり群では35.7%であったが、継続なし群では0.0%であった

(18) ② 事業の実施前後だけでなく、途中段階も含めた持続可能な評価指標取得のための工夫



実線:継続あり群、継続なし群それぞれで最も回答の多かった選択肢
点線:継続なし群に対して継続あり群の回答が10ポイント以上多かった選択肢

(19)関係者間のデータ共有について＜単純集計＞※MA

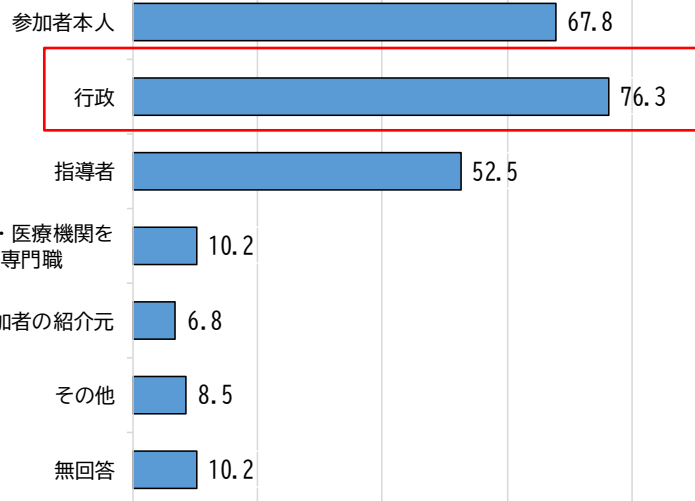
- 関係者間のデータ共有先については、＜無関心層・未実施層向け事業＞では、「行政」が76.3%と最も多かったが、＜医療との連携事業＞では、「参加者本人」と「行政」と「指導者」がともに78.9%と最も多くなっていた

(19) 関係者間のデータ共有先[複数回答]

＜無関心層・未実施層向け事業＞

(n=59)

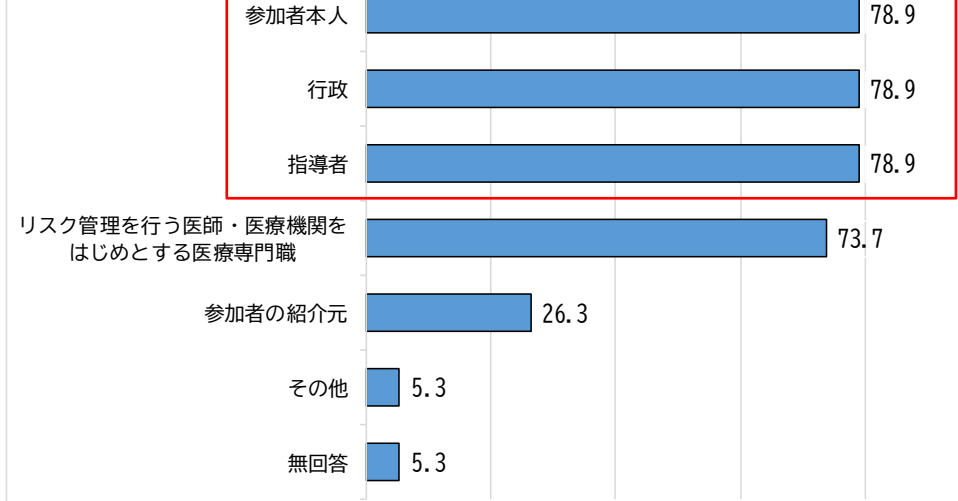
(%) 0 20 40 60 80 100



＜医療との連携事業＞

(n=19)

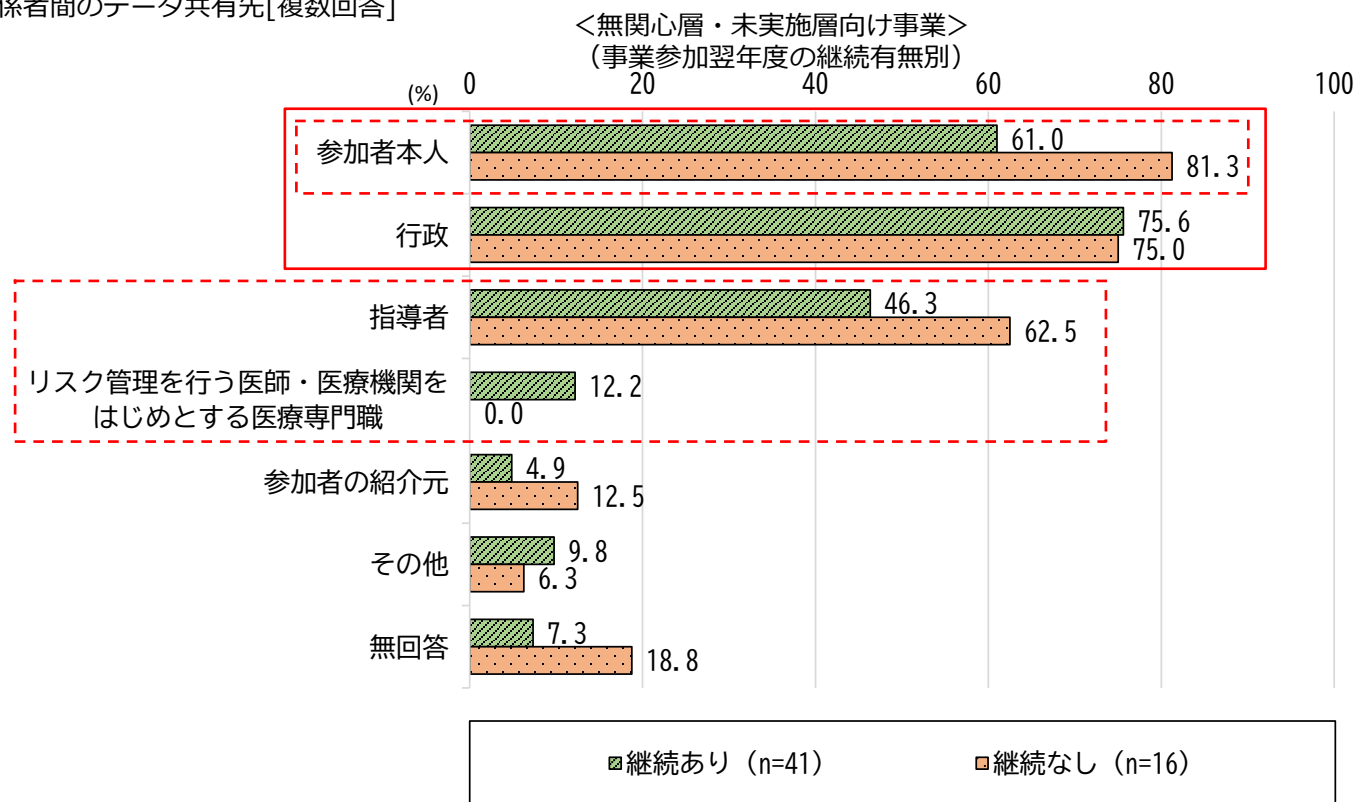
(%) 0 20 40 60 80 100



(19)関係者間のデータ共有について<クロス集計>※MA

- <無関心層・未実施層向け事業>について、事業参加翌年度の継続有無別にみると、関係者間のデータ共有先については、継続あり群では「行政」の割合が、75.6%で最も多く、継続なし群では「参加者本人」の割合が81.3%と最も多くなっていた
- 「リスク管理を行う医師・医療機関をはじめとする医療専門職」の割合は、継続あり群では12.2%だったが、継続なし群では0.0%であった

(19) 関係者間のデータ共有先[複数回答]

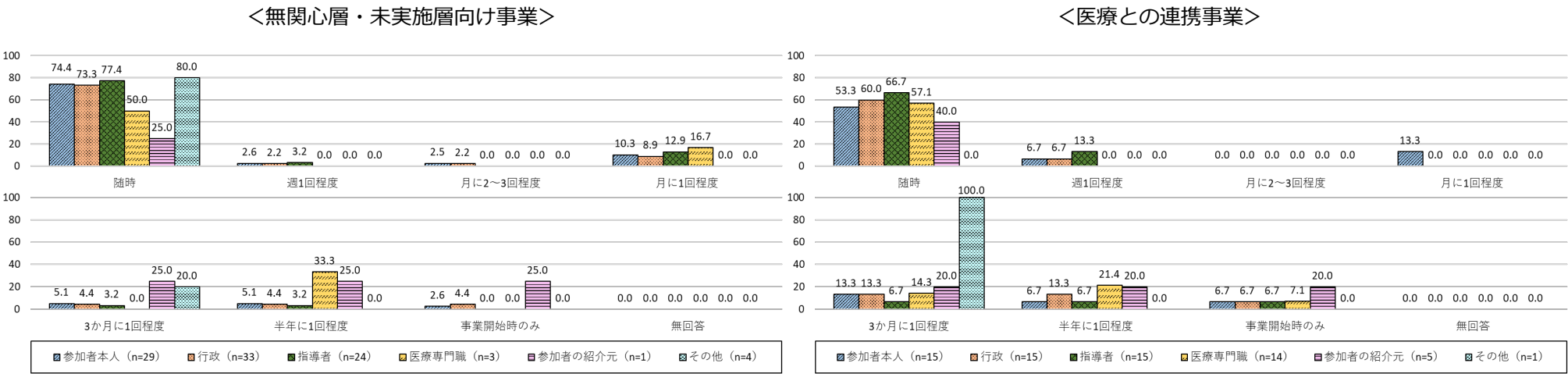


実線:継続あり群、継続なし群それぞれで最も回答の多かった選択肢
点線:継続なし群に対して継続あり群の回答が10ポイント以上多かった選択肢

(19)関係者間のデータ共有について※SA

- <無関心層・未実施層向け事業>について、共有頻度は「随時」がいずれの共有先でも最も多い。次いで多いのは参加者本人・行政・指導者では「月に1回程度」であった
- 「<医療との連携事業>について、共有頻度は「随時」がいずれの共有先でも最も多い。次いで多いのは参加者本人は「月に1回程度」「3か月に1回程度」、行政では「3か月に1回程度」「半年に1回程度」、指導者では「週に1回程度」、医療専門職では「半年に1回程度」であった

(1 9) 共有頻度

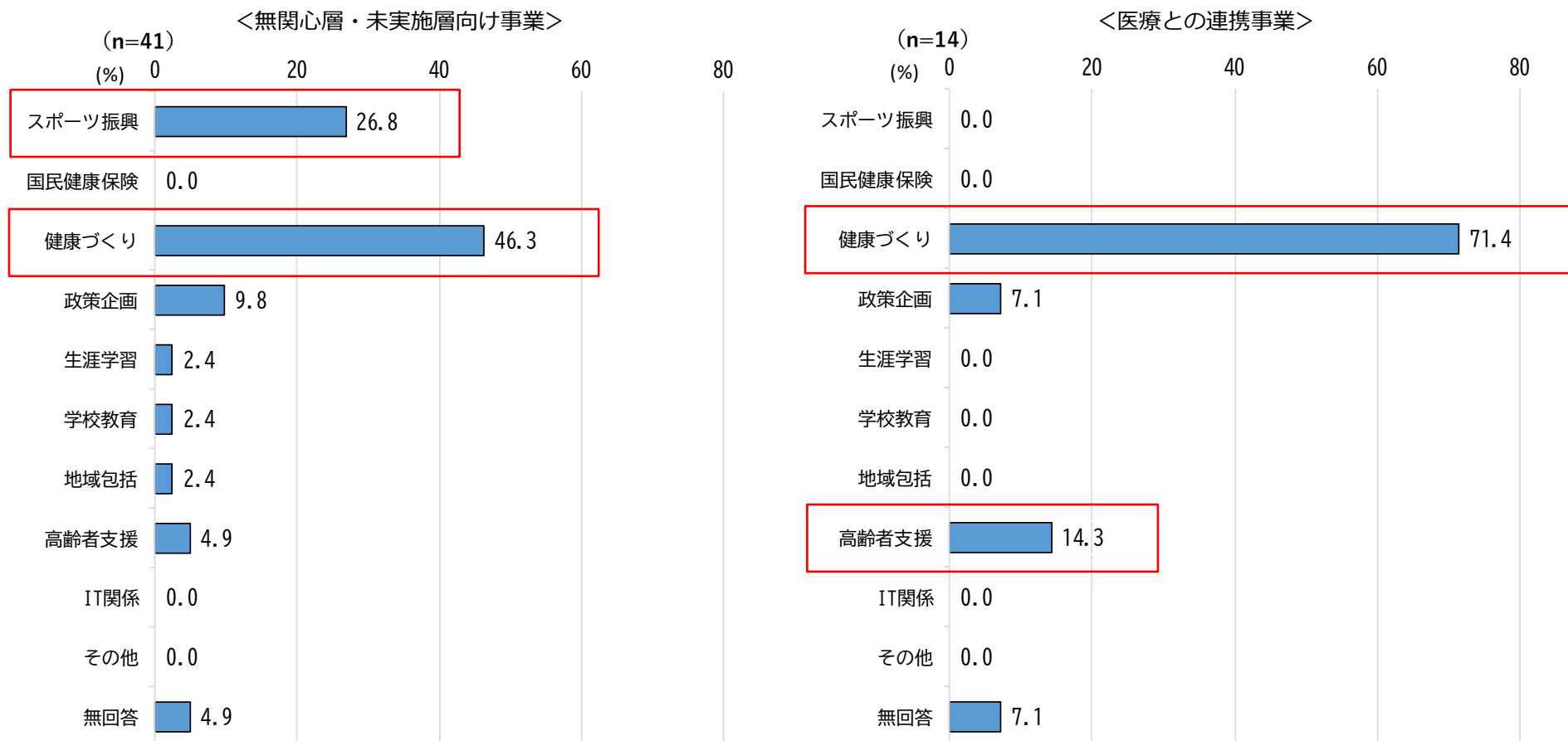


アンケート実施結果 ～ IV：事業継続・自走化に向けた取組について ～

(21)体制の変更(差分)について(翌年度)①<単純集計>※SA

- 事業参加翌年度の主導部署については、どちらの事業も「健康づくり」が46.3%、71.4%と最も多くなっていた
- 次いで多かったのは、<無関心層・未実施層向け事業>では、「スポーツ振興」が26.8%、<医療との連携事業>では、「高齢者支援」が14.3%であった

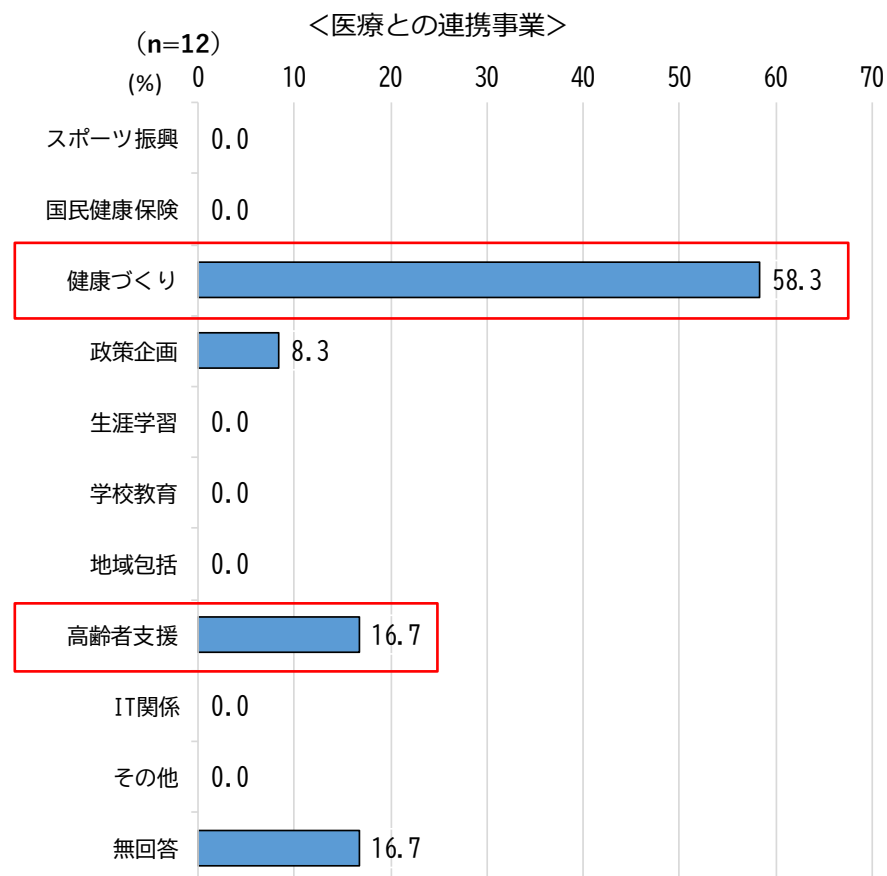
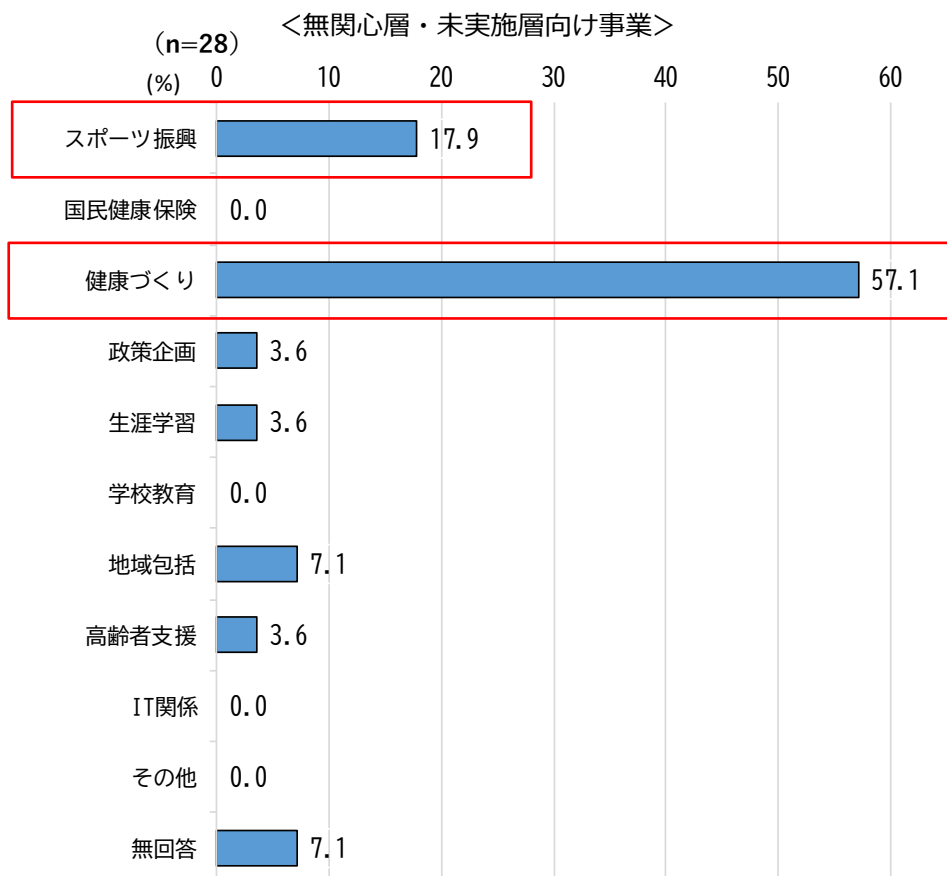
(21) 事業参加翌年度の主導部署



(21)体制の変更(差分)について(令和4年度)①<単純集計>※SA

- 令和4年度の主導部署については、事業参加翌年度と同様の傾向で、どちらの事業も「健康づくり」が57.1%、58.3%と最も多くなっていた
- 次いで多かったのは、<無関心層・未実施層向け事業>では、「スポーツ振興」が17.9%、<医療との連携事業>では、「高齢者支援」が16.7%であった

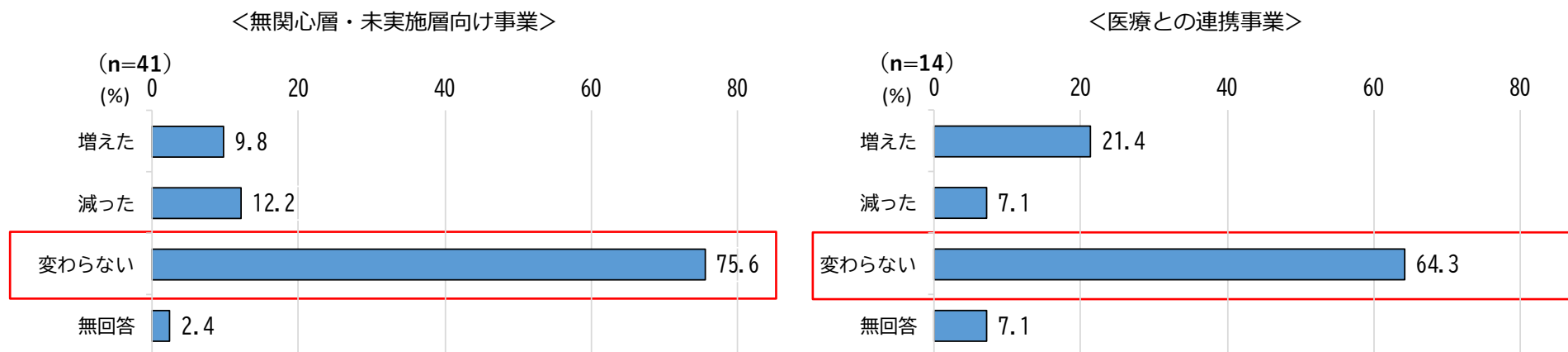
(21) 令和4年度の主導部署



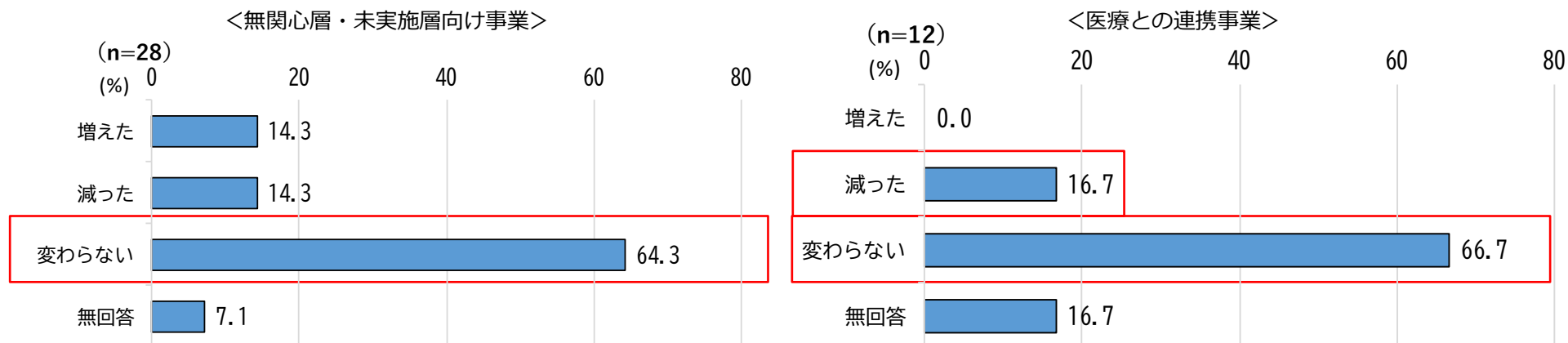
(21)体制の変更(差分)について②<単純集計>※SA

- 事業参加翌年度における、庁内の連携先数は、どちらの事業も「変わらない」ところが6割以上と多くなっていた
- 令和4年度における、庁内の連携先数も、「変わらない」ところが多かったが、＜医療との連携事業＞については、事業初参加翌年度から「増えた」ところはなく、「減った」割合が多くなっていた

(21) 事業初参加年度の体制からの変更内容(差分)について_事業参加翌年度_連携先の数(庁内)



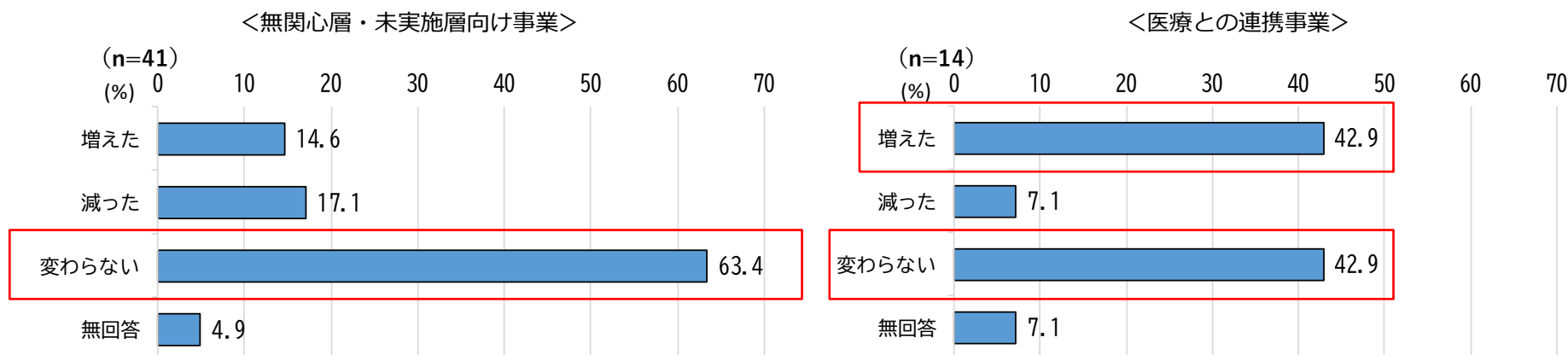
(21) 事業初参加年度の体制からの変更内容(差分)について_令和4年度_連携(庁内)



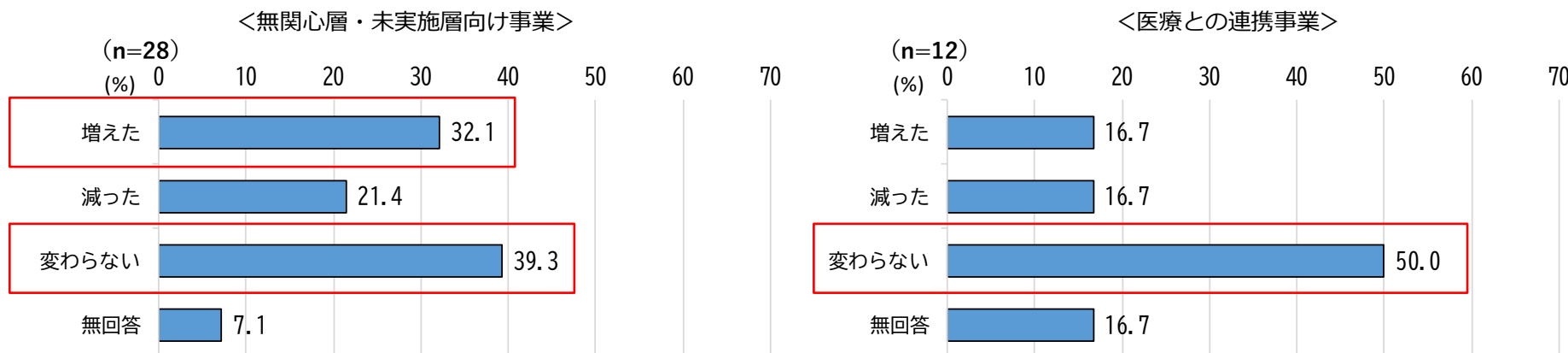
(21)体制の変更(差分)について③<単純集計>※SA

- 事業参加翌年度における、外部連携先のは、<無関心層・未実施層向け事業>は「変わらない」ところが63.4%と最も多くなっていたが、<医療との連携事業>は「増えた」と「変わらない」がともに42.9%と最も多くなっていた
- 令和4年度における、外部連携先のは、どちらの事業も「変わらない」ところが多かったが、<無関心層・未実施層向け事業>では、「増えた」の割合も3割程度であった

(21) 事業初参加年度の体制からの変更内容(差分)について_事業参加翌年度_連携(外部)



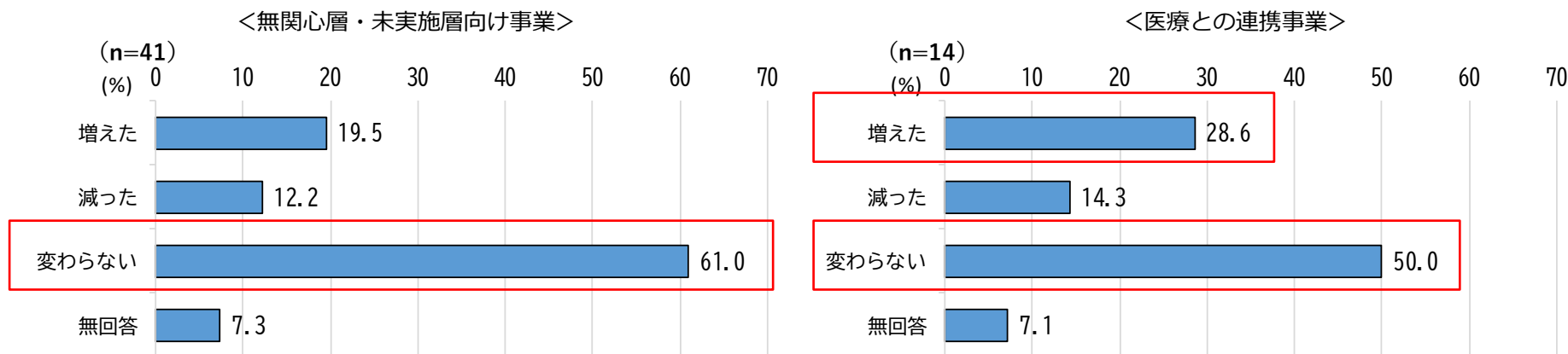
(21) 事業初参加年度の体制からの変更内容(差分)について_令和4年度_連携(外部)



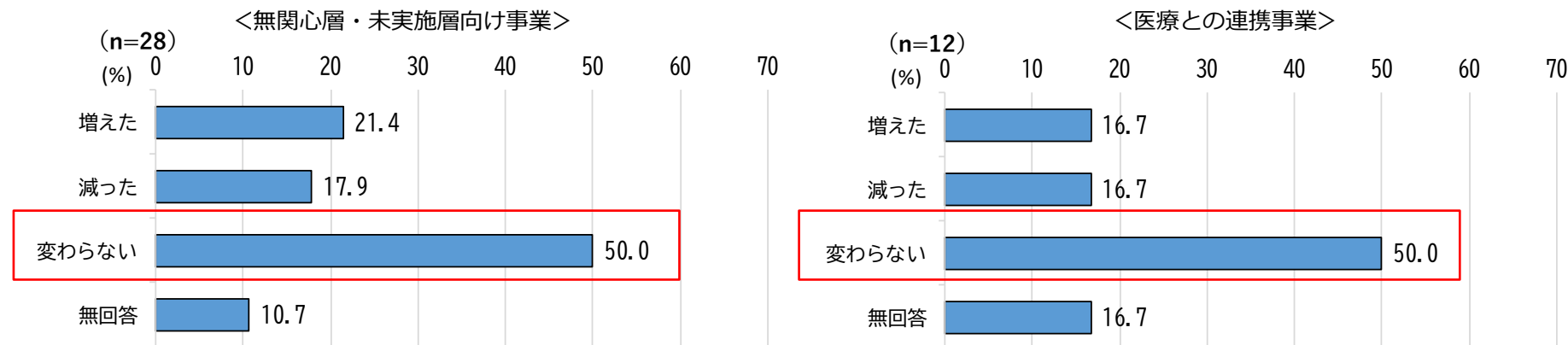
(22) 専門的な知識を有する組織や人材との連携状況について＜単純集計＞※SA

- 事業参加翌年度における、専門的な知識を有する組織や人材との連携数は、どちらの事業も「変わらない」が半数以上を占めていたが、＜医療との連携事業＞は「増えた」の割合も3割程度あった
- 令和4年度における、専門的な知識を有する組織や人材との連携数は、どちらの事業も「変わらない」ところが5割であった

(22) ① 事業参加翌年度に事業を実施する際の運動・スポーツに関する専門的な知識を有する組織や人材との連携状況（事業初参加年度との差分）



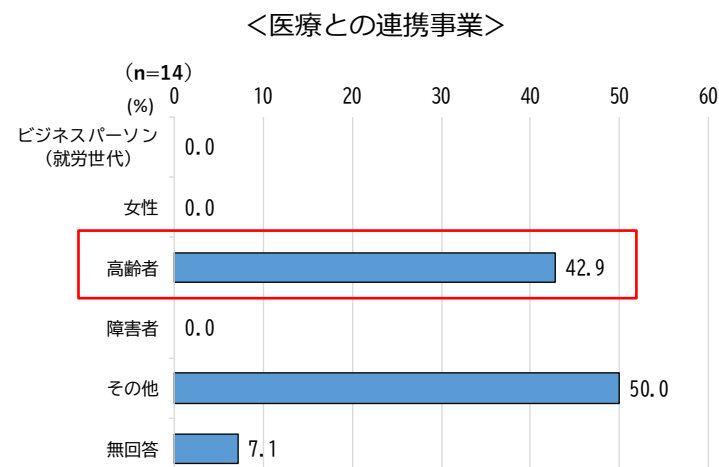
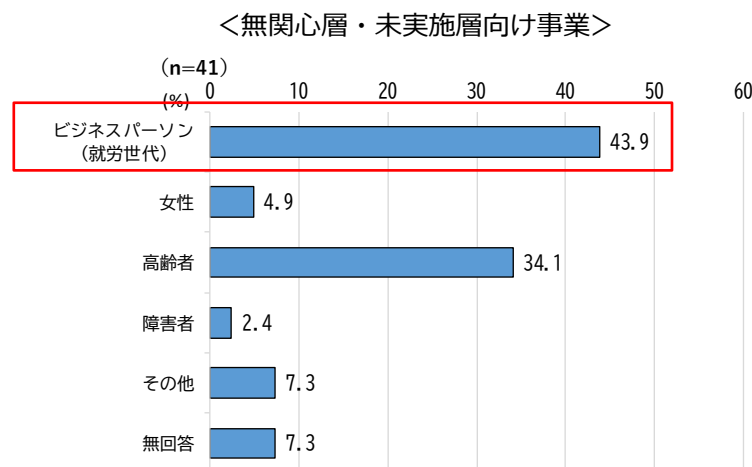
(22) ① 令和4年度に事業を実施する際の運動・スポーツに関する専門的な知識を有する組織や人材との連携状況（事業初参加年度との差分）



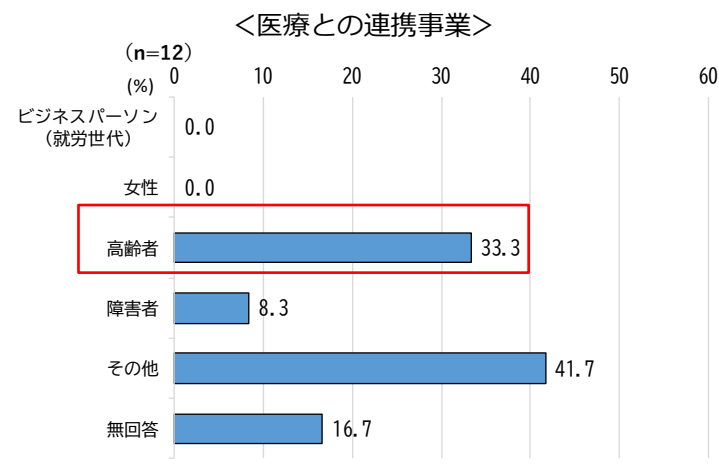
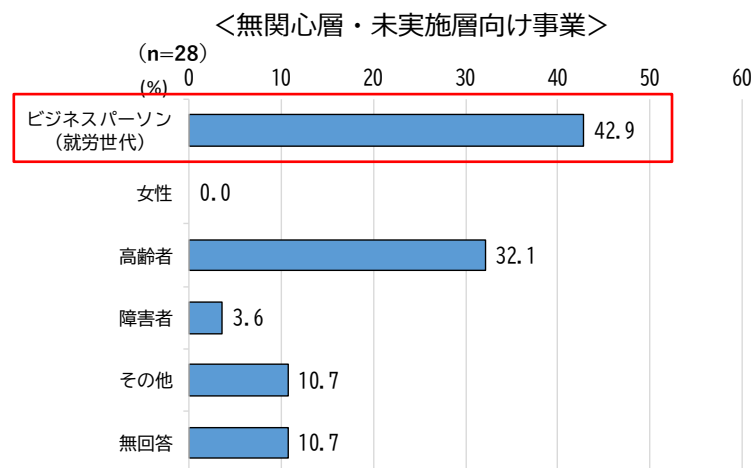
(23)対象者の属性について＜単純集計＞※SA

- 対象者の属性については、年度での違いはあまりみられず、＜無関心層・未実施層向け事業＞は「ビジネスパーソン（就労世代）」が最も多く、＜医療との連携事業＞は「高齢者」が最も多くなっていた

(23) 事業参加翌年度_対象者の属性



(23) 令和4年度_対象者の属性

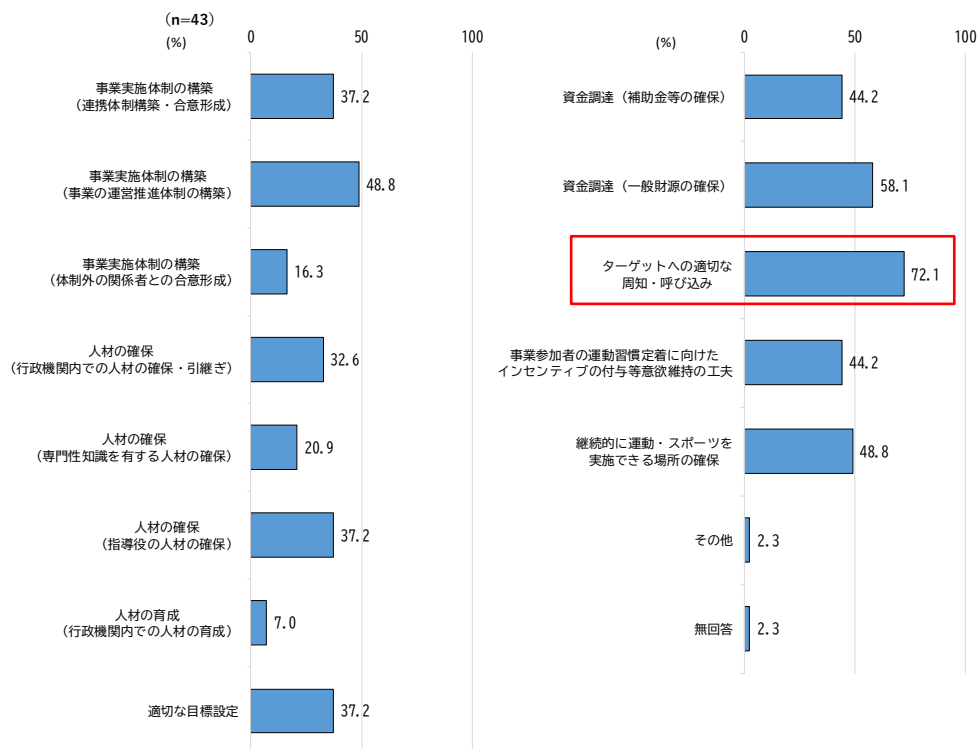


(24) 自治体の課題について＜単純集計＞※MA

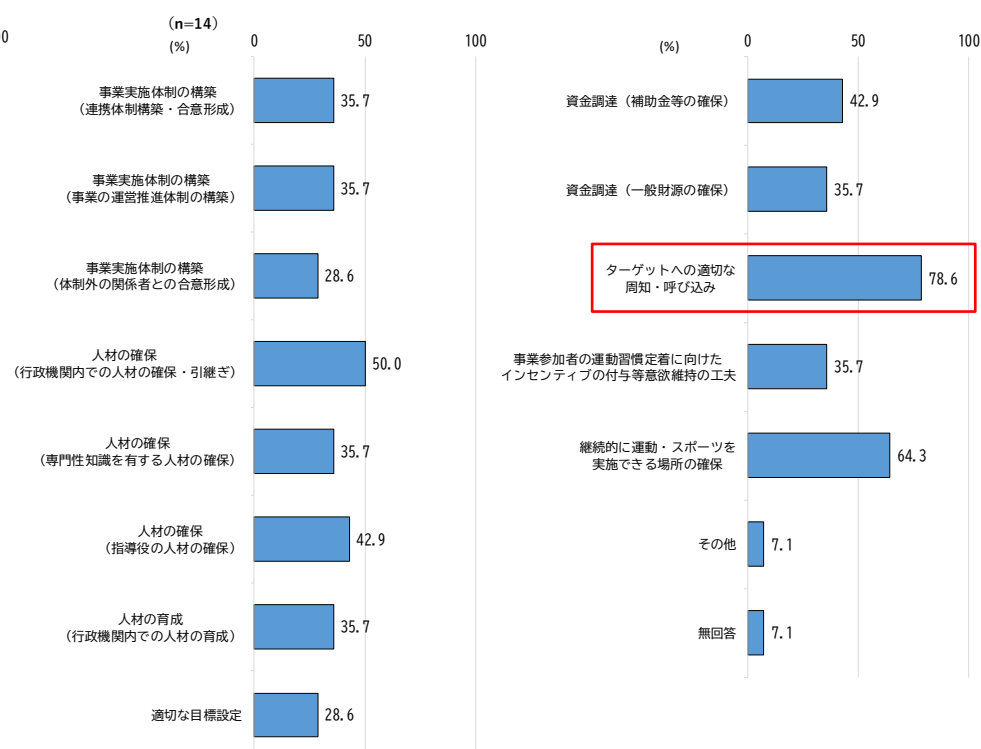
- 運動・スポーツに無関心な方々・スポーツを普段実施していない方々の、スポーツ実施・習慣化に継続して取り組むうえで、自治体において解決が求められる課題については、どちらの事業も「ターゲットへの適切な周知・呼び込み」が72.1%、78.6%と最も多くなっていた

(24) 自治体において解決が求められる課題[複数回答]

＜無関心層・未実施層向け事業＞



＜医療との連携事業＞

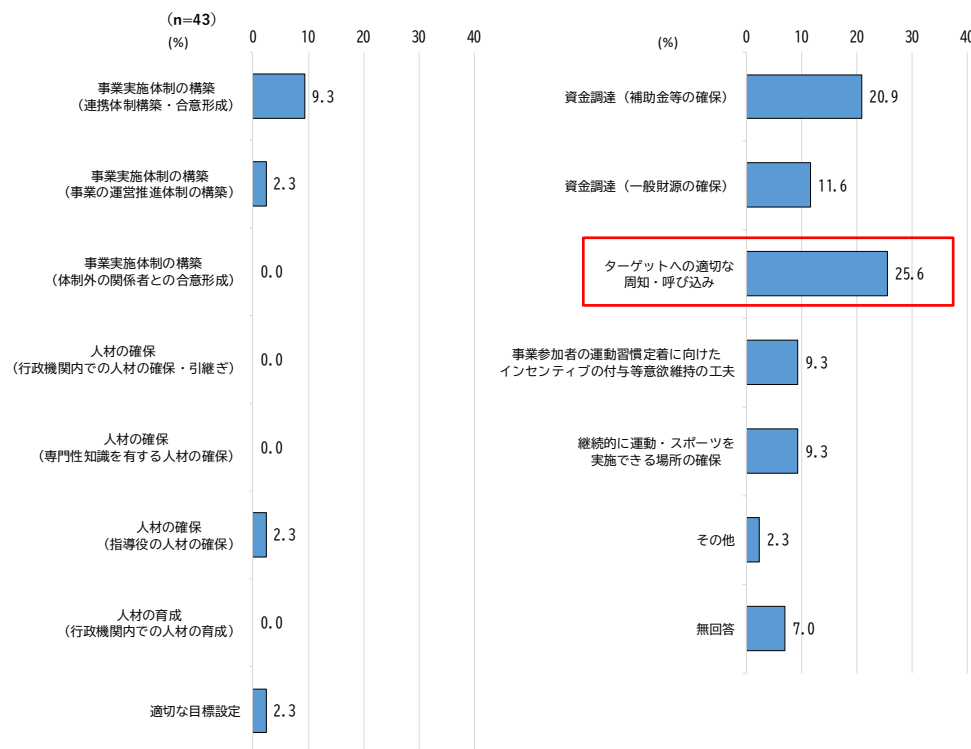


(24) 自治体の課題について＜単純集計＞※SA

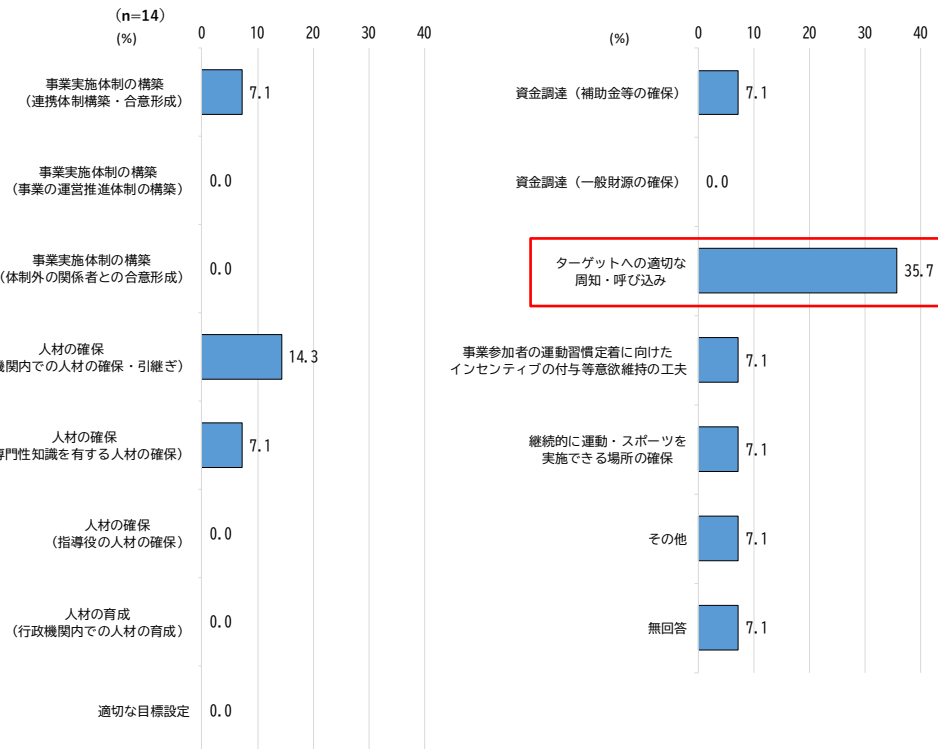
- 運動・スポーツに無関心な方々・スポーツを普段実施していない方々の、スポーツ実施・習慣化に継続して取り組むうえで、自治体において最も解決が求められると感じる課題については、先ほどと同様に、どちらの事業も「ターゲットへの適切な周知・呼び込み」が25.6%、35.7%と最も多くなっていた

(24) 自治体において解決が求められる課題[最も解決が求められると感じる課題]

＜無関心層・未実施層向け事業＞



＜医療との連携事業＞



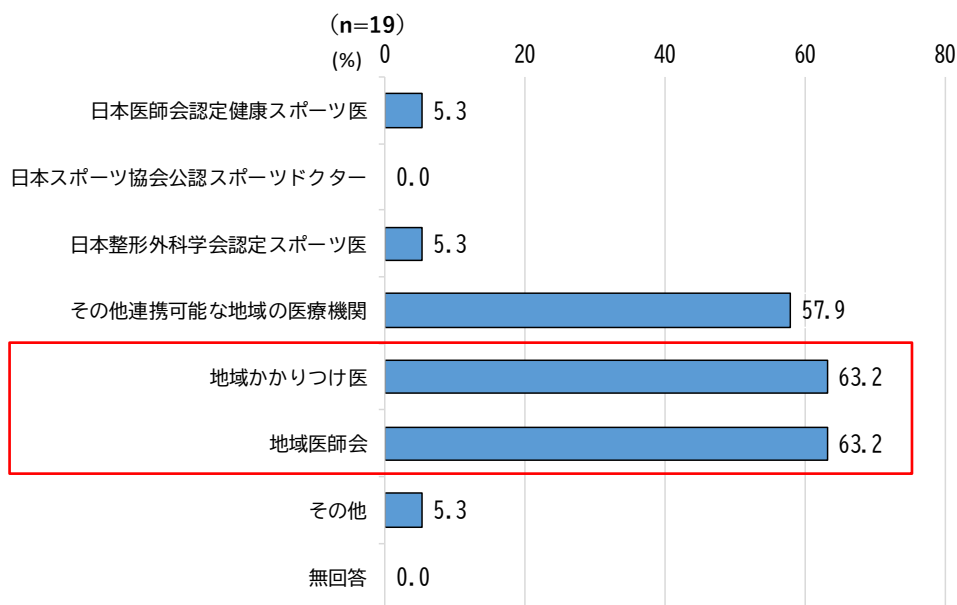
アンケート実施結果 ～ V：医療機関との連携等について ～

(26)連携した医師や医療機関について＜単純集計＞※MA

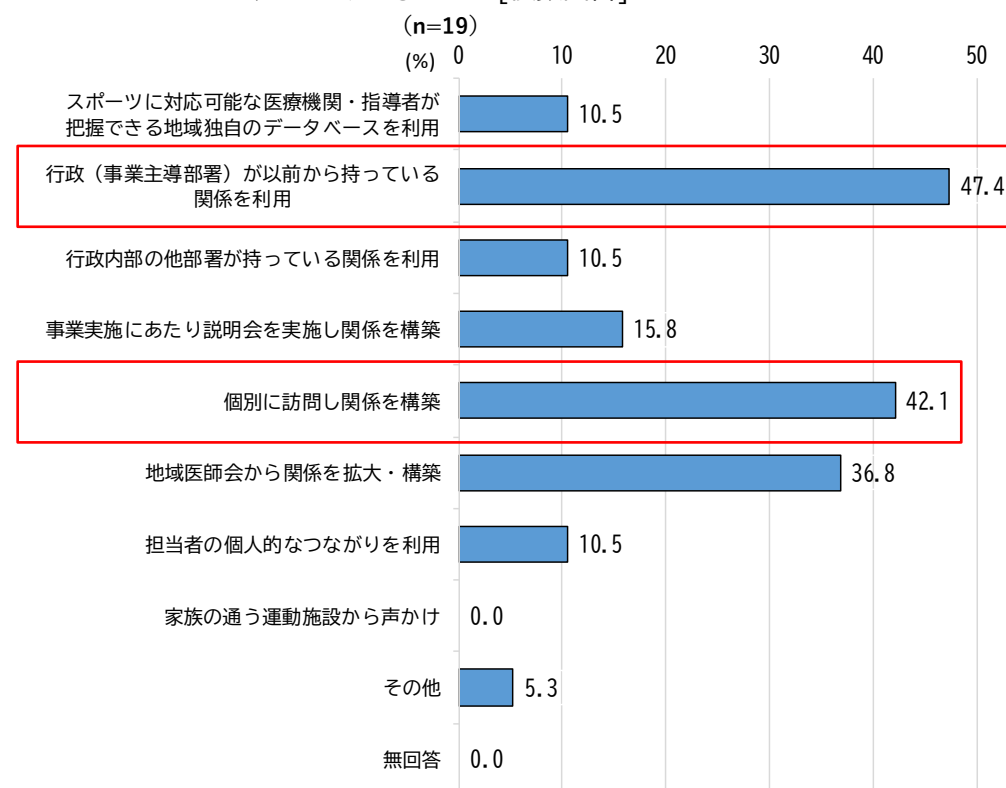
＜医療との連携＞

- 連携した医師や医療機関について、「地域かかりつけ医」と「地域医師会」が最も多くどちらも63.2%であった
- 医師や医療機関への声掛けについては、「行政が以前から持っている関係を利用」が最も多く47.4%あり、その次に「個別に訪問し関係を構築」が多く42.1%であった

(26) ① 事業実施にあたり、連携した医師や医療機関[複数回答]



(26) ② 事業実施にあたり、連携した医師や医療機関へどのように声をかけましたか？[複数回答]

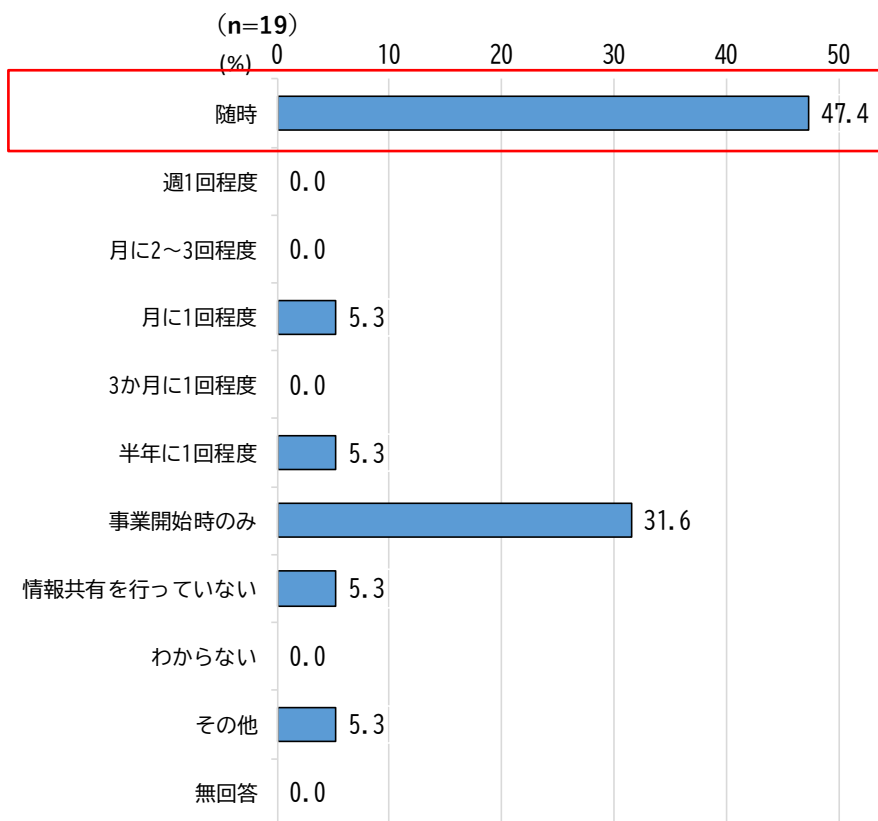


(27)情報共有について①<単純集計>※SA

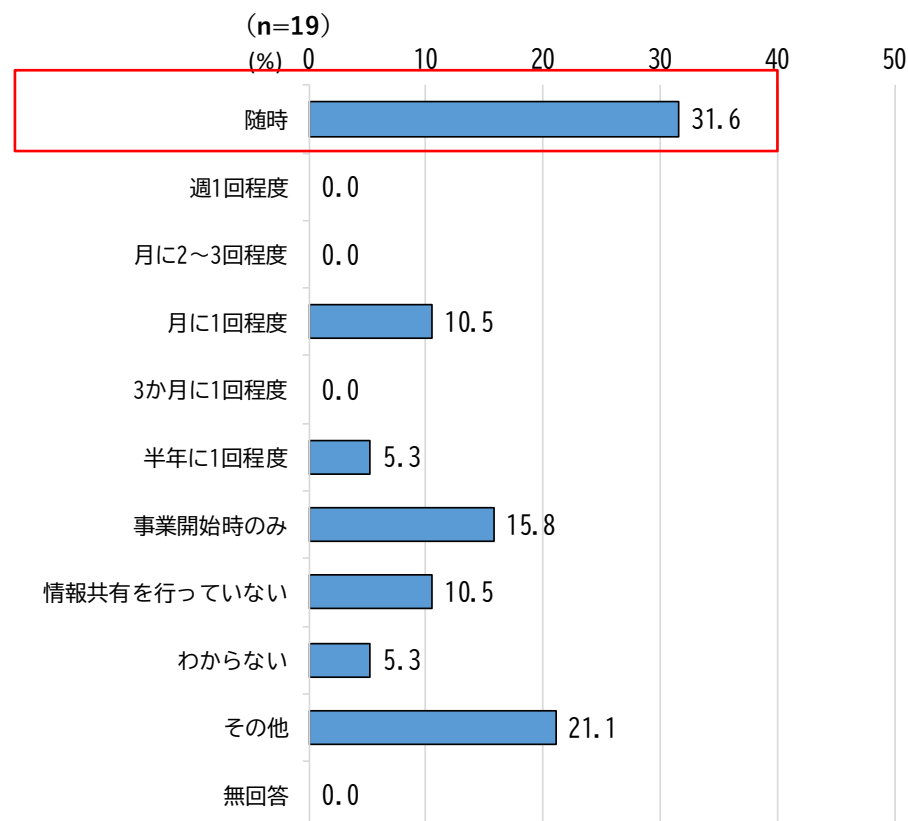
<医療との連携>

- 医師、医療機関と運動指導者との情報共有の頻度は、「随時」行っている事業が多く、医師・医療機関から運動指導者への情報共有では47.4%、運動指導者から医師・医療機関への情報共有は31.6%であった

(27) ① 事業実施にあたり、医師・医療機関から運動指導者への情報共有の有無



(27) ③ 事業実施にあたり、運動指導者から医師・医療機関への情報共有の有無

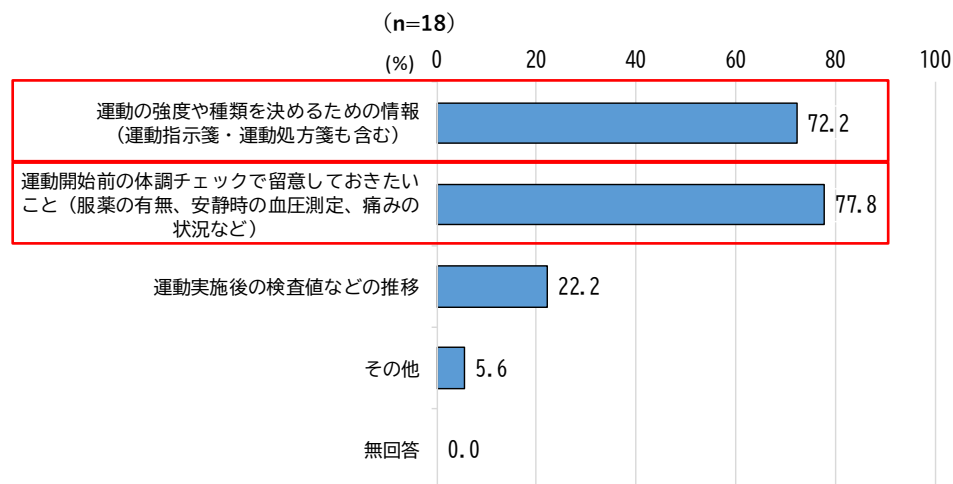


(27) 情報共有について②<単純集計>※MA

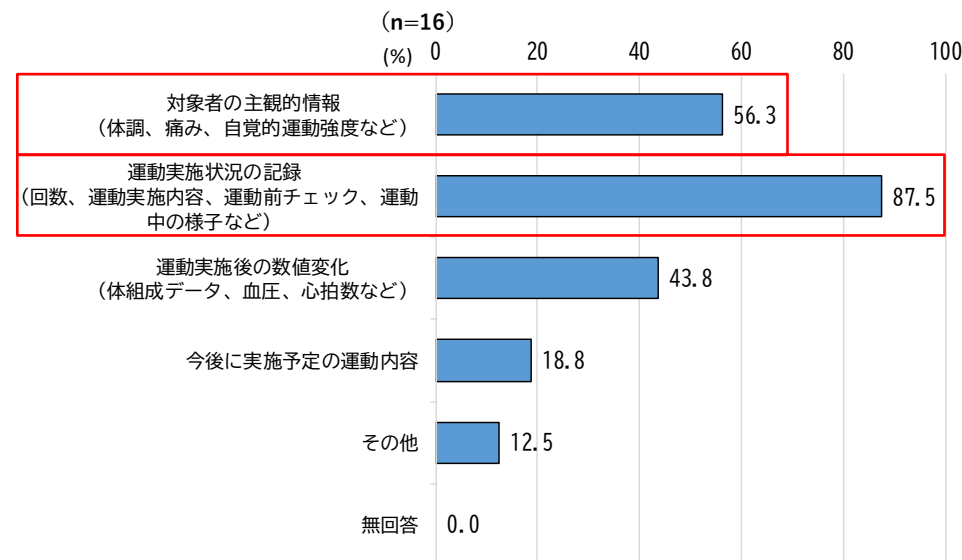
<医療との連携>

- 医師・医療機関から運動指導者への情報共有内容について、「運動開始前の体調チェックで留意しておきたいこと」が最も多く77.8%であり、次に「運動の強度や種類を決めるための情報」が多く72.2%であった
- 運動指導者が医師・医療機関にフィードバックした内容について、「運動実施状況の記録」が最も多く87.5%であり、その次に「対象者の主観的情報」が多く56.3%であった

(27) ② 医師・医療機関から運動指導者への情報共有内容[複数回答]

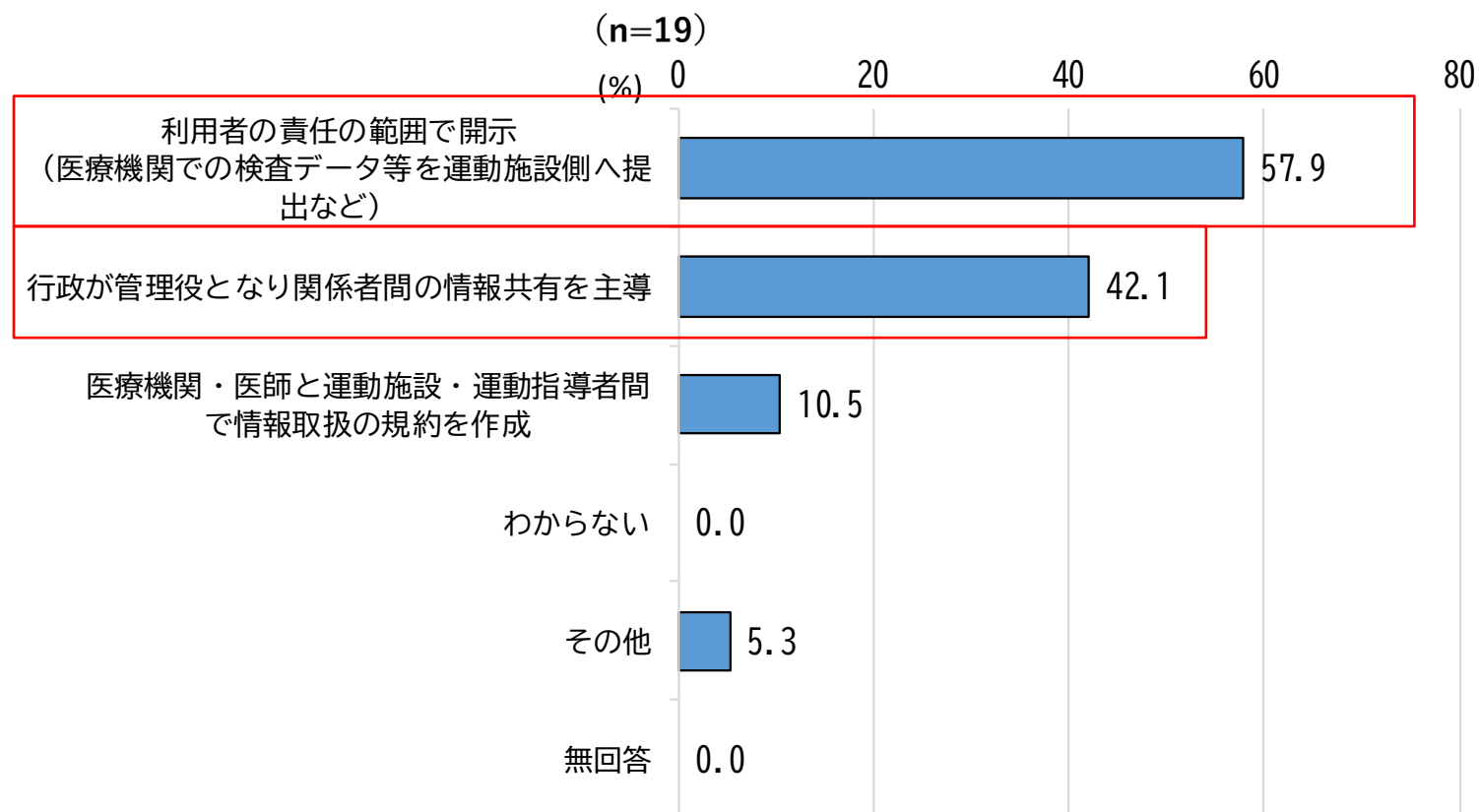


(27) ④ 運動指導者が医師・医療機関にフィードバックした内容[複数回答]



- 個人情報の取扱方法について、「利用者の責任の範囲で開示」が最も多く57.9%で、次に「行政が管理役となり関係者間の情報共有を主導」が多く42.1%であった

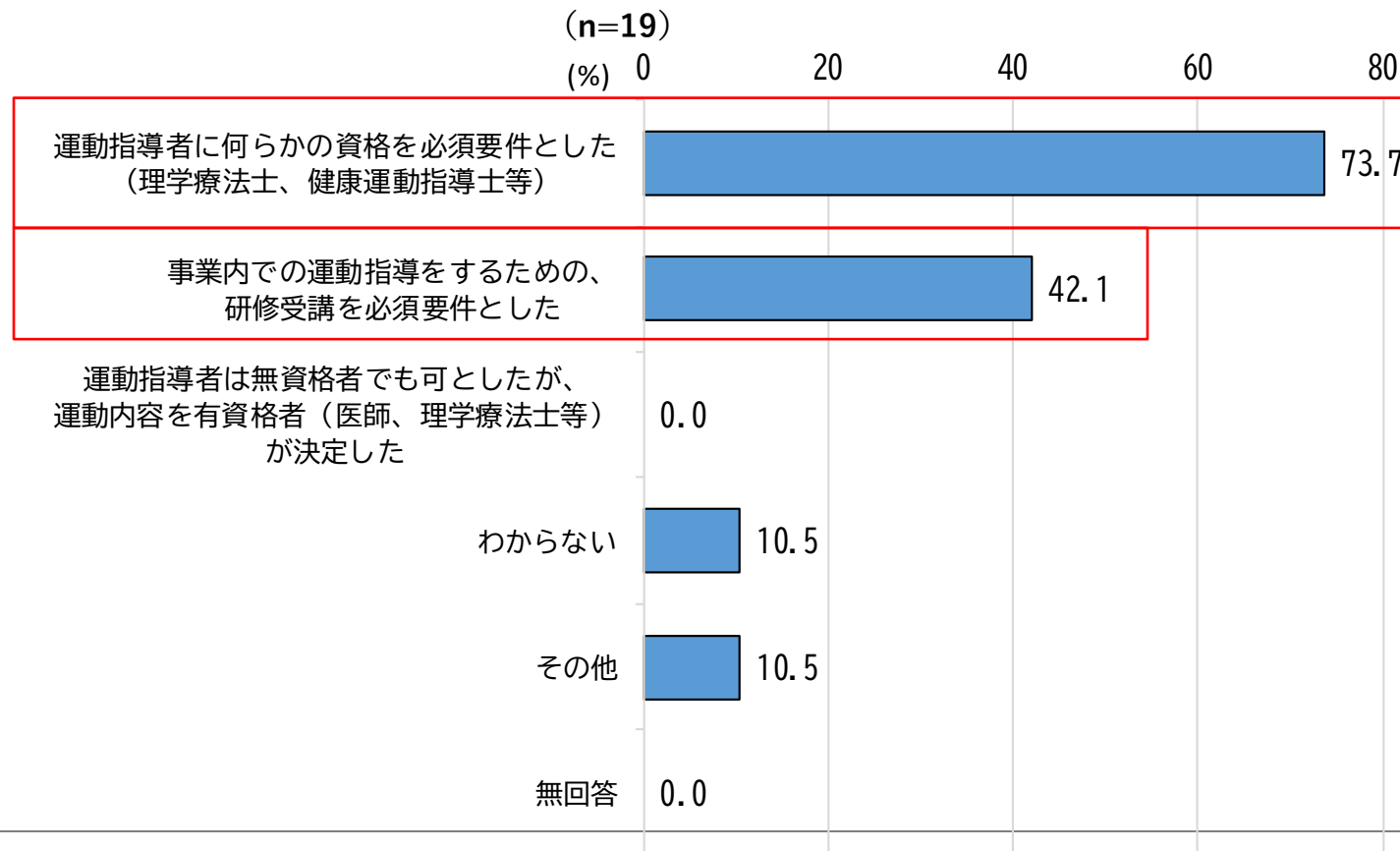
(27) ⑤ 個人情報の取扱方法[複数回答]



(28)運動指導・運動指導者の質の担保について＜単純集計＞※MA ＜医療との連携＞

- 医療機関・医師側へ運動指導・運動指導者の質の担保への工夫について、「運動指導者に何らかの資格を必須要件とした」が最も多く73.7%であり、次に「事業内での運動指導をするための、研修受講を必須要件とした」が多く42.1%であった

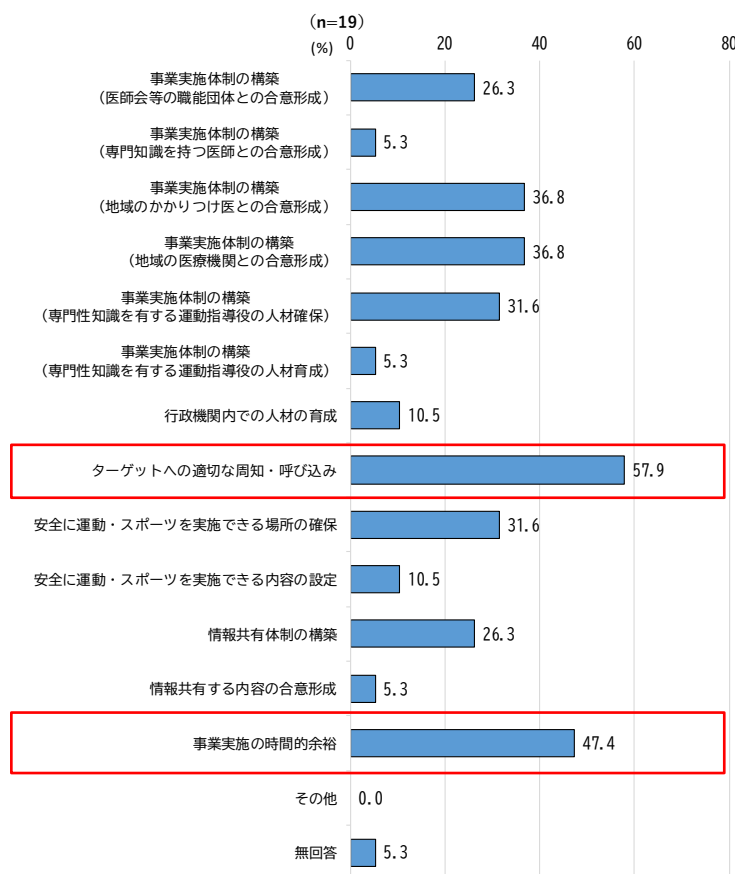
(28) 事業実施にあたり、医療機関・医師側へ運動指導・運動指導者の質の担保をどのように工夫したのか？ [複数回答]



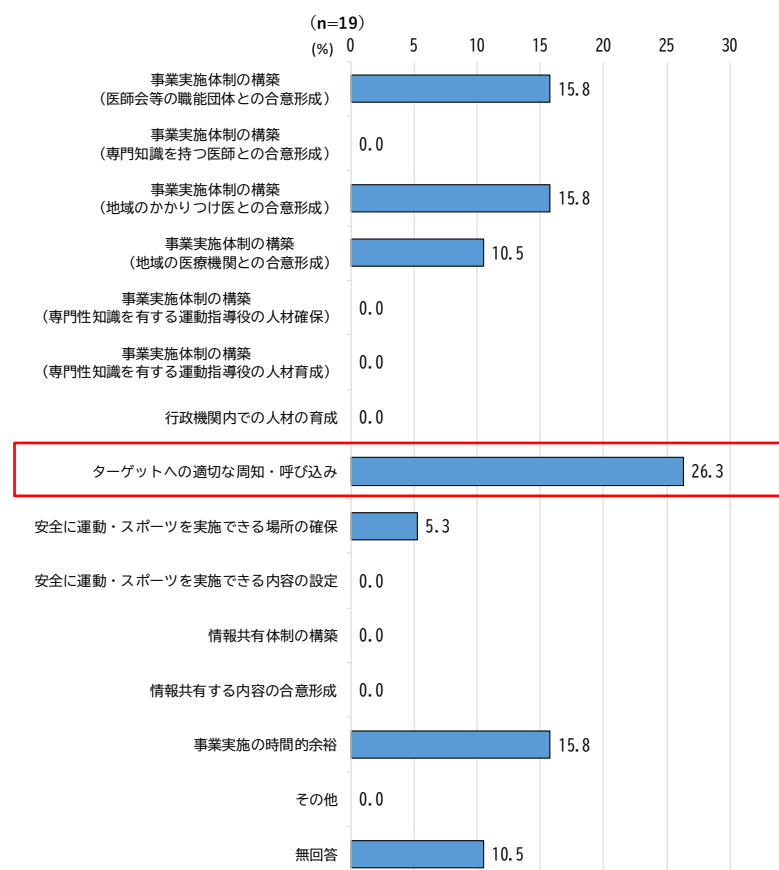
(29) 医師・医療機関と連携するうえでのハードルについて＜単純集計＞※MA＜医療との連携＞

- スポーツ実施・習慣化を推進するうえでハードルと感じた項目について、「ターゲットへの適切な周知・呼び込み」が最も多く57.9%であり、次に「事業実施の時間的余裕」が多く47.4%であった
- 最もハードルと感じた項目についても、「ターゲットへの適切な周知・呼び込み」が最も多く26.3%であった

(29) 医師・医療機関と連携しながらスポーツ実施・習慣化を推進するうえで、ハードルと感じた項目[複数回答]



(29) 医師・医療機関と連携しながらスポーツ実施・習慣化を推進するうえで、最もハードルと感じた項目



(30) "スポーツ・健康づくり施策"の社会保障費の効果検証について<単純集計><医療との連携>

- “スポーツ・健康づくり施策”の社会保障費の効果検証について、医療レセプトによる効果検証をしたことがある自治体は3.5% (15/432)であり、介護レセプトによる効果検証をしたことがある自治体は1.9%であった

(3 0) “スポーツ・健康づくり施策”の社会保障費の効果検証について、医療レセプトによる効果検証をしたことがあるか？

No.	カテゴリー名	全体
1	はい	15 3.5%
2	いいえ	401 92.8%
3	無回答	16 3.7%
合計		432

(3 0) “スポーツ・健康づくり施策”の社会保障費の効果検証について、介護レセプトによる効果検証をしたことがあるか？

No.	カテゴリー名	全体
1	はい	8 1.9%
2	いいえ	408 94.4%
3	無回答	16 3.7%
合計		432

第6章 参考資料

参考資料2 アンケート調査 調査票(3種)

全国調査 調査票

運動・スポーツをする際に何らかの制限や配慮が必要な方々、及び無関心な方々向けのお取り組み状況に関するアンケート調査 調査票

本調査における「スポーツ」の定義
スポーツ基本法に記載の「スポーツは、心身の健全な発達、健康及び体力の保持増進、精神的な充足感の獲得、自律心その他の精神の涵養等のために個人又は集団で行われる運動競技その他の身体活動であり、今日、国民が生産にわたり心身ともに健康で文化的な生活を営む上で不可欠のものとなっている」という文言を踏まえ、本調査では「個人又は集団で行われる運動競技その他の身体活動」を広くスポーツと定義する。 例) 健康体操教室、ウォーキング、ヨガ、ダンス、いきいき百歳体操、グラウンドゴルフ、サイクリング 等

ご回答者について

都道府県名			市町村名	
本調査の回答者	部署名			
	担当者名			
	連絡先 (E-mail)			

※回答者情報は回答内容のお問合せのため、事務局内でのみ収集いたします。

※回答いただいた内容は、回答者及び回答自治体名が特定されない形でのみ使用いたします。

I、スポーツ実施に制限や配慮が必要な方々、及び無関心層に対する施策の実施状況

(1) あなたの自治体では、ここ数年の間に「①運動・スポーツをする際に何らかの制限や配慮が必要な方々」や「②運動・スポーツに無関心な方々」がスポーツを実施し、習慣化するための施策について、スポーツや健康づくりに関する行動計画の中で定めていますか。選択肢の中からあてはまるものを1つ選んでください。 ※行動計画とは、「スポーツ基本計画」(スポーツ庁)をはじめ国や都道府県に基いて策定された地方自治体における地方計画、あるいはそれに準じるものを指す。また、これ以外に自治体が独自に策定している計画も含む。				
①	②	選択肢		
☐	☐	A) 対象者を明示した行動目標を策定した		
☐	☐	B) 対象者を明示していないが、運動・スポーツの実施や習慣化に関する行動目標を策定した		
☐	☐	C) スポーツ全般に関する計画は策定しているが、運動・スポーツの実施・習慣化に関する行動目標は定めていない		
☐	☐	D) スポーツに関する計画は定めていない		
☐	☐	E) その他		
①その他詳細				
②その他詳細				

(2) あなたの自治体では、令和3年度に①運動・スポーツをする際に何らかの制限や配慮が必要な方々、②運動・スポーツに無関心な方々を対象に、スポーツを実施する機会を提供する事業を実施しましたか。対象者毎の実施状況として当てはまる選択肢をそれぞれ1つ選んでください。				
①	②	選択肢		
☐	☐	A) ターゲットを参加対象者に絞った事業を実施した →選択したものについて、(3)以降を回答		
☐	☐	B) ターゲットを含め、広く参加者を想定した事業を実施した →選択したものについて、(3)以降を回答		
☐	☐	C) ターゲットを参加対象として想定した事業は実施していない →①②とも選択した場合、(11)へ		

(3) (2) で回答した事業を実施することになった経緯として最もあてはまる理由を選択肢の中から1つ選んでください。 ※①/②を対象者とした事業を複数実施した場合、最も金額の大きい事業について回答してください 例えば、ある自治体が以下の4つの事業を実施した場合、①では(A)を、②では(E)についてご回答ください。 (A)対象者①「高血圧の高齢者向けのウォーキングイベント(予算2,000,000円)」 (イ)対象者①「身体障がい者向けのフィットネス講習会(予算1,500,000円)」 (ウ)対象者②「働く女性向けのヨガ教室事業(予算5,000,000円)」 (エ)対象者②「オフィスワーカー向け自転車通勤支援(予算3,000,000円)」				
①を対象者とした事業		その他詳細		
②を対象者とした事業		その他詳細		
(選択肢) A) 「週1回以上の成人の運動実施率」が全国平均より低いこと B) 地域住民のニーズや身体的な制約等への配慮に適った運動実施の場(運動施設)が少ないこと C) 地域住民のニーズや身体的な制約等への配慮に適った運動実施機会が少ないこと D) 地域住民から「健康のために何から取り組めばよいか」という疑問・問合せを多く受けること E) 特定健康診査等の結果から、生活習慣病予防が重視されていること F) 医療費削減が重視されていること G) 生活習慣病の方や疾患を持った方が安心して健康づくりに取り組める環境が必要だったこと H) 高齢化率上昇・要介護認定者増加がみられること I) 新型コロナウイルス感染症等の影響により、地域住民の活動量が減少していること J) その他(記述)				

(4) 事業ではどのような運動・スポーツ種目を実施しましたか。実施した種目をすべて選んでください。 ※①/②を対象者とした事業を複数実施した場合、最も金額の大きい事業について回答してください										
①を対象者とした事業	☐ A	☐ B	☐ C	☐ D	☐ E	☐ F	☐ G	☐ H	その他詳細	
②を対象者とした事業	☐ A	☐ B	☐ C	☐ D	☐ E	☐ F	☐ G	☐ H	その他詳細	
(選択肢) (A) ウォーキング、(B) フィットネス・エクササイズ(いきいき百歳体操等を含む)、(C) ヨガ、(D) ダンス、(E) サイクリング、(F) グラウンドゴルフ、(G) ジョギング、(H) その他(記述)										

全国調査 調査票

(5) 回答例を参考に、事業を主導した部署(課)の名称を記述し、その担当として当てはまるものを選択肢から選んでください(部署は複数回答可)。あわせて、事業実施にあたり市内や外部機関で連携した組織・団体の名称と担当(属性)を選んでください。もし市内や外部機関と連携していない場合は、別窓に「なし。」と記入のうえ、連携していない(できない)理由(または動機)を教えてください。
※①/②を対象者とした事業を複数実施した場合、最も金額の大きい事業について回答してください

①を対象者とした事業	主導	□A □B □C □D □E □F □G
	(具体名)	
	連携(市内)	□A □B □C □D □E □F □G
	(具体名)	
	連携(外部)	□ア □イ □ウ □エ □オ □カ □キ □ク □ケ □コ □サ □シ
	(具体名)	
②を対象者とした事業	主導	□A □B □C □D □E □F □G
	(具体名)	
	連携(市内)	□A □B □C □D □E □F □G
	(具体名)	
	連携(外部)	□ア □イ □ウ □エ □オ □カ □キ □ク □ケ □コ □サ □シ
	(具体名)	
どことも連携していない場合		どことも連携していない(できない)理由(または動機)
□		

(市内担当の選択肢)
(A) スポーツ振興、(B) 国民健康保険、(C) 健康づくり、(D) 政策企画、(E) 生涯学習、(F) 学校教育、
(G) その他

(外部団体・組織属性の選択肢)
(ア) 医師会・医療機関、(イ) 薬剤師会、(ウ) 健康運動指導士・協会、(エ) 統合型スポーツクラブ・連絡協議会、(オ) スポーツ推進委員・連絡協議会、(カ) 体育協会・スポーツ協会、(キ) 地域包括支援センター、(ク) 大学・研究機関、(ケ) 民間企業①(フィットネスクラブ運営やスポーツ用品販売等のスポーツ関連事業者)、(コ) 民間企業②(保険、食品、健康機器等、広義のヘルスケア関連事業者)、
(サ) 民間企業③(その他)、(シ) その他団体

(6) それぞれの事業の予算額とその内訳を教えてください。
※①/②を対象者とした事業を複数実施した場合、最も金額の大きい事業について回答してください

	金額(A+B+C)	(A) うち自治体予算	(B) うち政府補助金	(C) その他予算
①を対象者とした事業	- (千円)	(千円)	(千円)	(千円)
②を対象者とした事業	- (千円)	(千円)	(千円)	(千円)

(7) 事業の計画時に定量的な目標を定めましたか、目標を定めなかった場合、その理由を教えてください。
※①/②を対象者とした事業を複数実施した場合、最も金額の大きい事業について回答してください

①	②	選択肢
□	□	A) 定量的な目標を定めた一箇所支えない範囲で設定した目標値の意図や活用目的を教えてください
□	□	B) 定量的な目標は定めていない一理由欄を記入後、(9)へ
(定量的な目標を定めた場合、どのように活用されたか) ※①②どちらについて記載しているか明記してください		
(定量的な目標を定めていない理由) ※①②どちらについて記載しているか明記してください		

(8) (7) (7)でAと回答した場合) 定量的な目標として定めた項目を教えてください。それらの項目について(A)事業実施前の値、(B)事業を通じた目標値、(C)実施後の結果を教えてください。
※①/②を対象者とした事業を複数実施した場合、最も金額の大きい事業について回答してください
※最大10項目
※事業前後の値、単位をわかる範囲でそれぞれ記入ください

分類	項目選択肢	項目名称	(A) 事業実施前の値	単位	(B) 事業の目標値	(C) 事業実施後の値(結果)	単位
①							
②							

(選択肢) (A) 対象者属性における運動頻度関連指標(アンケートにおける「週1回以上運動する」の回答割合等)、(B) 事業参加者の健康関連指標(体重、体脂肪率、血圧、身体年齢)の改善、(C) 事業参加者の運動量を表す指標(歩数等)、(D) 事業参加者における運動・スポーツへの意欲に関する指標(アンケートにおいて「日常的に運動を実施したい」と回答する割合)、(E) 事業参加者の1ヶ月の医療関連支出額(保険診療額)、(F) 事業参加者の主観的な健康感(アンケートで自身が「健康だ」と回答する割合等)、(G) その他(記述)

(参考) 「運動・スポーツ習慣化促進事業」では、事業計画時に成果目標(共通・個別)の提出が求められている。当該事業における共通目標として、以下が定められている。
(ア) 運動・スポーツ無関心層(非実施層)の取込率(これまで運動・スポーツを実施していなかった参加者が補助事業の参加を通して「新たに運動・スポーツを実施するようになった」と回答した者の割合)
(イ) 運動・スポーツへの意欲(「これからも運動・スポーツを続けたい」と思う者の割合)
(ウ) 運動・スポーツ実施率(運動・スポーツの習慣化) | 事業参加者の週1回以上のスポーツ実施率
(エ) 運動・スポーツを通じて主観的な健康感 | 事業への参加を通して、「主観的な健康度が高い」と回答するようになった割合。
(オ) 医師等との連携 | 医師等が運動・スポーツ実施者等へ情報を提供する機会。

全国調査 調査票

（９）令和３年度に実施した事業について、（ⅰ）事業の継続判断における定量的な評価の実施状況（ⅱ）令和４年度の継続状況、（ⅲ）事業継続時の予算の状況として、あてはまる選択肢を選んでください。加えて（ⅳ）について、予算の内でゼロになったものがあればチェックを付けてください。
※①/②を対象者とした事業を複数実施した場合、最も金額の大きい事業について回答してください

①	(ⅰ) 実施状況		(ⅱ) 継続状況	
	(a) 予算の総額	(b) 自治体予算		
	(c) 政府補助金	(d) その他予算		
	金額がゼロになった場合	金額がゼロになった場合	金額がゼロになった場合	金額がゼロになった場合
②	(ⅰ) 実施状況		(ⅱ) 継続状況	
	(a) 予算の総額	(b) 自治体予算		
	(c) 政府補助金	(d) その他予算		
	金額がゼロになった場合	金額がゼロになった場合	金額がゼロになった場合	金額がゼロになった場合

（選択肢）
（ⅰ）事業の継続判断における定量的な判断の実施状況
A) 行った
B) 行っていない
（ⅱ）令和３年度に実施した事業の令和４年度の継続状況
C) 事業を続けている → (ⅲ) を回答ください
D) 事業を取りやめた
（ⅲ）令和４年度の予算の状況
(a) 予算の総額（増えた/減った/変わらない） ※「減った」のうち、ゼロになった場合は✓
(b) 自治体予算（増えた/減った/変わらない） ※「減った」のうち、ゼロになった場合は✓
(c) 政府補助金（増えた/減った/変わらない） ※「減った」のうち、ゼロになった場合は✓
(d) その他予算（増えた/減った/変わらない） ※「減った」のうち、ゼロになった場合は✓

（１０）令和３年度に実施した事業の成功に向けて取り組んだ事項を選択肢の中から全て選んでください。また（取組実施によらず）事業を成功させる上で、最も重要だとあなたが考える取組を選択肢の中から１つ選んでください。
※①/②の対象者とした事業を複数実施した場合、最も金額の大きい事業について回答してください
※前巻、（１２）へ

①を対象者とした事業	①A ①B ①C ①D ①E ①F ①G ①H ①I ①J ①K ①L ①M ①N
②を対象者とした事業	②A ②B ②C ②D ②E ②F ②G ②H ②I ②J ②K ②L ②M ②N
事業の成功に最も重要な取組	①: ②:
その他詳細（記述回答） ※①/②どちらについて記載しているか 明記してください	

（選択肢）
＜企画検討について＞
A) 地域住民の属性・ライフスタイル等に起因するスポーツ実施障壁の特定
※「自動車移動が多い」「製造業が中心で休日の運動機会が少ない」といった要因の検討・調査
B) 対象者へのスポーツ実施機会を提供できない地域固有の問題の特定
C) RPI設定における外部人材（大学・教員、地元スポーツ団体・民間事業者等）との連携
D) RPI設定における先行研究・各種行動計画の参照
E) 地域の特色ある資源や強みを活用した取組の企画
※地域内の表層地を巡るウォーキングツアー、地域のプログラムと連携した体験会開催 等
＜実施について＞
F) 外担機関（民間事業者等）と連携した指導者の確保
G) 外担機関（民間事業者等）と連携した運動施設・場所（オンラインを含む）の確保
H) 対象者が参加しやすい時間や場所の調整
＜告知について＞
I) 対象者にターゲットを絞った告知
※自動車通乗者に対するカーラジオでの告知やドラッグストア等生活動線上の施設での告知 等
J) 外担機関（商工会議所、医療機関、民間施設等）と連携した告知
K) デジタルツール（SNS、スマートフォンアプリのプッシュ通知等）を活用した告知
L) 参加者に対するインセンティブ（健康ポイント等）の付与
＜分析・評価段階＞
M) 参加者の属性取得とデータ分析に基づく目標検討といったデータの活用
N) 外担組織や機関等による、事業効果の多角的な評価検証
O) 財源確保に向けた、事業効果の定量化・分析結果の取りまとめ
P) 次年度の自主的な運営を見据えた、民間移行等の体制の見直し・再構築
＜その他＞
Q) その他（記述）

（１１）令和３年度、事業を実施していない理由として最も当てはまる選択肢を１つ選んでください。
※（２）にて（A）もしくは（B）を選択した方は本型型への回答は不要です

①を対象者とした事業	
②を対象者とした事業	
その他詳細（記述回答） ※①/②どちらについて記載しているか 明記してください	

（選択肢）
A) 行政予算で対象者向けの事業を以前実施し、既に民間事業者による独自財源に移行したから
B) 政府や都道府県の掲げるスポーツ関連の定量的な目標を既に達成しているから
C) 既存の事業以外に着手できる人員がいなかったから
D) 事業を実施するために必要な体制構築（市内や外部機関との連携）が難しかったため
E) 事業を実施するために必要な場所の確保が難しかったため
F) 事業を実施するために必要な人材（専門知識を有する指導者）の確保が難しかったため
G) 事業を実施しても運動習慣の定着に必要な参加者が十分得られない可能性が高いから
H) 補助金があっても事業に必要な資金を賄えないため
I) 補助金が無く予算が確保できないため
J) その他（記述）

Ⅱ、スポーツ・運動を通じた健康づくりの推進に求められる施策

（１２）①や②を対象者としたスポーツ実施・習慣化を全国で推進するうえで、あなたが考える自治体において最も解決が求められる課題を、選択肢の中から１つ選んでください。

①を対象者とした事業	
②を対象者とした事業	
その他詳細（記述回答） ※①/②どちらについて記載しているか 明記してください	

（選択肢）
A) 事業実施体制の構築（連携体制構築・合意形成）
B) 事業実施体制の構築（事業の運営推進体制の構築）
C) 事業実施体制の構築（体制外の関係者との合意形成）
D) 人材の確保（行政機関内での人材の確保・引継ぎ）
E) 人材の確保（専門性知識を有する人材の確保）
F) 人材の確保（指導者の人材の確保）
G) 人材の育成（行政機関内での人材の育成）
H) 適切な目標設定
I) 資金調達（補助金等の確保）
J) 資金調達（一般財源の確保）
K) 対象者への適切な周知・呼び込み
L) 事業参加者の運動習慣定着に向けたインセンティブの付与
M) 継続的に運動・スポーツを実施できる場所の確保
N) その他（記述）

（１３）「スポーツ・健康づくり施策」の社会保険費の効果検証について、お問い合わせします。

医療レセプトによる効果検証をしたことがありますか。	
介護レセプトによる効果検証をしたことがありますか。	

（１４）スポーツ・運動を通じた健康づくり施策に対するご意見やスポーツ庁へのご要望がありましたら、ご自由に記入してください。

設問は以上です。ご協力ありがとうございました。

フォローアップ調査 調査票

スポーツによる地域活性化推進事業（運動・スポーツ習慣化促進事業）
「健康増進のための運動・スポーツ習慣化のための実践」
※医療との連携事業 ※無関心層・未実施層向け事業（Ⅰ～Ⅳまで共有設問）
フォローアップ調査 調査票

本アンケート調査について

都道府県名		市町村名	
本調査の回答者	部署名		
	担当者名		
	連絡先（E-mail）		

※回答内容の公開については、自治体が特定されない形で使用します。回答者情報は内容のお問合せ、また今年度にヒアリングを実施する際のご連絡のため、事務局内でのみ使用します。
※記述回答に関しても、可能な範囲でお答えいただけると幸いです。

(O)

添付の事業参加年度一覧の中で、複数の年度で参加している自治体の方へお聞きします。

●最終参加年度の翌年度以降に事業継続している場合は「事業継続に最も役立った年度」

●最終参加年度の翌年度以降に事業継続していない場合は「参加年度のうち、最も住民のスポーツ実施率向上に寄与したと考えている取組の年度」

を1つお答えください。

※「事業継続」は、ここでは『対象者が変わったり予算額が変わったりしても、運動・スポーツ習慣化促進事業のノウハウを活かして、住民のスポーツ実施率向上に資する取組を続けている状態』と定義します

※単年度参加の自治体は回答不要

1つ選択	
------	--

【事業評価・継続状況について】

(1)

運動・スポーツ習慣化事業に参加した際、下記の共通目標として定めた目標値を教えてください。
また、それらの項目について(A)事業前の値、(B)事業の目標値、(C)実施後の結果を教えてください。
※事業前後の値、単位をわかる範囲でそれぞれご記入ください
※事業参加年度により設定していない場合があります。設定なしの場合は空欄でご提出ください

項目名	(A) 事業前の値	単位	(B) 事業の目標値	(C) 実施後の値（結果）	単位
(ア)					
(イ)					
(ウ)					
(エ)					
(オ)					
(カ)					
(キ)					

「運動・スポーツ習慣化促進事業」における共通目標として、以下が定められている。
(ア) 運動・スポーツ無関心層（非実施層）の取込率 | これまで運動・スポーツを実施していなかった参加者が補助事業の参加を通して「新たに運動・スポーツを実施するようになった」と回答した者の割合。
(イ) 運動・スポーツへの意欲 | 「これから運動・スポーツを続けたい」と思う者の割合。
(ウ) 運動・スポーツ実施率 | 運動・スポーツの習慣化 | 事業参加者の週1回以上のスポーツ実施率。
(エ) 運動・スポーツを通じた主観的健康観 | 事業への参加を通して、「主観的な健康度が高い」と回答するようになった割合。
(オ) 医師等との連携 | 医師等が運動・スポーツ実施者等へ情報を提供する機会。

共通目標とは別で、下記の項目についても分かる範囲でご回答ください。
(カ) 事業参加者数（設定した事業の対象者層のうち、どの程度のカバー率を目指したか）
(キ) 事業実施回数

(2) ①

事業参加年度について、事業の継続判断における評価を実施しましたか。最もあてはまるものを選択肢（A～E）の中から1つ選んでください

1つ選択	
------	--

A) 定量的に評価を実施した →②へ
B) 定量的ではないが評価を実施した →②へ
C) 評価を実施していない →③へ
D) わからない →③へ
E) その他 →②へ

(2) ②

実施した評価項目について、あてはまる選択肢をすべて選んでください。

評価項目（選択肢から）	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク	ケ	コ	サ	シ	ス

「（ス）その他」を選んだ場合の具体的な評価内容（記述）

（評価項目の選択肢）
(ア) 実施体制、(イ) 庁内外との連携、(ウ) 費用、(エ) スケジュール管理、(オ) 委託業者は期待通りの業務だったか、(カ) 参加者数、(キ) 事業対象者に対する参加者のカバー率、(ク) 参加者の行動変容、(ケ) 健康状態の前後変化、(コ) 参加者と非参加者の健康状態の変化、(サ) 医療レセプトによる効果検証、(シ) 介護レセプトによる効果検証、(ス) その他

フォローアップ調査 調査票

(2) ③ 事業参加最終年度の翌年度、並びに令和4年度の継続状況として、あてはまる選択肢を〔i～ii〕の中から選んでください。
※いずれかで i) を選択した場合は④～⑥をお答えください。ともに ii) を選択した場合は (3)へお進みください
※令和3年度に初の参加だった場合は令和4年度分の回答を『事業参加翌年度の欄』へお答えください

事業参加翌年度	令和4年度
---------	-------

(継続状況の選択肢)
i) 事業を続けている ii) 事業を取りやめた

(2) ④ 事業継続時の予算状況として、あてはまる選択肢を事業参加年度は〔イ～ト〕の中から、事業参加翌年度並びに令和4年度は〔増えた／減った／変わらない〕の中から選んでください。
※その他予算（外部調達）の例は民間財団やスポーツくじの助成、各種寄付金（ふるさと納税等を含む）、事業による利用者（受益者）負担など
※事業参加年度は具体的な数値を選択（単位は千円）

予算種別		選択肢回答（数値）
事業参加 当該年度	自治体予算	(a) 予算の総額
		(b-1) 自治体独自予算
	政府補助金	(b-2) 都道府県からの補助金
		(c-1) スポーツ庁
		(c-2) スポーツ庁以外の行政機関
(d) その他予算（外部調達）		

(数値の選択肢)
(イ) 50万円未満
(ロ) 50万円以上～100万円未満
(ハ) 100万円～300万円未満
(ニ) 300万円～500万円未満
(ホ) 500万円～700万円未満
(ヘ) 700万円～900万円未満
(ト) 900万円以上

予算種別		選択肢回答（継続状況）
事業参加 翌年度	自治体予算	(a) 予算の総額
		(b-1) 自治体独自予算
	政府補助金	(b-2) 都道府県からの補助金
		(c-1) スポーツ庁
		(c-2) スポーツ庁以外の行政機関
(d) その他予算（外部調達）		

※「減った」のうち、ゼロになった場合は✓

令和4 年度	自治体予算	(a) 予算の総額
		(b-1) 自治体独自予算
	政府補助金	(b-2) 都道府県からの補助金
		(c-1) スポーツ庁
		(c-2) スポーツ庁以外の行政機関
(d) その他予算（外部調達）		

※「減った」のうち、ゼロになった場合は✓

(継続状況の選択肢)
(a) 予算の総額（増えた／減った／変わらない）
(b) 自治体予算（増えた／減った／変わらない）
(c) 政府補助金（増えた／減った／※／変わらない） ※「減った」のうち、ゼロになった場合は✓
(d) その他予算（増えた／減った／※／変わらない） ※「減った」のうち、ゼロになった場合は✓

(2) ⑤ ※(2) ④事業継続時の予算状況で、その他予算が「増えた」と回答された自治体の方にお伺いします
その他予算として確保された内容について、具体的に教えてください。
例) 民間財団やスポーツくじの助成、各種寄付金（ふるさと納税等を含む）、事業による利用者（受益者）負担など

(2) ⑥ 誰もが身近な地域で安全かつ効果的な運動・スポーツを日常的に実施するための、持続的な地域の体制整備（ヒト&モノ・場所）ができましたか。主観的な評価を〔A～G〕の中から1つお答えください。また、可能な範囲で「具体的にどのような体制整備ができたのか」を教えてください。
※「継続」の場合は、規模の拡大／維持／縮小は問わない

選択肢（一つ選ぶ）	
具体内容（記述）	

【選択肢】
A) 事業参加年度に体制整備（ヒト&モノ・場所）ができ、次年度以降も継続可能
B) 事業参加年度に体制整備（ヒト）ができ、次年度以降も継続可能
C) 事業参加年度に体制整備（モノ・場所）ができ、次年度以降も継続可能
D) 事業参加年度の体制整備が不十分であったが、次年度以降も継続と判断
E) 事業参加年度は体制整備ができたが、次年度以降は継続が難しく中止を判断
F) 事業参加年度は体制整備ができたが、次年度以降は不明
G) その他

(3) ※(2) ③事業の継続状況で、「事業を取りやめた」を選択した自治体の方へお伺いします
事業実施翌年度、もしくは令和4年度に事業を実施していない理由として当てはまる選択肢を〔A～K〕の中からすべて選んでください。また、最も当てはまる選択肢を1つ⑦で選んでください。

i) 事業参加翌年度
ii) 令和4年度

【選択欄】

☐	☐	A) 行政予算でターゲット向けの事業を以前実施し、既に民間事業者による実施に移行したから
☐	☐	B) 政府や都道府県の掲げるスポーツ関連の定量的な目標を既に達成しているから
☐	☐	C) 既存の事業以外に着手できる人員がいないから
☐	☐	D) 事業を実施するために必要な体制構築（組織内や外部機関との連携）が難しかったため
☐	☐	E) 事業を実施するために必要な場所の確保が難しかったため
☐	☐	F) 事業を実施するために必要な人材（専門知識を有する指導役）の確保が難しかったため
☐	☐	G) 事業を実施しても運動習慣の定着に必要な参加者が十分得られない可能性が高いから
☐	☐	H) 補助金があっても事業に必要な資金を賄えないため
☐	☐	I) 補助金がなく一般財源でも賄えなかったため
☐	☐	J) 期待する効果が得られないため
☐	☐	K) その他（記述）（具体的に）

フォローアップ調査 調査票

(4) 「スポーツ・健康づくり施策」の社会保障費の効果検証について、お問い合わせします。あてはまるものを1つ選んでください。また、具体方法について教えてください。		
医療レセプトによる効果検証 をしたことがありますか。	はい/いいえ	
	(はいの場合) 具体方法	
介護レセプトによる効果検証 をしたことがありますか。	はい/いいえ	
	(はいの場合) 具体方法	

事前設問は以上です。I の設問シートへお進みください。

【I：事業を開始するまで】

(5) 事業を実施することとなった経緯として当てはまるものを〔A～J〕の中からすべて選択してください。その中から、最もあてはまる経緯を選択肢の中から1つ◎で選んでください。	
☐	A) 「週1回以上の成人の運動実施率」が全国平均より低いこと
☐	B) 地域住民の運動実施の場（運動施設）が少ないこと
☐	C) 地域住民の運動実施機会が少ないこと（運動不足を感じる人が多いこと）
☐	D) 地域住民から「健康のために何から取り組めばよいか」という疑問・問合せを多く受けること
☐	E) 特定健康診査等の結果から、生活習慣病予防が重視されていること
☐	F) 医療費削減が重視されていること
☐	G) 生活習慣病の方や疾患を持った方が安心して健康づくりに取り組める環境が必要だったこと
☐	H) 高齢化率上昇・要介護認定者増加がみられること
☐	I) 新型コロナウイルス感染症等の影響により、地域住民の活動量が減少していること
☐	J) その他（記述）（具体的に）

(6) スポーツ庁の運動・スポーツ習慣化事業へ申請する際、主導した（申請の一番のきっかけになった）人物／部署として当てはまるものを〔A～J〕の中からすべて選択してください。また、最も中心として主導した人物／部署を選択肢の中から1つ◎で選んでください。	
☐	A) スポーツ所管部署（もしくは所属する職員）
☐	B) 国民健康保険所管部署（もしくは所属する職員）
☐	C) 健康増進所管部署（もしくは所属する職員）
☐	D) 生涯学習所管部署（もしくは所属する職員）
☐	E) 首長
☐	F) 大学・研究機関（もしくは所属する専門家）
☐	G) 地域住民
☐	H) 民間企業
☐	I) 地域医師会等の職能団体
☐	J) その他（記述）（具体的に）

フォローアップ調査 調査票

(7) ① 事業に取り組む以前に、地域住民の身体活動状況など、自治体としての課題（健康づくりの目標に現状では達成していないこと）を定量的に把握していましたか。あてはまるものを選択肢〔A～D〕の中から1つ選んでください。 ※国が実施している「体力・運動能力調査」や「スポーツ実施状況等に関する世論調査」を活用している場合は「定量的な把握」に該当	
1つ選択	
(選択肢)	
A) 定量的に課題を把握していた	→②へ
B) 定量的ではないが課題を把握していた	→②へ
C) 課題を把握していなかった	→ (8) へ
D) わからない	→ (8) へ
(7) ② その把握方法、把握し事業に繋がった内容について、可能な範囲で 具体的に 記入してください。	
(把握方法と事業への反映内容)	

(8) ① 事業に取り組む以前に、地域住民の身体活動促進に関係する地域環境（例えば、運動施設、公園、歩道・自転車道、ジョギングロード、住民の運動サークル、運動指導ボランティアなど）を定量的に把握していましたか。あてはまるものを選択肢〔A～D〕の中から1つ選んでください。	
1つ選択	
(選択肢)	
A) 定量的に地域資源を把握していた	→②へ
B) 定量的には把握していなかったものの、地域環境の状況を概ね把握していた	→②へ
C) 地域資源を把握していなかった	→ (9) へ
D) わからない	→ (9) へ
(8) ② その把握方法、把握し事業に繋がった内容について、可能な範囲で 具体的に 記入してください。	
(把握方法と事業への反映内容)	

(9) ① 事業実施内容や目標の設定の際に、どの資料を参考にしましたか。あてはまる選択肢を〔A～H〕の中から すべて 選んでください。 ※B)～F)、H)を選択された場合は②へ、それ以外を選択された場合は(10)へ	
☐	A) なにも参考にしていない
☐	B) 何らかの運動基準・健康目標（健康づくりのための運動基準2013、健康日本21（第2次）等）
☐	C) 市民アンケート
☐	D) 学識経験者の意見
☐	E) スポーツ施策を実施している他自治体の資料
☐	F) 過去の運動・スポーツ習慣化事業の報告書
☐	G) わからない
☐	H) その他（記述）（具体的に）
(9) ② ※①でB)～F)、H)を選択された方はお答えください ①で選択された内容を、どのように内容や目標に反映されたのか、可能な範囲で 具体的に 記入してください。	
(選んだ選択肢の事業内容や目標への反映状況)	

I の設問は以上です。II の設問シートへお進みください。

フォローアップ調査 調査票

【Ⅱ：事業実施について】

(10) 事業を主導した部署（課）として当てはまるものを選択肢から選んでください（部署は複数回答可）。あわせて、事業実施にあたり庁内や外部機関で連携した組織・団体で当てはまるものを○で選び、担った役割を選択肢（a～j）から選んでください。 ※担った役割はプルダウンからも選択可能です（選択肢は（a～j））										
①主導	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
（その他の場合具体的に） （庁内担当部署の選択肢） (A) スポーツ振興、(B) 国民健康保険、(C) 健康づくり、(D) 政策企画、(E) 生涯学習、(F) 学校教育、(G) 地域包括、(H) 高齢者支援、(I) IT関係、(J) その他										
②庁内の連携先（選択）	担った役割（選択）		担った役割で「i）その他」を選択した場合の具体例（記述）							
(A) スポーツ振興										
(B) 国民健康保険										
(C) 健康づくり										
(D) 政策企画										
(E) 生涯学習										
(F) 学校教育										
(G) 地域包括										
(H) 高齢者支援										
(I) IT関係										
(J) その他										
②庁内の連携先で「（J）その他」を選択した場合の具体例（記述）										
③外部との連携先（選択）	担った役割（選択）		担った役割で「i）その他」を選択した場合の具体例（記述）							
(ア) 医師会・医療機関										
(イ) 薬剤師会										
(ウ) 健康運動指導士・協会										
(エ) 統合型スポーツクラブ・連絡協議会										
(オ) スポーツ推進委員・連絡協議会										
(カ) 体育協会・スポーツ協会										
(キ) 地域包括支援センター										
(ク) 大学・研究機関										
(ケ) 民間企業①（フィットネスクラブ運営やスポーツ用品販売等のスポーツ関連事業者）										
(コ) 民間企業②（保険、食品、健康機器等、広義のヘルスケア関連事業者）										
(サ) 民間企業③（その他）										
(シ) その他団体										

③外部との連携先で「（シ）その他」を選択した場合の具体例（記述）	
（担った役割の選択肢） a) 企画検討 b) 事業の告知・広報 c) 実施会場確保 d) 専門的な知識・技能を持つ人材の確保 e) 事業実施における運動指導 f) データ収集・情報共有 g) 収集したデータの活用・分析 h) 事業の分析・評価 i) その他（具体的な内容を記載）	
(11) 事業の成功に向けて取り組んだ事項について、選択肢【A～Q】の中からあてはまるものをすべて選んでください。 また、事業を成功させる上で最も重要だと考える取組を、選択肢の中から1つ④で選んでください。 ※ここでの事業の成功は、「共通目標の達成（地域住民のスポーツ実施率向上等）」を指します ※最も重要だと感じるものについては、回答者の方が考えるものでかまいません	
【選択欄】	<企画検討について> A) 地域住民の属性・ライフスタイル※に起因するスポーツ実施障壁の特定 ※「自動車移動が多い」「製造業が中心で休日の運動機会が少ない」といった要因の検討・調査 B) ターゲットへのスポーツ実施機会を提供できない地域固有の課題の特定 C) KPI設定における外部人材（大学教員・地元スポーツ団体・民間事業者等）との連携 D) KPI設定における先行研究・各種行動計画の参照 E) 地域の特色ある資源や強みを活用した取組※の企画 ※地域内の景勝地を巡るウォーキングツアー、地域のプロチームと連携した体験会開催 等 <実施について> F) 外部機関（民間事業者等）と連携した指導者の確保 G) 外部機関（民間事業者等）と連携した運動施設・場所（オンラインを含む）の確保 H) ターゲットが参加しやすい時間や場所の調整 <告知について> I) 対象者のターゲットを絞った告知 ※自動車移動者に対するカーラジオでの告知やドラッグストア等生活動線上の施設での告知 等 J) 外部機関（商工会議所、医療機関、民間施設等）と連携した告知 K) デジタルツール（SNS、スマートフォンアプリのプッシュ通知等）を活用した告知 L) 参加者に対するインセンティブ（健康ポイント等）の付与 <分析・評価段階> M) 参加者の属性取得とデータ分析に基づく日程検討といったデータの活用 N) 外部組織や議会等による、事業効果の多角的な評価検証 O) 財源確保に向けた、事業効果の定量化・分析結果の取りまとめ P) 次年度の自立的な運営を見据えた、民間移行等の体制の見直し・再構築 <その他> Q) その他（記述）（具体的に）

フォローアップ調査 調査票

(12) ① ※(11) ①取り組みだ事項で、外部との連携に該当する選択肢「(C)」「(F)」「(G)」のいずれかを選択された方にお伺いします。

運動・スポーツに関する専門的な知識を有する組織や人材（医師、健康運動指導士、運動ボランティアなど、運動指導や健康相談に対応可能な人材）との連携に際して、（イ）運動・スポーツに関する専門的な知識を有する組織や人材が、事業の中でどんな役割を担ったか（あてはまるものすべて）を教えてください。

また、（イ）で「運動指導」を選択した場合は（ロ）どのくらいの頻度で関わったか（最もあてはまるもの1つ）を教えてください。

※関わった頻度はプルダウンからも選択可能です（選択肢は「A～H」）

運動・スポーツに関する専門的な知識を有する組織や人材	(イ) 担った役割（すべて選択）							(ロ) (イ) で運動指導を選んだ場合 関わった頻度（選択）
	テ	ト	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	
(ア) 地域の医師会								
(イ) 地域の医療機関								
(ウ) 医師								
(エ) 地域の看護協会								
(オ) 看護師・保健師								
(カ) 地域の理学療法士・作業療法士協会								
(キ) 理学療法士・作業療法士								
(ク) 健康運動指導士協会								
(ケ) 健康運動指導士								
(コ) 健康運動実践指導者								
(サ) スポーツ推進委員・連絡協議会								
(シ) 体育協会・スポーツ協会								
(ス) 大学や研究機関に属する専門家								
(セ) 民間企業（フィットネスクラブ運営やスポーツ用品販売等のスポーツ関連事業者）								
(ソ) 地域ボランティア								
(タ) 普段スポーツジム等で指導にあっているスタッフ（専門資格なし）								
(チ) その他								

運動・スポーツに関する専門的な知識を有する組織や人材について、「(イ) その他」を選択した場合の具体名（記述）

(イ) 担った役割で、「(イ) その他」を選択した場合の具体名（記述）

(ロ) 関わった頻度で、「(ロ) その他」を選択した場合の具体名（記述）

(担った役割の選択肢)
(ア) 実施内容（運動プログラム）の検討
(イ) 運動プログラム全体の管理
(ウ) 組織・協会としての専門家の派遣
(エ) 実際の運動指導
(オ) 運動指導役のスタッフ教育
(カ) 事業実施前後、事業実施期間中の参加者評価
(キ) その他

(運動指導の頻度)
※(1) で(ニ) 実際の運動指導を選択した場合に回答
(ハ) 運動実施時に毎回
(ヒ) 不定期（実施回数全体のうち半数以上）
(フ) 不定期（実施回数全体のうち半数未満）
(ヘ) 初回のみ
(ホ) その他

(12) ②
運動指導者（健康運動指導士、運動ボランティア、栄養士、保健師など、運動指導や健康相談に対応可能な人材）の確保にあたって、どんな工夫をしましたか（関連団体への依頼、民間企業への依頼、地域のボランティアへの依頼など）。依頼内容・依頼方法を具体的に教えてください。最初から行内にいらない場合は「行内に在籍」をチェックしてください。

行内に在籍
(該当する場合はチェック)

具体内容

(13) ※(11) ①取り組みだ事項で、告知に該当する選択肢「(I)」「(J)」のいずれかを選択された方にお伺いします。

設定した対象者の属性を教えてください。また、参加者確保にあたっての連携先について、あてはまる選択肢をすべて選んでください。また、参加者確保にあたっての工夫内容を教えてください。

対象者像	参加者確保にあたっての 連携先（選択肢から）											
(a) ビジネスパーソン (就労世代)	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク	ケ	コ	サ	シ
(b) 女性	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク	ケ	コ	サ	シ
(c) 高齢者	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク	ケ	コ	サ	シ
(d) 障害者	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク	ケ	コ	サ	シ
(e) その他	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク	ケ	コ	サ	シ

参加者確保にあたって工夫した内容
(具体的に)

(連携先の選択肢)
(ア) 医師会・医療機関、(イ) 薬剤師会、(ウ) 健康運動指導士・協会、(エ) 統合型スポーツクラブ・連絡協議会、
(オ) スポーツ推進委員・連絡協議会、(カ) 体育協会・スポーツ協会、(キ) 地域包括支援センター、(ク) 大学・研究機関、
(ケ) 民間企業①（フィットネスクラブ運営やスポーツ用品販売等のスポーツ関連事業者）、
(コ) 民間企業②（保険、食品、健康機器等、広義のヘルスケア関連事業者）、(サ) 民間企業③（その他）、
(シ) その他団体

(14) ① ※(11) ①取り組みだ事項で、インセンティブに該当する選択肢「(L)」を選択された方にお伺いします。

参加者に対するインセンティブ（健康ポイントなど）をどのように設定しましたか。設定内容を可能な範囲で具体的に教えてください。（いくら相当なのか、どんな内容なのか、どこからの支払いなのか等）

<インセンティブ設定の方法例>
(1) 参加型のインセンティブ（一定の健康づくりの取組やプログラムへの参加を評価）
例）自治体が提供する各種健康教室、イベントへの参加 等
(2) 努力型のインセンティブ（プログラム等の中での本人の取組を評価）
例）ウォーキングやジョギング等の取組、体重や血圧、食事（内容・食べ方）の記録の継続 等
(3) 成果型のインセンティブ（本人の取組の成果としての健康指標の改善を評価）
例）検査値の改善、体重の減少 等

参加者に対するインセンティブ（記述）

(14) ②
医療機関・医師に対するインセンティブ（健康ポイントなど）をどのように設定しましたか。設定内容を可能な範囲で具体的に教えてください。（いくら相当なのか、どんな内容なのか、どこからの支払いなのか等）

<インセンティブ設定の方法例>
例）患者（事業参加者）の紹介1人につき〇〇円、運動処方箋・運動指示書の発行1枚につき△△円 等
例）患者（事業参加者）から医療機関・医師への直接の支払い、患者（事業参加者）から運動施設へ払い→運動施設側からキックバックとして医療機関・医師へ支払い 等

医療機関・医師に対するインセンティブ
(記述)

II の設問は以上です。III の設問シートへお進みください。

フォローアップ調査 調査票

【Ⅲ：事業を効果的に進めるための工夫について】

(15) 参加者の意欲維持・向上のためにどのような工夫をしましたか（時間や場所の工夫など）。当てはまるものを〔A～J〕の中から**すべて**選択してください。また、**最も重点的に工夫した項目**を選択肢の中から**1つ◎**で選び、具体的な工夫点を教えてください。

【選択欄】

☐	A) 時間をかけずに運動・スポーツを実施できる工夫
☐	B) 場所を選ばずに参加できる工夫（オンラインでの実施など）
☐	C) 子どもと一緒に参加できる工夫
☐	D) 仲間と一緒に参加できる工夫
☐	E) 他の参加者と競争できる工夫
☐	F) 自身の体力に合わせて内容を選択できる工夫（内容に幅を持たせる工夫）
☐	G) 参加料や用具購入等に多額なコストがかからない工夫
☐	H) 参加者へのフィードバックにより効果を実感してもらう工夫
☐	I) 特に工夫していない
☐	J) その他（記述）

（具体的に）

最も重点的に工夫した項目の具体的な内容（記述）

(16) ① ※(15) 行った工夫で、(F) を選択された方にお伺いします
事業ではどのような運動・スポーツ種目を実施しましたか。実施した種目を〔A～H〕の中から**すべて**選んでください。

【選択欄】

☐	A) ウォーキング
☐	B) フィットネス・エクササイズ（いきいき百歳体操等を含む）
☐	C) ヨガ
☐	D) ダンス
☐	E) サイクリング
☐	F) グラウンドゴルフ
☐	G) ジョギング
☐	H) その他（記述）

（具体的に）

(16) ②自身の体力に合わせて内容を選択できる工夫（内容に幅を持たせる工夫）について、**具体的に**教えてください

(17) 参加者の安全確保のためにどんな工夫をしましたか（運動指示書（運動処方箋）の発行など）。当てはまるものを〔A～Q〕の中から**すべて**選択してください。また、**最も重点的に工夫した項目**を選択肢の中から**1つ◎**で選び、その具体的な工夫点を教えてください。

【選択欄】

☐	A) 運動プログラムの更新（事業評価を繰り返す中でのアップデート）
☐	B) 運動プログラムの個別化（個人の健康状態に応じた運動プログラムの提供）
☐	C) 何らかの疾病（運動器疾患、生活習慣病など）を有する対象者に特化した運動教室の開催
☐	D) 自宅でも安全に運動実施できるオンライン環境の整備（カメラ、音声など）
☐	E) 専門機関が実施する研修をスタッフが受講（指導知識や技能の向上を図ったなど）
☐	F) 病院スタッフとの連携
☐	G) 運動指示書（運動処方箋）の発行
☐	H) かかりつけ医からの教育・声掛け（個々の健康状態にあった運動の重要性など）
☐	I) 医療機関に併設する運動施設で事業を実施
☐	J) 大学など学識からの助言の活用
☐	K) ICTを活用した、医療情報や身体状況、ライフスタイル等の評価
☐	L) センサーを用いたリアルタイムでの状態把握（心拍数など）
☐	M) 事業内で取得したデータや実施した方法の横展開
☐	N) 運動施設間のネットワークの形成（医療の現場からの卒業者が地域の運動施設で安全に運動実施できる体制の整備）
☐	O) 本人、主治医、行政、運動指導者等の関係者同士の情報共有
☐	P) 運動実施会場までの送迎など交通手段の安全確保に関するサポート
☐	Q) その他（記述）

（具体的に）

最も重点的に工夫した項目の具体的な内容（記述）

(18) ① ※「(10) ③外部との連携」で民間企業に該当する選択肢「(ケ) (コ) (サ)」のいずれかを選択された方へお伺いします
民間企業との協力について、当てはまるものを〔A～J〕の中から**すべて**選択してください。また、**最も期待した項目**を選択肢の中から**1つ◎**で選んでください。

i) 実際に協力した事項（実施したものを全て選択）

ii) 実施前に期待した項目（あてはまるものを全て選択）

【選択欄】

☐	A) デバイスの活用
☐	B) 参加者への健康教育
☐	C) 教室運営・会場確保
☐	D) 運動指導
☐	E) データ活用・データ分析
☐	F) 参加者確保（広報含む）
☐	G) 医師・医療機関とのネットワーク構築
☐	H) 事業全体の運営ノウハウ共有
☐	I) オープンデータ化に向けた収集データの整備
☐	J) その他（記述）

（具体的に）

フォローアップ調査 調査票

(18) ② ※ (18) ① i) で「E データ活用・データ分析」を選択した自治体の方へお聞きします
事業の実施前後だけでなく、途中段階も含めた持続的な評価指標（活動量、心拍数など）取得のために、何らかの工夫を
しましたか。最もあてはまるものを選択肢の中から1つ選んでください。

1つ選択

A) 事業の実施前後だけでなく、途中段階も含めた持続的な評価指標（活動量、心拍数など）取得のために、工夫を
行った。
B) 事業の実施前後でデータ活用・データ分析のための評価指標を取得した。

(18) ③

その工夫内容について具体的に記入してください。

(19)

関係者間のデータ共有（事業内容、参加者情報、実施後の変化等）について、共有先（本人含む）で当てはまるものをす
べて選択してください。また、共有の頻度で最もあてはまるものを1つ教えてください。
※共有頻度はプルダウンからも選択可能です（選択肢は〔G～M〕）

①共有先（すべて選択）

②共有頻度（1つ選択）

A	B	C	D	E	F

その他を選択した場合の具体名（記述）

（共有先の選択肢）

A) 参加者本人
B) 行政
C) 指導者
D) リスク管理を行う医師・医療機関をはじめとする医療専門職
E) 参加者の紹介元
F) その他（記述）

（共有頻度の選択肢）

G) 随時
H) 週1回程度
I) 月に2～3回程度
J) 月に1回程度
K) 3か月に1回程度
L) 半年に1回程度
M) 事業開始時のみ

【Ⅳ：事業継続・自走化に向けた取組について】

(20)

事業が継続できた／できなかったに関わらず、事業を通して「うまくいった内容とその秘訣」、「うまくいかなかった内
容とその原因」をお答えください。
※回答者の方が考えるものでかまいません

(21) ※シート「調査票（事業評価・継続状況）」(2) ③事業継続状況で、「事業を続けている」を選択した自治
体の方へお伺いします
シート「調査票（Ⅱ）」(10) で回答いただいた事業初参加年度の体制からの変更内容（差分）についてあてはまるもの
を、主導部署は〔A～J〕の中から、庁内・庁外の連携先の数は〔増えた／減った／変わらない〕の中から、1つ選んでく
ださい。また、事業継続しながらの体制構築における工夫点を教えてください。

事業参加 翌年度	主導	
	連携（庁内）	
	連携（外部）	
	工夫点（記述）	
令和4年度	主導	
	連携（庁内）	
	連携（外部）	
	工夫点（記述）	

（主導部署の選択肢）

(A) スポーツ振興、(B) 国民健康保険、(C) 健康づくり、(D) 政策企画、(E) 生涯学習、(F) 学校教育、(G) 地域包括、(H) 高
齢者支援、(I) IT関係、(J) その他

（連携先の選択肢）

※「連携（庁内）」「連携（外部）」は以下の選択肢より選択
（増えた／減った／変わらない）

Ⅲの設問は以上です。Ⅳの設問シートへお進みください。

107

フォローアップ調査 調査票

(22) ① ※シート「調査票(事業評価・継続状況)」(2) ③事業継続状況で、「事業を続けている」を選択した自治体の方へお伺いします
事業実施翌年度、並びに令和4年度に事業を実施する際の運動・スポーツに関する専門的な知識を有する組織や人材(医師、健康運動指導士、運動ボランティアなど、運動指導や健康相談に対応可能な人材)との連携に際して、シート「調査票(II)」(12)で回答いただいた事業初参加年度の連携状況からの変更内容(差分)についてあてはまるものを「増えた/減った/変わらない」の中から1つ選んでください。

事業参加翌年	連携先の数 (あてはまるもの1つ)	
令和4年度	連携先の数 (あてはまるもの1つ)	

(選択肢)
(増えた/減った/変わらない)

(22) ② ①で回答した専門的な知識を有する組織や人材との連携継続にあたって、取り組まれた工夫点について教えてください。

事業参加翌年度の工夫	
令和4年度の工夫	

(23) ※シート「調査票(事業評価・継続状況)」(2) ③事業継続状況で、「事業を続けている」を選択した自治体の方へお伺いします
事業実施翌年度以降の、設定した対象者の属性を「a～e」の中から教えてください。また、参加者設定、確保にあたっての工夫における変更点について教えてください。
※対象者像は、当てはまるものすべてを選択

事業参加翌年度	対象者像(選択肢から)	
	事業参加年度からの変更点 (記述)	
	参加者確保にあたっての工夫点 (記述)	
令和4年度	対象者像(選択肢から)	
	事業参加年度からの変更点 (記述)	
	参加者確保にあたっての工夫点 (記述)	

(対象者像の選択肢)
(a) ビジネスパーソン(就労世代)、(b) 女性、(c) 高齢者、(d) 障害者、(e) その他

(24) ※シート「調査票(事業評価・継続状況)」(2) ③事業継続状況で、「事業を続けている」を選択した自治体の方へお伺いします
運動・スポーツに無関心な方々・スポーツを普段実施していない方々の、スポーツ実施・習慣化に継続して取り組むうえで、(自治体において解決が求められる課題)を、選択肢「A～N」の中からすべて選んでください。また、「最も解決が求められると感じる課題」を1つ⑥で選び、課題として想定する具体例があれば、あわせて教えてください。

☐	A) 事業実施体制の構築(連携体制構築・合意形成)
☐	B) 事業実施体制の構築(事業の運営推進体制の構築)
☐	C) 事業実施体制の構築(体制外の関係者との合意形成)
☐	D) 人材の確保(行政機関内での人材の確保・引継ぎ)
☐	E) 人材の確保(専門性知識を有する人材の確保)
☐	F) 人材の確保(指導役の人材の確保)
☐	G) 人材の育成(行政機関内での人材の育成)
☐	H) 適切な目標設定
☐	I) 資金調達(補助金等の確保)
☐	J) 資金調達(一般財源の確保)
☐	K) ターゲットへの適切な周知・呼び込み
☐	L) 事業参加者の運動習慣定着に向けたインセンティブの付与等意欲維持の工夫
☐	M) 継続的に運動・スポーツを実施できる場所の確保
☐	N) その他(記述) (具体的に)

最も解決が求められる課題の具体内容 (記述)	
---------------------------	----------------------

(25) スポーツ・運動を通じた健康づくり施策に対するご意見やスポーツ庁へのご要望がありましたら、ご自由に記入してください。

※無関心層・未実施層向け事業はここまで。

フォローアップ調査 調査票

※医療との連携事業のみの設問

【V：医療機関との連携等について】

(26) ① 事業実施にあたり、連携した医師や医療機関について該当する項目を〔A～G〕の中からすべて選んでください。									
あてはまる選択肢	A	B	C	D	E	F	G		
(その他の場合具体名)									
(医師・医療機関の選択肢) (A) 日本医師会認定健康スポーツ医 (B) 日本スポーツ協会公認スポーツドクター (C) 日本整形外科学会認定スポーツ医 (D) その他連携可能な地域の医療機関 (E) 地域かかりつけ医 (F) 地域医師会 (G) その他（記述）									
(26) ② 事業実施にあたり、連携した医師や医療機関へどのように声をかけましたか。あてはまる項目を〔a～i〕の中からすべて選んでください。また、(c) もしくは (i) を選択した場合は、具体的な部署名を教えてください。									
あてはまる選択肢	a	b	c	d	e	f	g	h	i
(cの具体名)									
(iの具体名)									
(声かけ方法・きっかけの選択肢) (a) スポーツに対応可能な医療機関・指導者が把握できる地域独自のデータベースを利用 (b) 行政（事業主導部署）が以前から持っている関係を利用 (c) 行政内部の他部署が持っている関係を利用 (d) 事業実施にあたり説明会を実施し関係構築 (e) 個別に訪問し関係構築 (f) 地域医師会から関係を拡大・構築 (g) 担当者の個人的なつながりを利用 (h) 家族の通う運動施設から声かけ (i) その他（記述）									

(27) ① 事業実施にあたり、医師・医療機関から運動指導者への情報共有（運動の指示内容や検査値など）はありましたか。選択肢〔A～J〕の中からあてはまるものを1つ選んでください。 ※HもしくはIを選択した場合は③へ	
1つ選択	
A) 随時 B) 週1回程度 C) 月に2～3回程度 D) 月に1回程度 E) 3か月に1回程度 F) 半年に1回程度 G) 事業開始時のみ H) 情報共有を行っていない →③へ I) わからない →③へ J) その他（記述）（具体的に）	

(27) ② 医師・医療機関から運動指導者への情報共有内容を選択肢〔ア～エ〕の中から教えてください。 また、その方法を具体的に教えてください。 ※具体的な様式について、可能であれば共有いただけますと幸いです。						
情報共有した内容 (選択肢からすべて選択)	ア	イ	ウ	エ	(その他の選択した場合具体的に)	
具体的な共有方法・頻度 利用した共有のための様式（記述） ※本人経由かも含め						
(情報共有内容の選択肢) ア) 運動の強度や種類を決めるための情報（運動指示箋・運動処方箋も含む） （疾患名・部位（整形の場合）、医師からの運動の可否、強度の上限、目標心拍数など） イ) 運動開始前の体調チェックで留意しておきたいこと（服薬の有無、安静時の血圧測定、痛みの状況など） ウ) 運動実施後の検査値などの推移 エ) その他（記述）						
(27) ③ 事業実施にあたり、運動指導者から医師・医療機関への情報共有（実施内容、本人の様子など）はありましたか。選択肢〔A～J〕の中からあてはまるものを1つ選んでください。 ※HもしくはIを選択した場合は⑤へ						
1つ選択						
A) 随時 B) 週1回程度 C) 月に2～3回程度 D) 月に1回程度 E) 3か月に1回程度 F) 半年に1回程度 G) 事業開始時のみ H) 情報共有を行っていない →⑤へ I) わからない →⑤へ J) その他（記述）（具体的に）						
(27) ④ 運動指導者が医師・医療機関にフィードバックした内容を選択肢〔イ～ホ〕の中から教えてください。また、その方法を可能な範囲で具体的に教えてください。 ※具体的な様式について、可能であれば共有いただけますと幸いです。						
フィードバックした内容 (選択肢からすべて選択)	イ	ロ	ハ	ニ	ホ	(その他の選択した場合具体的に)
具体的な共有方法・頻度 利用した共有のための様式（記述） ※本人経由かも含め						
(フィードバック内容の選択肢) イ) 対象者の主観的情報（体調、痛み、自覚的運動強度など） ロ) 運動実施状況の記録（回数、運動実施内容、運動前チェック、運動中の様子など） ハ) 運動実施後の数値変化（体組成データ、血圧、心拍数など） ニ) 今後に実施予定の運動内容 ホ) その他（記述）						

フォローアップ調査 調査票

(27) ⑤
個人情報の取扱をどのように行ったか、選択肢〔a～e〕の中からあてはまるものを**すべて**教えてください。また、その方法を可能な範囲で具体的に教えてください。

該当する内容 (選択肢からすべて選択)	a	b	c	d	e	(その他を選択した場合具体的に)
具体的な取扱方法（記述）						

(個人情報取扱の選択肢)
a) 利用者の責任の範囲で開示（医療機関での検査データ等を運動施設側へ提出など）
b) 行政が管理役となり関係者間の情報共有を主導
c) 医療機関・医師と運動施設・運動指導者間で情報取扱の規約を作成
d) わからない
e) その他（記述）

(28)
事業実施にあたり、医療機関・医師側へ運動指導・運動指導者の質の担保をどのように工夫したのか、選択肢〔A～E〕の中からあてはまるものを**すべて**教えてください。またその具体的な方法を可能な範囲で教えてください。

該当する内容 (選択肢からすべて選択)	A	B	C	D	E	(その他を選択した場合具体的に)
具体的な担保方法（記述）						

(運動指導・運動指導者の質の担保方法の選択肢)
A) 運動指導者に何らかの資格を必須要件とした（理学療法士、健康運動指導士等）
B) 事業内での運動指導をするための、研修受講を必須要件とした
C) 運動指導者は無資格者でも可としたが、運動内容を有資格者（医師、理学療法士等）が決定した
D) わからない
E) その他（記述）

(29)
医師・医療機関と連携しながらスポーツ実施・習慣化を推進するうえで、ハードルと感じた項目で、あてはまるものを選択肢の中から**すべて**選んでください。また、**特に大きなハードルと感じた項目を1つ⑥**で選び、具体的なエピソードを教えてください。

☐	A) 事業実施体制の構築（医師会等の職能団体との合意形成）
☐	B) 事業実施体制の構築（専門知識を持つ医師との合意形成）
☐	C) 事業実施体制の構築（地域のかかりつけ医との合意形成）
☐	D) 事業実施体制の構築（地域の医療機関との合意形成）
☐	E) 事業実施体制の構築（専門性知識を有する運動指導役の人材確保）
☐	F) 事業実施体制の構築（専門性知識を有する運動指導役の人材育成）
☐	G) 行政機関内での人材の育成
☐	H) ターゲットへの適切な周知・呼び込み
☐	I) 安全に運動・スポーツを実施できる場所の確保
☐	J) 安全に運動・スポーツを実施できる内容の設定
☐	K) 情報共有体制の構築
☐	L) 情報共有する内容の合意形成
☐	M) 事業実施の時間的余裕
☐	N) その他（記述） (具体的に)

特にハードルと感じた項目の具体的なエピソード（記述）

(30)
医師・医療機関との連携したことによる成果について、記入してください。また、現在の医師・医療機関との連携状況について、可能な範囲でお答えください。

(31)
事業実施にあたり、行政の果たした役割について、記入してください。また、現在の行政の果たす役割について、可能な範囲でお答えください。

設問は以上です。ご協力ありがとうございました。